

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）の
速報案について

○救急医療管理加算等の見直しによる影響や精神疾患患者の救急受入を含む救急医療の

実施状況調査

(右下頁)

・ 調査の概要	5 頁
・ 病院調査	7 頁
・ 調査票	9 8 頁

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 26 年度調査）

救急医療管理加算等の見直しによる影響や

精神疾患患者の救急受入を含む救急医療の実施状況調査

結果概要（速報）（案）

◇◆目 次◇◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	1
5. その他	2
II. 調査の結果	3
1. 回収結果	3
2. 病院調査の結果	3
(1) 施設の概況（平成 26 年 10 月末現在）	3
①開設者	3
②救急医療体制	4
③承認等の状況	5
④DPC 対応	5
⑤各診療科の標榜状況	6
⑥軽症患者等を対象とした時間外選定療養費	6
⑦平成 25 年 10 月及び平成 26 年 10 月の許可病床数、新規入院患者数、病床利用率、平均在院日数	8
⑧平成 26 年 10 月末時点に届出を行っている一般病床の入院基本料	16
(2) 救急医療体制の状況	18
①平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの年間当番日数（二次救急医療機関）	18
②該当する二次救急医療体制（二次救急医療機関）	18
③平成 26 年 10 月 1 か月間に救急搬送患者の受け入れが可能な体制を整えていた日数（二次救急・三次救急医療機関以外の医療機関）	19
④救急医療に従事する実人数	19
⑤DMAT 指定の状況	25
⑥夜間（準夜・深夜・早朝）の救急対応	25
⑦夜間（準夜・深夜・早朝）の救急外来の初期対応	27
⑧救急医療に従事する医師・看護職員の常勤換算人数（平成 26 年 10 月末時点）	28
⑨施設に従事する医師数（平成 26 年 10 月末時点 常勤換算人数）	32
⑩臨床工学技士（外来透析担当を除く）の当直の有無	33
⑪退院調整を行う部門（部署）の有無	33

⑫退院調整の実施体制	34
(3) 救急医療に関する施設基準及びその算定状況等	35
①各施設基準等の届出状況	35
②各施設基準等の届出時期	36
③各施設基準等の算定件数	49
④医師事務作業補助体制加算の現在の届出の種類	50
⑤「救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算」における精神科医の確保方法	50
⑥「特定集中治療室管理料1・2」の届出をしていない理由	51
⑦「ハイケアユニット入院医療管理料1」の届出をしていない理由	52
⑧各施設基準等の届出状況	53
⑨各施設基準等の届出時期	54
⑩各施設基準等の算定件数	61
⑪パリーブスマブを用い薬剤費等を出来高で算定した患者数	62
(4) 救急医療の取組状況等	63
①消防法に基づいて都道府県が定める受入実施基準に対する参加状況	63
②1か月間の外来延べ患者数、救急用の自動車等により搬送された延べ患者数	63
③1か月間の救急対応患者数	66
④救急患者の受入対応方針	73
⑤受入を断る理由（「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設）	77
⑥新生児特定集中治療室・新生児集中治療室の患者数	85
⑦自宅退院患者が少ない理由	86
(5) 救急医療管理加算2の算定状況	87
①算定患者数等	87
②疾病別算定患者数	89

I. 調査の概要

1. 目的

平成 26 年度診療報酬改定において、救急医療管理加算の算定基準の明確化や新生児の退院調整についての評価、精神疾患等を有する救急患者の受入の評価等が行われた。

これらを踏まえ、保険医療機関における診療体制、診療内容、患者の状況等について調査を行い、これらの評価が救急医療の充実・強化に与えた影響を把握する。

<主な目的>

- ・救急医療体制、関連診療報酬の施設基準の届出、算定状況の把握
- ・救命救急医療、小児医療の実施状況の把握
- ・精神疾患患者等の救急医療の実施状況の把握

2. 調査対象

調査の対象は、次のとおりである。

- 1) 救命救急入院料、新生児特定集中治療室管理料、小児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、総合入院体制加算のいずれかの施設基準の届出を行っている病院（悉皆、533 施設）。
 - 2) 救急医療管理加算、夜間休日救急搬送医学管理料の届出を行っている病院（上記 1）を除く、無作為抽出、467 施設）。
- 上記 1) と 2) を合計した 1,000 施設を調査対象とした。

3. 調査方法

- ・対象施設が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・施設属性や救急医療の体制、取組状況等を尋ねる「様式 1」と、救急医療管理加算 2 の算定患者数を疾病別に尋ねる「様式 2」の 2 種類の調査票を配布した。
- ・調査実施時期は平成 26 年 11 月 4 日～平成 26 年 12 月 18 日。

4. 調査項目

区分	主な調査項目
様式 1	○施設の概況 ・ 開設者、救急告示の有無、救急医療体制、承認等の状況、DPC 対応状況、標榜診療科、時間外選定療養費の導入状況・金額・徴収件数 ・ 許可病床数、新規入院患者数、病床利用率、平均在院日数の変化 ・ 一般病床における入院基本料の届出状況

	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療体制の状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二次救急医療機関における年間当番日数、二次救急医療体制 ・ 救急搬送患者の受入可能日数 ・ 時間帯別の救急医療従事者数、DMAT 指定状況 ・ 夜間の診療科別救急対応状況、救急外来の初期対応 ・ 部署別の医師数・看護職員数、臨床工学技士の当直の有無等 ・ 退院調整部門の有無、体制等 ○救急医療に関する施設基準・算定状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設基準等の届出状況、届出時期、算定件数の変化 ・ 精神保健指定医等診断治療等加算に関する精神科医の確保状況 ・ 特定集中治療室管理料・ハイケアユニット入院医療管理料の届出のない場合の理由 ・ パリビズマブを用い薬剤費等を出来高で算定した小児患者数 ○救急医療の取組状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防法に基づいて都道府県が定める受入実施基準の参加状況等 ・ 外来延べ患者数に対する救急搬送受入患者数、救急対応患者数等の変化 ・ 救急患者の受入対応方針、受入ができない場合の理由 ・ 新生児特定集中治療室・新生児集中治療室の患者数の変化、自宅退院患者数が他院転院患者数よりも少ない場合の理由、新生児の退院を進める上で必要な取組等 ○高齢者の救急医療に関する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の救急医療に関する課題等
様式 2	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療管理加算の算定状況の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急医療管理加算 1・2 の合計算定患者数 ・ 救急医療管理加算 2 の算定患者数、割合 ・ 救急医療管理加算 2 の疾病コード別患者数

5. その他

本調査の集計結果は速報値であり、数値が変わることがありうる。

Ⅱ. 調査の結果

1. 回収結果

図表 1 回収の状況

発送数	有効回答数	有効回答率
1,000	601	60.1%

2. 病院調査の結果

【調査対象等】

調査対象：1) 救命救急入院料、新生児特定集中治療室管理料、小児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、総合入院体制加算の届出を行っている病院（悉皆、533 施設）。

2) 救急医療管理加算、夜間休日救急搬送医学管理料の届出を行っている病院（上記 1) を除く、無作為抽出 467 施設）。

上記 1) と 2) を合計した 1,000 施設を調査対象とした。

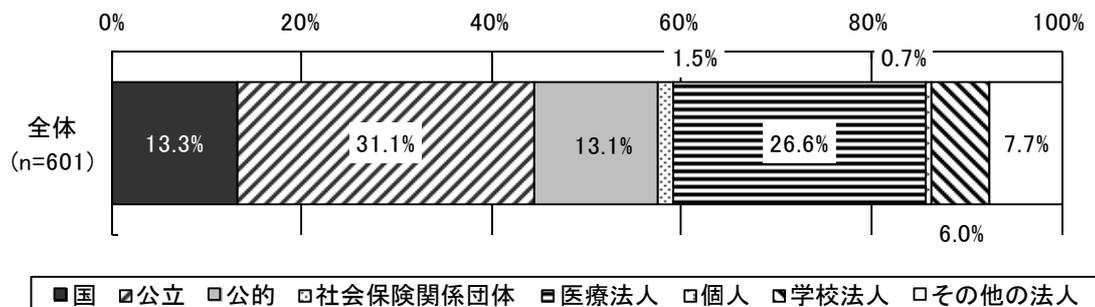
回答数：601 施設

回答者：管理者

(1) 施設の概況（平成 26 年 10 月末現在）

①開設者

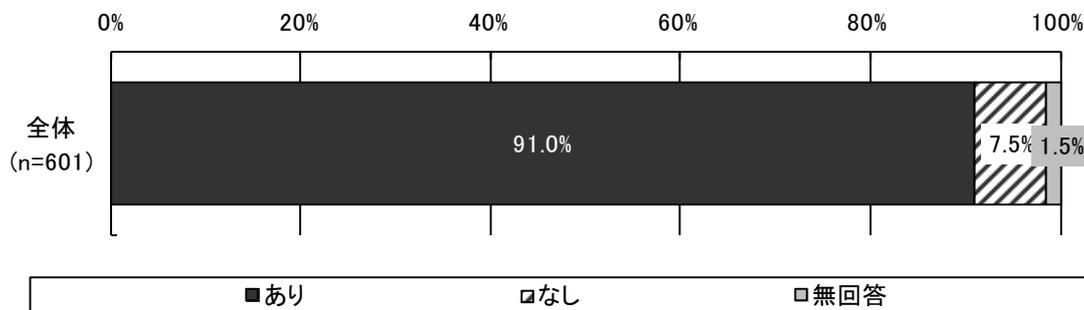
図表 2 開設者



②救急医療体制

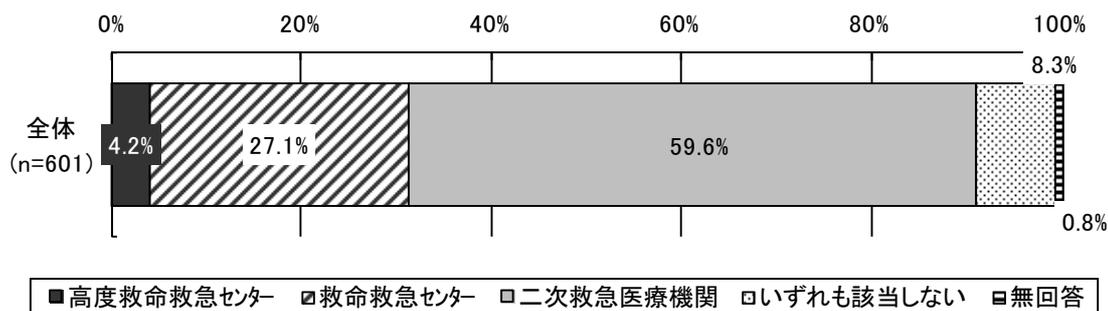
1) 救急告示の有無

図表 3 救急告示の有無



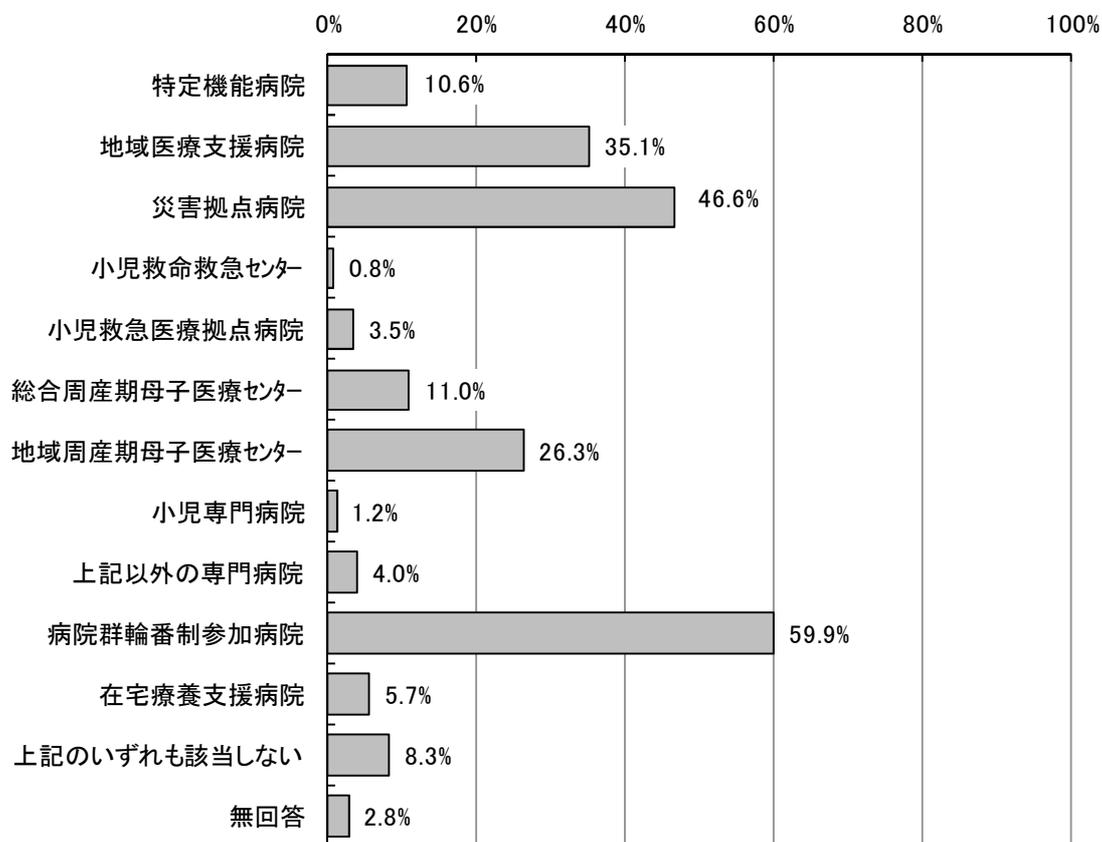
2) 救急医療体制

図表 4 救急医療体制



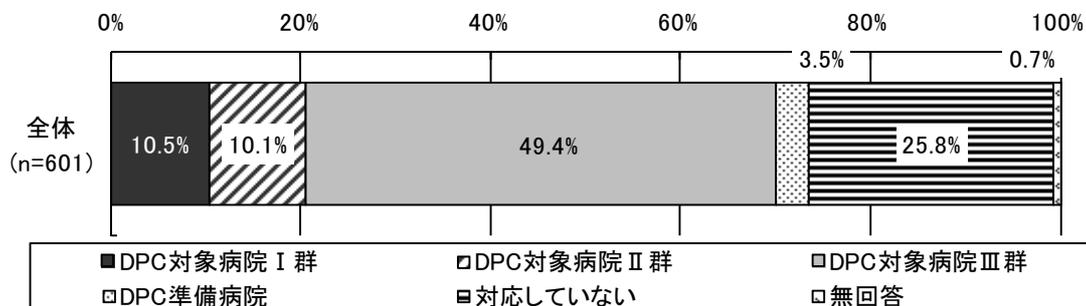
③承認等の状況

図表 5 承認等の状況（複数回答 n=601）



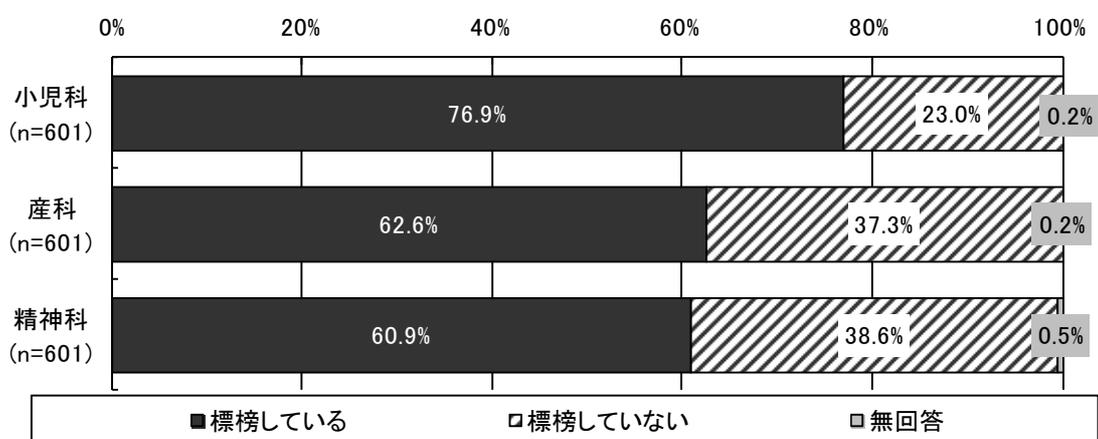
④DPC 対応

図表 6 DPC 対応



⑤各診療科の標榜状況

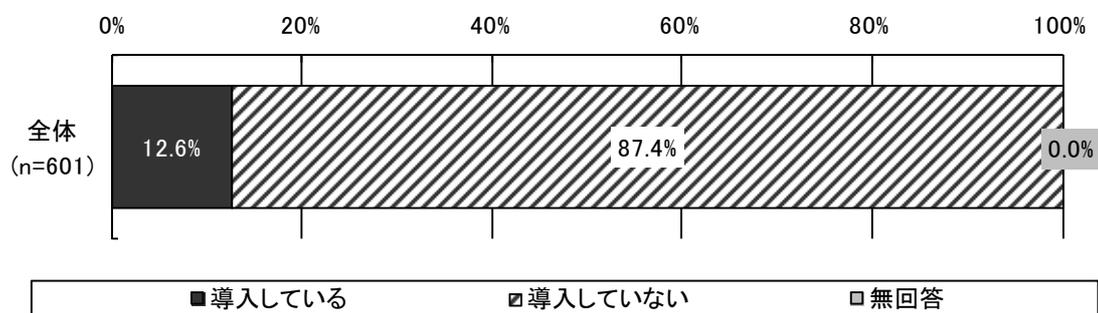
図表 7 各診療科の標榜状況



⑥軽症患者等を対象とした時間外選定療養費

1) 時間外選定療養費の導入状況

図表 8 軽症患者等を対象とした時間外選定療養費の導入状況



2) 時間外選定療養費の導入時期

図表 9 軽症患者等を対象とした時間外選定療養費の導入時期

	施設数	割合
平成20年3月以前	13	17.1%
平成20年4月～平成21年3月	9	11.8%
平成21年4月～平成22年3月	5	6.6%
平成22年4月～平成23年3月	5	6.6%
平成23年4月～平成24年3月	8	10.5%
平成24年4月～平成25年3月	8	10.5%
平成25年4月～平成26年3月	9	11.8%
平成26年4月以降	10	13.2%
不明	9	11.8%
合計	76	100.0%

3) 時間外選定療養費の金額及び件数

図表 10 軽症患者等を対象とした時間外選定療養費の金額及び件数

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
時間外選定療養費の金額(円)	75	4572.1	2023.0	4800.0
時間外選定療養費を徴収した件数(件)	74	189.6	321.2	70.0

(注)・時間外選定療養費の金額については、価格が複数の場合は初診時に最高額を記載していただいた。
 ・時間外選定療養費を徴収した件数は平成26年10月1か月分である。

⑦平成 25 年 10 月及び平成 26 年 10 月の許可病床数、新規入院患者数、病床利用率、平均在院日数

1) 許可病床数

図表 11 許可病床数 (n=595)

(単位：床)

	平成25年10月			平成26年10月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	370.5	271.2	350.0	369.9	270.8	350.0
(うち)救命救急入院料	7.2	12.8	0.0	7.4	12.8	0.0
(うち)特定集中治療室管理料	4.5	6.9	0.0	4.6	7.0	0.0
上記のうち、小児専用病床	0.2	1.2	0.0	0.2	1.2	0.0
(うち)ハイケアユニット入院医療管理料	1.8	5.0	0.0	2.1	5.2	0.0
(うち)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	0.5	1.9	0.0	0.6	2.3	0.0
(うち)小児特定集中治療室管理料	0.0	0.4	0.0	0.1	1.0	0.0
(うち)新生児特定集中治療室管理料	1.6	3.4	0.0	1.7	3.5	0.0
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/母体・胎児集中治療室管理料	0.9	2.5	0.0	0.9	2.5	0.0
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/新生児集中治療室管理料	1.7	4.9	0.0	1.8	5.2	0.0
(うち)新生児治療回復室入院医療管理料	2.8	6.6	0.0	2.8	6.6	0.0
(うち)小児入院医療管理料	21.3	34.4	0.0	20.9	32.6	10.0
療養病床	8.6	25.2	0.0	8.8	25.4	0.0
精神病床	27.5	73.2	0.0	26.9	72.6	0.0
結核病床	1.8	6.6	0.0	1.7	6.3	0.0
感染症病床	1.1	2.8	0.0	1.2	2.8	0.0
病院全体	409.5	266.2	376.0	408.4	265.1	373.0

(注) 平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに病床数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 12 許可病床数（平成 26 年 10 月）

（単位：床）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	(n=597)	369.5	270.6	350
（うち）救命救急入院料	(n=597)	7.4	12.8	0
（うち）特定集中治療室管理料	(n=597)	4.6	7.0	0
上記のうち、小児専用病床	(n=597)	0.2	1.2	0
（うち）ハイケアユニット入院医療管理料	(n=597)	2.1	5.2	0
（うち）脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=597)	0.6	2.3	0
（うち）小児特定集中治療室管理料	(n=597)	0.1	1.0	0
（うち）新生児特定集中治療室管理料	(n=597)	1.7	3.5	0
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料 /母体・胎児集中治療室管理料	(n=597)	0.9	2.5	0
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料 /新生児集中治療室管理料	(n=597)	1.8	5.2	0
（うち）新生児治療回復室入院医療管理料	(n=597)	2.8	6.6	0
（うち）小児入院医療管理料	(n=597)	20.9	32.6	10
療養病床	(n=597)	8.8	25.4	0
精神病床	(n=597)	26.8	72.5	0
結核病床	(n=597)	1.7	6.3	0
感染症病床	(n=597)	1.2	2.8	0
病院全体	(n=597)	408.0	265.0	373

（注）平成 26 年 10 月の病床数に記載のあった施設を集計対象とした。

2) 新規入院患者数

図表 13 新規入院患者数

(単位：人)

	施設数	平成25年10月			平成26年10月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	(n=536)	771.9	994.8	677.5	783.8	987.2	690.0
(うち)救命救急入院料	(n=168)	135.0	91.8	110.5	145.6	119.7	120.0
(うち)特定集中治療室管理料	(n=257)	37.2	42.2	23.0	39.6	46.3	26.0
上記のうち、小児専用病床	(n=13)	14.9	11.5	13.0	16.2	12.5	16.0
(うち)ハイケアユニット入院医療管理料	(n=91)	46.6	46.8	31.0	45.5	45.9	30.0
(うち)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=36)	22.2	14.5	21.0	24.1	15.6	24.0
(うち)小児特定集中治療室管理料	(n=2)	6.0	2.8	6.0	2.0	1.4	2.0
(うち)新生児特定集中治療室管理料	(n=123)	14.1	16.9	11.0	14.4	14.9	12.0
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/母体・胎児集中治療室管理料	(n=75)	17.0	11.3	14.0	18.0	11.7	14.0
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/新生児集中治療室管理料	(n=73)	19.4	10.0	17.0	19.7	10.5	18.0
(うち)新生児治療回復室入院医療管理料	(n=109)	12.2	12.3	9.0	11.8	12.0	9.0
(うち)小児入院医療管理料	(n=283)	118.7	150.7	91.0	110.7	104.2	93.0
療養病床	(n=77)	9.2	13.6	5.0	9.3	13.1	5.0
精神病床	(n=152)	26.0	42.1	19.5	24.6	35.6	19.0
結核病床	(n=58)	3.5	4.2	2.0	3.9	6.4	2.0
病院全体	(n=568)	738.8	999.3	612.5	750.0	989.8	639.0

(注)・各特定入院料等の許可病床があり、かつ平成25年10月、平成26年10月ともに記載のあった施設を集計対象とした。

・数値には、特定入院料等の算定対象とならなかった患者数も含まれている。

図表 14 新規入院患者数（平成 26 年 10 月）

（単位：人）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	(n=538)	783.2	985.7	690
（うち）救命救急入院料	(n=178)	142.7	118.0	115.5
（うち）特定集中治療室管理料	(n=263)	39.4	45.9	26
上記のうち、小児専用病床	(n=14)	15.6	12.2	15.5
（うち）ハイケアユニット入院医療管理料	(n=115)	42.7	42.8	30
（うち）脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=42)	23.8	16.1	24
（うち）小児特定集中治療室管理料	(n=8)	16.5	17.1	13.5
（うち）新生児特定集中治療室管理料	(n=134)	14.3	14.5	12
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料/母体・胎児集中治療室管理料	(n=80)	17.7	11.5	14
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料/新生児集中治療室管理料	(n=76)	19.3	10.6	17.5
（うち）新生児治療回復室入院医療管理料	(n=119)	11.9	11.7	9
（うち）小児入院医療管理料	(n=289)	109.6	103.4	91
療養病床	(n=79)	9.7	13.1	6
精神病床	(n=153)	24.5	35.5	19
結核病床	(n=58)	3.9	6.4	2
病院全体	(n=570)	749.6	988.3	639

（注）・平成 26 年 10 月に各特定入院料等の許可病床があり、かつ新規入院患者数の記載があった施設を集計対象とした。

・数値には、特定入院料等の算定対象とならなかった患者数も含まれている。

3) 病床利用率

図表 15 病床利用率

(単位：%)

	施設数	平成25年10月			平成26年10月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	(n=532)	79.5	11.5	81.4	78.7	11.6	80.3
(うち)救命救急入院料	(n=167)	71.1	16.0	73.7	69.8	16.0	71.9
(うち)特定集中治療室管理料	(n=259)	74.0	16.9	75.0	72.4	16.5	73.8
上記のうち、小児専用病床	(n=13)	80.8	12.6	76.6	73.1	18.1	66.3
(うち)ハイケアユニット入院医療管理料	(n=91)	76.5	18.8	77.3	72.0	19.9	75.9
(うち)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=37)	87.5	13.7	91.4	90.4	13.1	93.3
(うち)小児特定集中治療室管理料	(n=2)	79.3	26.4	79.3	82.5	24.8	82.5
(うち)新生児特定集中治療室管理料	(n=124)	81.3	21.2	86.8	82.1	19.4	85.9
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/母体・胎児集中治療室管理料	(n=75)	83.6	15.9	87.8	85.8	13.7	89.5
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/新生児集中治療室管理料	(n=73)	93.9	10.7	98.2	91.2	11.5	94.6
(うち)新生児治療回復室入院医療管理料	(n=109)	69.2	19.7	72.0	66.2	22.6	68.9
(うち)小児入院医療管理料	(n=282)	66.2	18.0	67.2	64.6	17.5	66.6
療養病床	(n=73)	83.8	17.8	90.5	82.8	18.1	89.9
精神病床	(n=153)	74.6	20.1	80.2	74.0	19.0	76.2
結核病床	(n=38)	41.8	25.7	42.1	42.4	25.2	34.8
病院全体	(n=544)	80.2	11.6	82.0	79.5	11.6	81.1

(注)・各特定入院料等の許可病床があり、かつ平成25年10月、平成26年10月ともに記載のあった施設を集計対象とした。

・数値には、特定入院料等の算定対象とならなかった患者数も含まれている。

図表 16 病床利用率（平成 26 年 10 月）

（単位：％）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	(n=534)	78.7	11.6	80.3
（うち）救命救急入院料	(n=177)	69.4	15.8	71.4
（うち）特定集中治療室管理料	(n=264)	72.2	16.5	73.795
上記のうち、小児専用病床	(n=14)	75.3	19.3	68.65
（うち）ハイケアユニット入院医療管理料	(n=116)	71.6	19.1	74.95
（うち）脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=44)	90.9	12.7	93.7
（うち）小児特定集中治療室管理料	(n=8)	68.9	34.4	76.8
（うち）新生児特定集中治療室管理料	(n=135)	82.0	19.5	85.2
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料/母体・胎児集中治療室管理料	(n=80)	85.3	13.6	89.225
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料/新生児集中治療室管理料	(n=76)	91.3	11.3	94.6
（うち）新生児治療回復室入院医療管理料	(n=119)	65.4	22.9	67.1
（うち）小児入院医療管理料	(n=288)	64.3	17.5	66
療養病床	(n=76)	82.4	18.2	89.75
精神病床	(n=154)	73.8	19.0	75.8
結核病床	(n=39)	43.1	25.3	37.1
病院全体	(n=549)	79.6	11.6	81.13

（注）・平成 26 年 10 月に各特定入院料等の許可病床があり、かつ病床利用率の記載があった施設を集計対象とした。

・数値には、特定入院料等の算定対象とならなかった患者数も含まれている。

4) 平均在院日数

図表 17 平均在院日数

(単位：日)

	施設数	平成25年10月			平成26年10月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	(n=534)	16.2	11.1	13.7	16.1	9.9	13.5
(うち)救命救急入院料	(n=167)	5.9	3.7	5.0	5.6	3.6	4.6
(うち)特定集中治療室管理料	(n=253)	12.5	17.6	5.3	15.0	41.0	5.3
上記のうち、小児専用病床	(n=13)	19.0	23.8	8.8	23.8	49.0	8.0
(うち)ハイケアユニット入院医療管理料	(n=88)	9.6	10.2	6.2	9.2	10.3	5.4
(うち)脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=35)	10.7	5.9	9.7	11.1	7.2	8.8
(うち)小児特定集中治療室管理料	(n=2)	43.9	29.8	43.9	50.0	17.0	50.0
(うち)新生児特定集中治療室管理料	(n=122)	26.2	42.8	17.8	21.7	16.0	17.3
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/母体・胎児集中治療室管理料	(n=75)	21.2	46.4	12.3	19.3	30.8	12.3
(うち)総合周産期特定集中治療室管理料/新生児集中治療室管理料	(n=73)	28.6	20.5	23.0	31.3	31.3	22.5
(うち)新生児治療回復室入院医療管理料	(n=106)	20.7	12.3	17.8	20.4	14.7	17.0
(うち)小児入院医療管理料	(n=279)	8.0	4.5	6.7	7.7	4.0	6.6
療養病床	(n=68)	184.3	208.2	96.4	174.7	178.4	104.3
病院全体	(n=515)	23.5	45.9	14.0	22.6	38.2	13.7

(注)・各特定入院料等の許可病床があり、かつ平成25年10月、平成26年10月ともに記載のあった施設を集計対象とした。

・数値には、特定入院料等の算定対象とならなかった患者数も含まれている。

図表 18 平均在院日数（平成 26 年 10 月）

（単位：日）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
一般病床	(n=536)	16.0	9.9	13.5
（うち）救命救急入院料	(n=177)	5.5	3.6	4.5
（うち）特定集中治療室管理料	(n=260)	15.1	40.7	5.205
上記のうち、小児専用病床	(n=14)	22.5	47.3	7.75
（うち）ハイケアユニット入院医療管理料	(n=113)	8.9	9.9	5.4
（うち）脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=41)	13.9	19.0	8.8
（うち）小児特定集中治療室管理料	(n=7)	25.9	19.9	21.5
（うち）新生児特定集中治療室管理料	(n=133)	21.6	16.3	16.2
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料/母体・胎児集中治療室管理料	(n=80)	18.7	29.9	11.5
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料/新生児集中治療室管理料	(n=76)	32.5	31.9	22.6
（うち）新生児治療回復室入院医療管理料	(n=117)	19.9	14.4	16
（うち）小児入院医療管理料	(n=287)	7.7	3.9	6.56
療養病床	(n=72)	168.8	175.4	103
病院全体	(n=518)	22.5	38.1	13.7

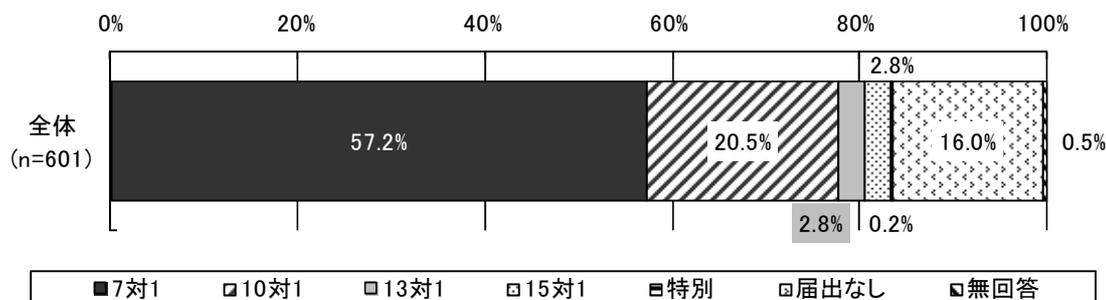
（注）・平成 26 年 10 月に各特定入院料等の許可病床があり、かつ平均在院日数の記載があった施設を集計対象とした。

・数値には、特定入院料等の算定対象とならなかった患者数も含まれている。

⑧平成 26 年 10 月末時点に届出を行っている一般病床の入院基本料

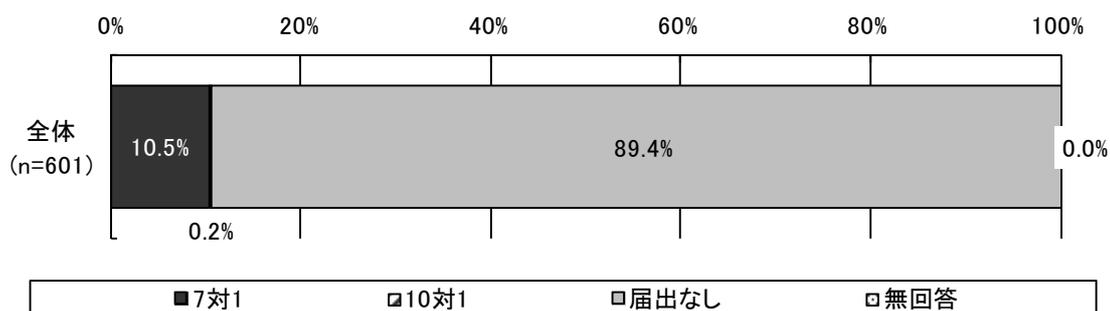
1) 一般病棟入院基本料

図表 19 一般病棟入院基本料



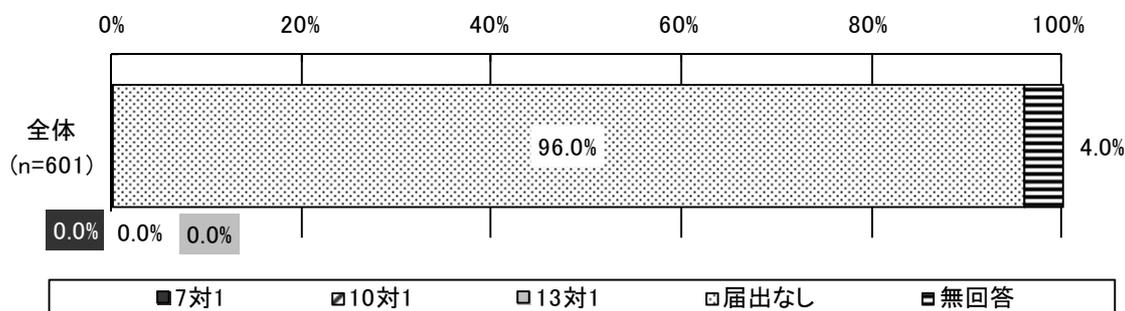
2) 特定機能病院入院基本料

図表 20 特定機能病院入院基本料



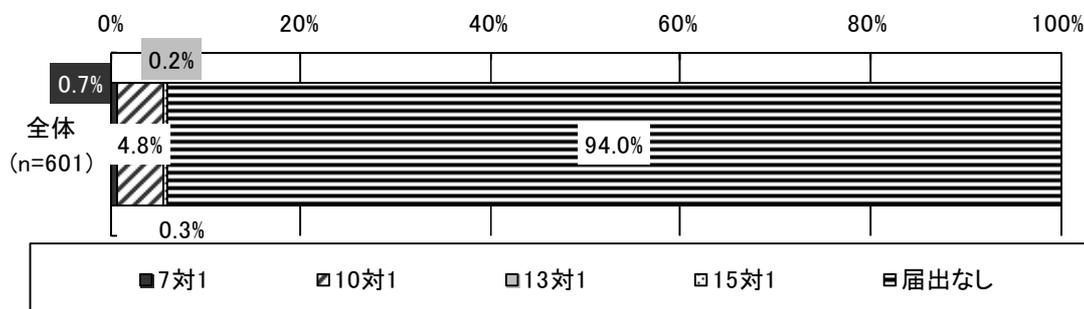
3) 専門病院入院基本料

図表 21 専門病院入院基本料



4) 障害者施設等入院基本料

図表 22 障害者施設等入院基本料



(2) 救急医療体制の状況

①平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの年間当番日数（二次救急医療機関）

図表 23 平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの年間当番日数

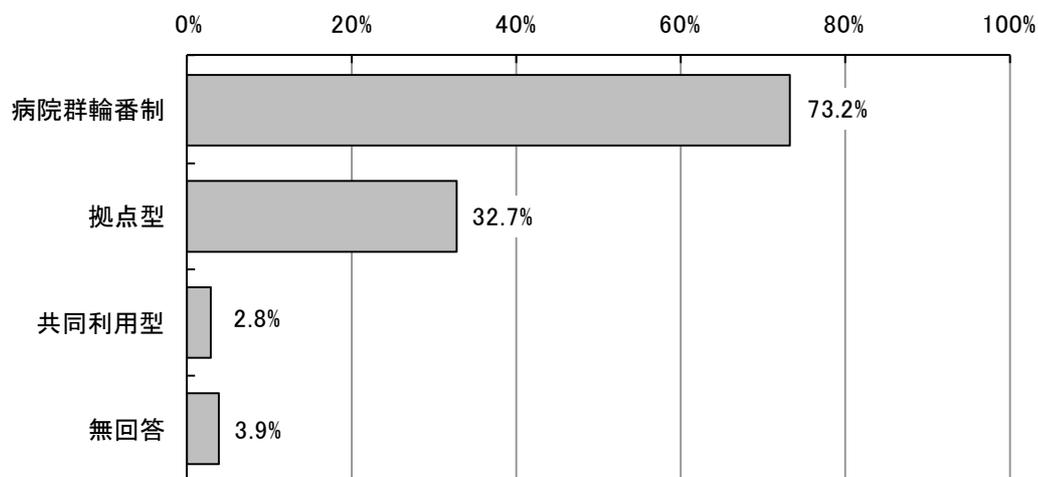
(単位：日)

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
年間当番日数(日)	(n=344)	200.6	175.5	132.5

- (注)
- ・二次救急医療機関にのみ尋ねている。
 - ・日数の記載のあったものを集計対象とした。
 - ・当番日数は、平日・休日の夕方から翌朝までで 1 日、休日の朝から夕方までで 1 日としている。
(休日の午前 8:00～翌日の午前 8:00 まで当番だった場合は 2 日となる。)

②該当する二次救急医療体制（二次救急医療機関）

図表 24 該当する二次救急医療体制（複数回答、n=358）



- (注)
- ・二次救急医療機関にのみ尋ねている。
 - ・病院群輪番制：地域内の病院群が共同連帯して、輪番方式により救急患者の受け入れ態勢を整えている場合をいう
 - ・拠点型：病院群輪番制の一つで、365 日に入院を要する救急患者の受け入れ態勢を整えている場合をいう（いわゆる「固定輪番制」や「固定通年制」等も含む）。
 - ・共同利用型：医師会立病院等が休日夜間に病院の一部を開放し、地域医師会の協力により実施する者をいう。

③平成 26 年 10 月 1 か月間に救急搬送患者の受け入れが可能な体制を整えていた日数
(二次救急・三次救急医療機関以外の医療機関)

図表 25 平成 26 年 10 月 1 か月間に救急搬送患者の受け入れが可能な体制を整えていた日数

(単位：日)

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
救急搬送患者の受入可能日数(日)	(n=66)	24.5	12.3	31.0

(注) ・二次救急・三次救急医療機関以外の医療機関にのみ尋ねている。
・日数の記載のあったものを集計対象とした。

④救急医療に従事する実人数

1) 平日準夜帯

図表 26 平日準夜帯に救急医療に従事する実人数 (n=542)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	1.8	3.3	1.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	3.9	15.9	1.0
オンコールの医師	7.5	20.0	2.0
救急担当専従の看護職員	3.6	15.4	2.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	1.9	7.9	0.0
救急担当専従の薬剤師	0.2	0.4	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	0.7	2.2	0.0
オンコールの薬剤師	0.3	0.5	0.0
救急担当専従の診療放射線技師	0.7	1.2	1.0
オンコールの診療放射線技師	0.5	0.8	0.0
救急担当専従の臨床検査技師	0.7	1.3	0.0
オンコールの臨床検査技師	0.5	0.7	0.0

(注) ・すべての職種について人数の記載のあった施設を集計対象とした。
・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

図表 27 平日準夜帯に救急医療に従事する実人数（0を除いた集計値）

（単位：人）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	(n=286)	3.4	3.8	2.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	(n=403)	5.2	18.3	2.0
オンコルの医師	(n=369)	11.0	23.4	7.0
救急担当専従の看護職員	(n=416)	4.7	17.4	3.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	(n=210)	4.9	12.1	1.5
救急担当専従の薬剤師	(n=86)	1.1	0.4	1.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	(n=245)	1.5	3.1	1.0
オンコルの薬剤師	(n=143)	1.1	0.4	1.0
救急担当専従の診療放射線技師	(n=308)	1.3	1.3	1.0
オンコルの診療放射線技師	(n=244)	1.2	0.8	1.0
救急担当専従の臨床検査技師	(n=265)	1.4	1.5	1.0
オンコルの臨床検査技師	(n=226)	1.2	0.6	1.0

(注) ・すべての職種について人数の記載があり、かつ記載人数が0人でないものを集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

図表 28 平日準夜帯に救急医療に従事する実人数（施設種別）

（単位：人）

	(高度)救命救急センターを有する医療機関(n=171)			二次救急医療機関(n=328)			その他の医療機関(n=40)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	3.8	4.7	2.5	1.0	1.7	0.0	0.3	0.8	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	7.8	27.4	3.0	2.1	3.8	1.0	1.4	2.1	1.0
オンコルの医師	12.6	27.1	8.0	5.6	16.0	1.0	1.5	4.1	0.0
救急担当専従の看護職員	7.7	26.7	4.0	1.9	2.9	2.0	0.5	0.7	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	3.3	12.1	0.0	1.2	5.0	0.0	1.3	2.2	1.0
救急担当専従の薬剤師	0.3	0.5	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	1.2	3.4	1.0	0.5	1.3	0.0	0.1	0.3	0.0
オンコルの薬剤師	0.1	0.4	0.0	0.4	0.6	0.0	0.3	0.5	0.0
救急担当専従の診療放射線技師	1.0	0.9	1.0	0.7	1.3	1.0	0.1	0.3	0.0
オンコルの診療放射線技師	0.5	0.7	0.0	0.5	0.9	0.0	0.5	0.5	1.0
救急担当専従の臨床検査技師	1.0	1.2	1.0	0.6	1.3	0.0	0.2	0.5	0.0
オンコルの臨床検査技師	0.4	0.7	0.0	0.5	0.7	0.0	0.5	0.6	0.5

(注) ・すべての職種について人数の記載のあった施設を集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

2) 平日深夜帯

図表 29 平日深夜帯に救急医療に従事する実人数 (n=545)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	1.7	3.2	1.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	3.8	15.9	1.0
オンコールの医師	7.5	19.9	2.0
救急担当専従の看護職員	3.2	10.7	2.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	1.7	6.4	0.0
救急担当専従の薬剤師	0.2	0.4	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	0.7	2.2	0.0
オンコールの薬剤師	0.3	0.5	0.0
救急担当専従の診療放射線技師	0.7	1.2	1.0
オンコールの診療放射線技師	0.5	0.8	0.0
救急担当専従の臨床検査技師	0.6	1.2	0.0
オンコールの臨床検査技師	0.5	0.7	0.0

- (注) ・すべての職種について人数の記載のあった施設を集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

図表 30 平日深夜帯に救急医療に従事する実人数（0を除いた集計値）

（単位：人）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	(n=284)	3.3	3.7	2.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	(n=405)	5.1	18.2	2.0
オンコルの医師	(n=372)	11.0	23.3	7.0
救急担当専従の看護職員	(n=412)	4.2	12.2	2.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	(n=211)	4.3	9.7	1.0
救急担当専従の薬剤師	(n=85)	1.0	0.2	1.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	(n=246)	1.5	3.1	1.0
オンコルの薬剤師	(n=147)	1.1	0.4	1.0
救急担当専従の診療放射線技師	(n=307)	1.3	1.3	1.0
オンコルの診療放射線技師	(n=250)	1.2	0.8	1.0
救急担当専従の臨床検査技師	(n=265)	1.3	1.4	1.0
オンコルの臨床検査技師	(n=226)	1.2	0.6	1.0

(注) ・すべての職種について人数の記載があり、かつ記載人数が0人でないものを集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

図表 31 平日深夜帯に救急医療に従事する実人数（施設種別）

（単位：人）

	(高度)救命救急センターを有する医療機関(n=171)			二次救急医療機関(n=331)			その他の医療機関(n=40)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	3.5	4.7	2.0	0.9	1.6	0.0	0.3	0.8	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	7.7	27.4	3.0	2.1	3.8	1.0	1.4	2.1	1.0
オンコルの医師	12.6	27.1	8.0	5.6	15.9	1.0	1.5	4.1	0.0
救急担当専従の看護職員	6.5	18.2	3.0	1.8	3.4	1.0	0.5	0.6	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	2.6	9.0	0.0	1.2	4.9	0.0	1.3	2.2	1.0
救急担当専従の薬剤師	0.2	0.5	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	1.2	3.4	1.0	0.5	1.3	0.0	0.1	0.3	0.0
オンコルの薬剤師	0.1	0.4	0.0	0.4	0.6	0.0	0.3	0.5	0.0
救急担当専従の診療放射線技師	1.0	0.8	1.0	0.7	1.3	1.0	0.1	0.3	0.0
オンコルの診療放射線技師	0.5	0.7	0.0	0.6	0.9	0.0	0.5	0.5	1.0
救急担当専従の臨床検査技師	0.9	0.9	1.0	0.6	1.3	0.0	0.2	0.5	0.0
オンコルの臨床検査技師	0.4	0.7	0.0	0.5	0.7	0.0	0.5	0.6	0.5

(注) ・すべての職種について人数の記載のあった施設を集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

3) 休日日勤帯

図表 32 休日日勤帯に救急医療に従事する実人数 (n=546)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	1.9	3.2	1.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	3.5	8.5	1.0
オンコールの医師	6.7	10.5	2.0
救急担当専従の看護職員	3.9	8.4	2.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	2.4	12.5	0.0
救急担当専従の薬剤師	0.2	0.6	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	0.8	2.0	0.0
オンコールの薬剤師	0.3	0.5	0.0
救急担当専従の診療放射線技師	0.8	0.9	1.0
オンコールの診療放射線技師	0.5	0.9	0.0
救急担当専従の臨床検査技師	0.7	0.9	0.8
オンコールの臨床検査技師	0.5	0.8	0.0

- (注) ・すべての職種について人数の記載のあった施設を集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

図表 33 休日日勤帯に救急医療に従事する実人数（0を除いた集計値）

（単位：人）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	(n=285)	3.6	3.7	3.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	(n=405)	4.7	9.6	2.0
オンコルの医師	(n=370)	9.9	11.5	7.0
救急担当専従の看護職員	(n=411)	5.2	9.4	3.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	(n=211)	6.3	19.6	2.0
救急担当専従の薬剤師	(n=91)	1.3	0.6	1.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	(n=260)	1.7	2.7	1.0
オンコルの薬剤師	(n=140)	1.1	0.4	1.0
救急担当専従の診療放射線技師	(n=313)	1.4	0.8	1.0
オンコルの診療放射線技師	(n=239)	1.2	1.0	1.0
救急担当専従の臨床検査技師	(n=274)	1.4	0.8	1.0
オンコルの臨床検査技師	(n=222)	1.2	0.8	1.0

(注) ・すべての職種について人数の記載があり、かつ記載人数が0人でないものを集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

図表 34 休日日勤帯に救急医療に従事する実人数（施設種別）

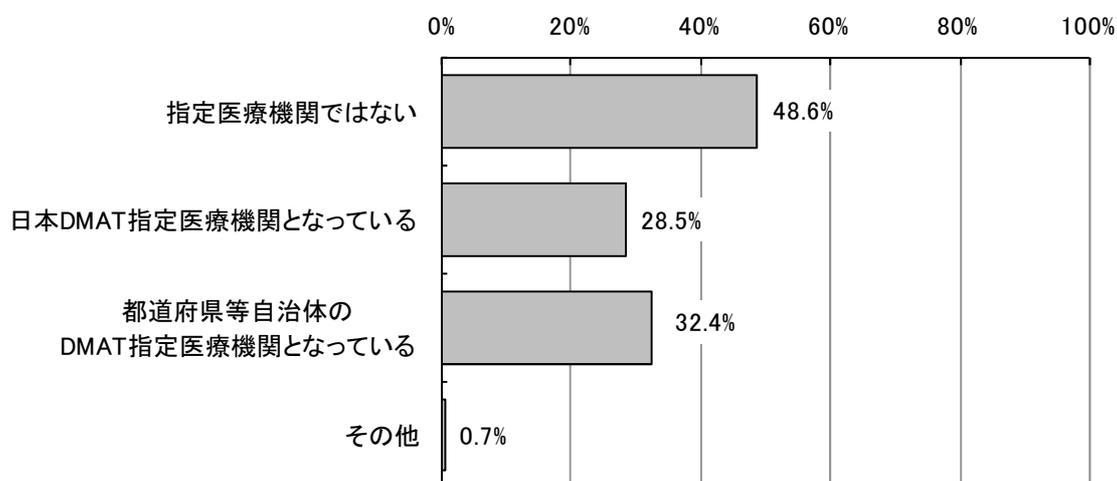
（単位：人）

	(高度)救命救急センターを有する医療機関(n=170)			二次救急医療機関(n=333)			その他の医療機関(n=40)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
救急担当専従の医師	3.9	4.7	3.0	1.1	1.8	0.0	0.3	0.8	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の医師	6.5	13.7	3.0	2.2	4.1	1.0	1.4	2.3	1.0
オンコルの医師	11.3	13.2	8.0	5.0	8.6	1.0	1.6	4.4	0.0
救急担当専従の看護職員	8.0	13.7	5.0	2.2	2.8	2.0	0.5	0.8	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の看護職員	4.4	20.1	0.0	1.4	6.5	0.0	2.7	8.2	1.0
救急担当専従の薬剤師	0.3	0.7	0.0	0.2	0.5	0.0	0.1	0.2	0.0
病棟業務と救急業務の兼務の薬剤師	1.6	3.3	1.0	0.5	0.8	0.0	0.2	0.4	0.0
オンコルの薬剤師	0.1	0.4	0.0	0.4	0.6	0.0	0.3	0.5	0.0
救急担当専従の診療放射線技師	1.2	1.1	1.0	0.7	0.8	1.0	0.2	0.4	0.0
オンコルの診療放射線技師	0.5	0.8	0.0	0.6	1.0	0.0	0.5	0.5	1.0
救急担当専従の臨床検査技師	1.1	1.1	1.0	0.6	0.8	0.0	0.3	0.6	0.0
オンコルの臨床検査技師	0.4	0.7	0.0	0.5	0.8	0.0	0.5	0.6	0.5

(注) ・すべての職種について人数の記載のあった施設を集計対象とした。
 ・二次救急医療機関には、当番日の状況を尋ねている。

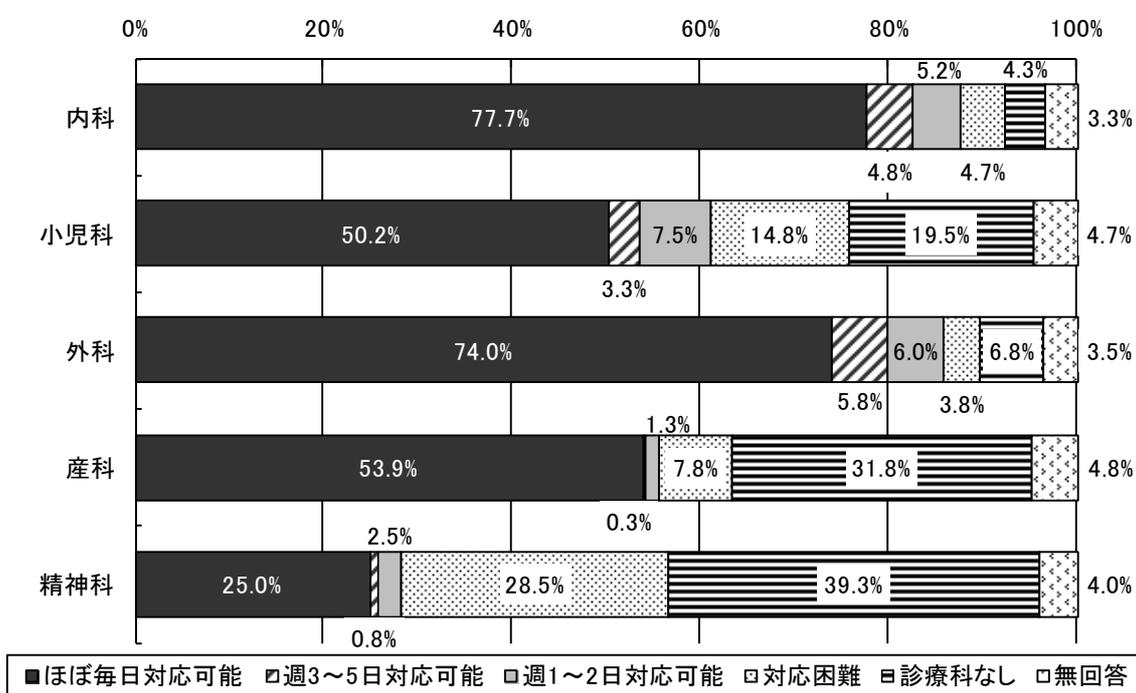
⑤DMAT指定の状況

図表 35 DMAT指定の状況（複数回答、n=601）



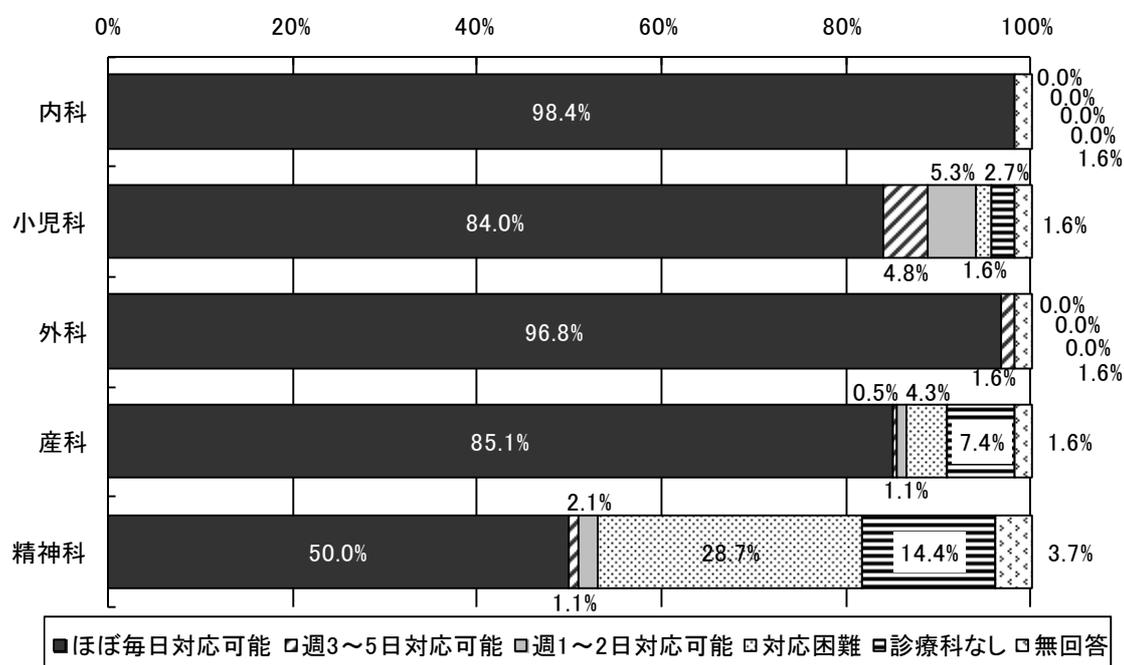
⑥夜間（準夜・深夜・早朝）の救急対応

図表 36 夜間（準夜・深夜・早朝）の救急対応（n=601）



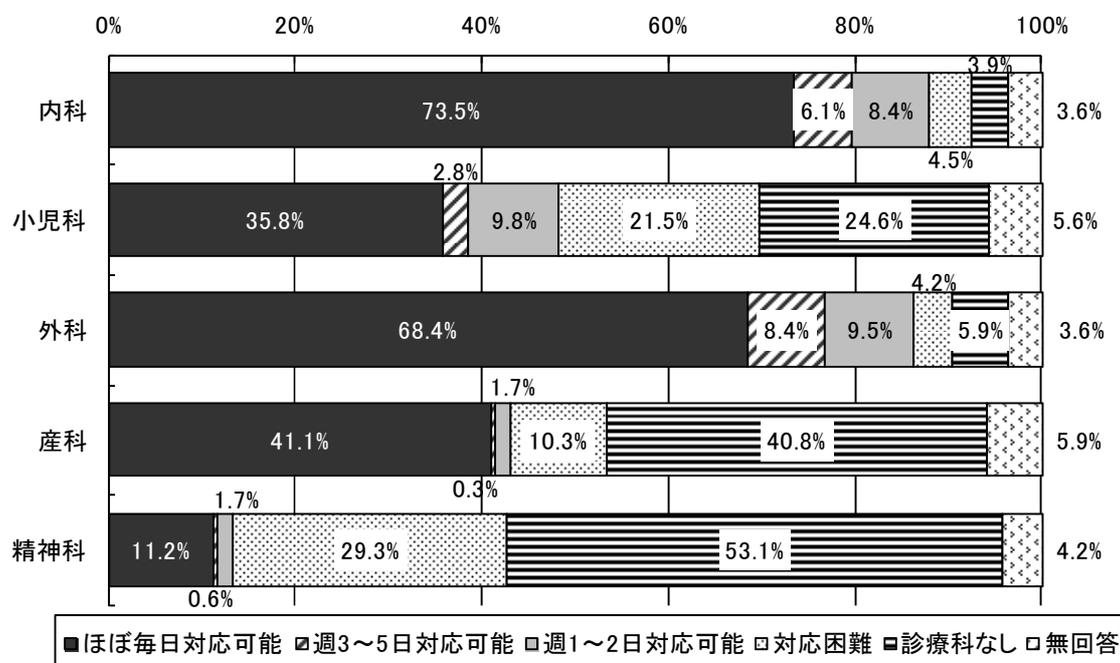
(注) 「内科」は内科系一般の診療科における救急対応、「外科」は外科系一般の診療科における救急対応について尋ねている。

図表 37 夜間（準夜・深夜・早朝）の救急対応
 ((高度)救命救急センターを有する医療機関、n=188)



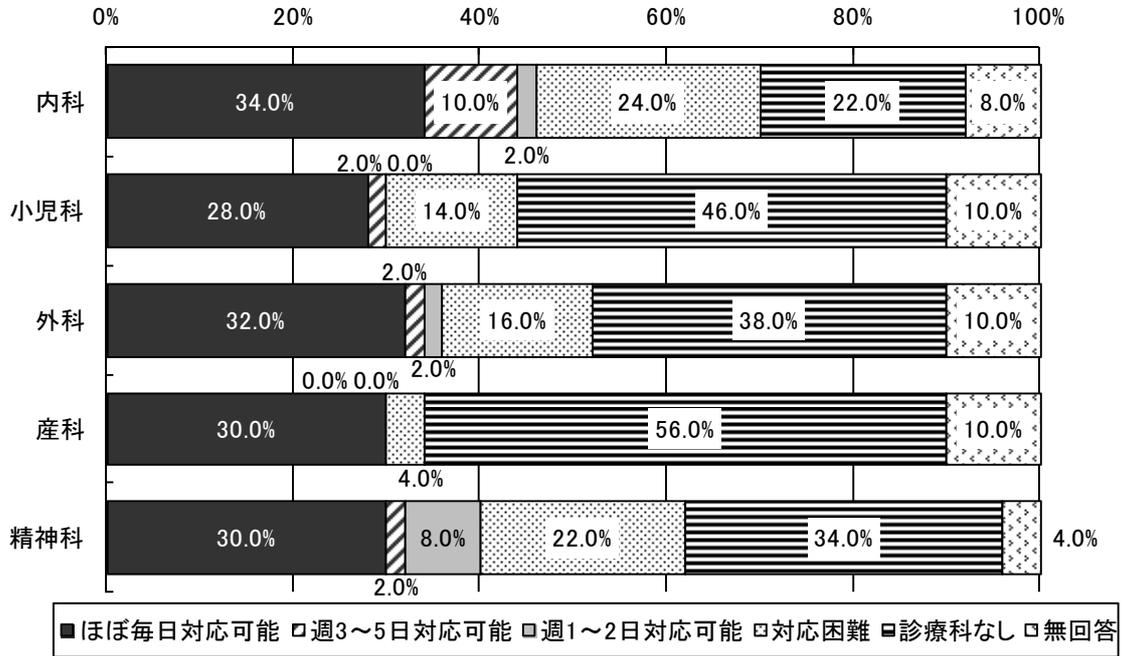
(注) 「内科」は内科系一般の診療科における救急対応、「外科」は外科系一般の診療科における救急対応について尋ねている。

図表 38 夜間（準夜・深夜・早朝）の救急対応（二次救急医療機関、n=358）



(注) 「内科」は内科系一般の診療科における救急対応、「外科」は外科系一般の診療科における救急対応について尋ねている。

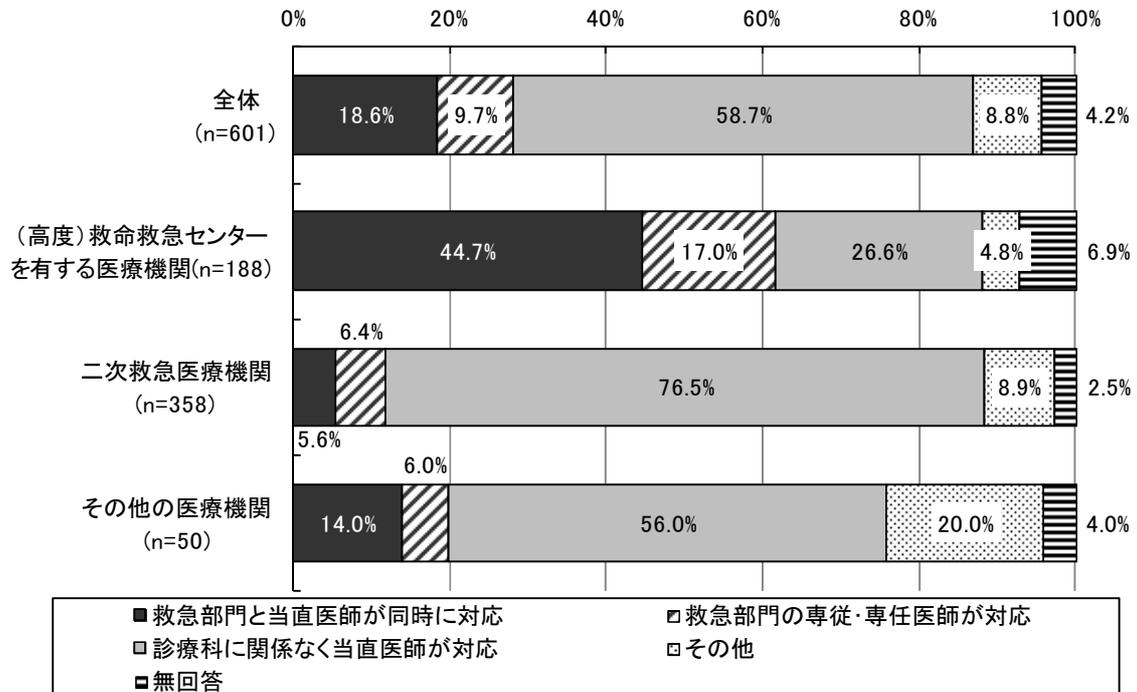
図表 39 夜間（準夜・深夜・早朝）の救急対応（その他の医療機関、n=50）



(注) 「内科」は内科系一般の診療科における救急対応、「外科」は外科系一般の診療科における救急対応について尋ねている。

⑦夜間（準夜・深夜・早朝）の救急外来の初期対応

図表 40 夜間（準夜・深夜・早朝）の救急外来の初期対応



⑧救急医療に従事する医師・看護職員の常勤換算人数（平成26年10月末時点）

1) 医師数

図表 41 救急医療に従事する専従・専任の医師数（1施設あたり平均）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
救急医療に従事する専従・専任の医師数		(n=336)	26.4	36.3	9.2	
従 事 部 署 別	救命救急センター外来	専従	(n=174)	5.7	40.6	0.0
		専任(兼任)	(n=174)	12.5	24.0	5.0
	救命救急センター病棟	専従	(n=174)	3.4	6.9	0.0
		専任(兼任)	(n=174)	13.9	25.4	5.0
	特定集中治療室	専従	(n=240)	1.8	4.0	0.0
		専任(兼任)	(n=240)	12.2	16.8	7.0
	ハイケアユニット	専従	(n=102)	0.6	2.3	0.0
		専任(兼任)	(n=102)	15.8	21.2	8.0
	小児特定集中治療室	専従	(n=4)	2.3	3.9	0.5
		専任(兼任)	(n=4)	12.7	12.8	11.9
	新生児特定集中治療室	専従	(n=129)	1.0	2.9	0.0
		専任(兼任)	(n=129)	6.5	5.9	5.5
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=74)	3.1	6.2	0.0
		専任(兼任)	(n=71)	12.6	11.4	10.5
	新生児治療回復室	専従	(n=106)	0.8	3.1	0.0
		専任(兼任)	(n=106)	7.4	6.2	6.0

(注) ・各許可病床を持つ施設を集計対象とした。
・数値は常勤換算人数である。

図表 42 救急医療に従事する専従・専任の医師数（1施設あたり平均 0を除いた集計値）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
救急医療に従事する専従・専任の医師数		(n=280)	31.7	37.6	17.0	
従 事 部 署 別	救命救急センター外来	専従	(n=74)	13.5	61.6	4.5
		専任(兼任)	(n=120)	18.2	27.1	9.0
	救命救急センター病棟	専従	(n=66)	8.9	8.8	5.6
		専任(兼任)	(n=127)	19.0	28.1	8.9
	特定集中治療室	専従	(n=92)	4.6	5.5	2.0
		専任(兼任)	(n=190)	15.4	17.5	10.0
	ハイケアユニット	専従	(n=16)	3.6	5.1	1.0
		専任(兼任)	(n=85)	18.9	21.9	12.0
	小児特定集中治療室	専従	(n=2)	4.5	4.9	4.5
		専任(兼任)	(n=3)	16.9	11.8	19.7
	新生児特定集中治療室	専従	(n=34)	3.8	4.7	2.5
		専任(兼任)	(n=111)	7.6	5.7	6.0
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=24)	9.7	7.6	7.5
		専任(兼任)	(n=62)	14.4	11.1	13.0
	新生児治療回復室	専従	(n=16)	5.6	6.2	4.0
		専任(兼任)	(n=93)	8.4	5.9	7.0

(注) ・各許可病床を持ち、かつ記入人数が0でない施設を集計対象とした。
・数値は常勤換算人数である。

図表 43 救急医療に従事する専従・専任の医師数（10床あたり平均）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
従事部署別	救命救急センター病棟	専従	(n=174)	1.6	3.2	0.0
		専任(兼任)	(n=174)	6.7	13.0	2.0
	特定集中治療室	専従	(n=240)	1.7	3.4	0.0
		専任(兼任)	(n=240)	17.1	46.5	8.2
	ハイケアユニット	専従	(n=102)	0.5	1.7	0.0
		専任(兼任)	(n=102)	19.6	29.2	11.9
	小児特定集中治療室	専従	(n=4)	2.9	4.8	0.8
		専任(兼任)	(n=4)	15.1	15.3	13.8
	新生児特定集中治療室	専従	(n=129)	1.3	3.3	0.0
		専任(兼任)	(n=129)	10.2	9.3	7.8
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=74)	1.7	3.2	0.0
		専任(兼任)	(n=71)	7.4	7.9	5.6
	新生児治療回復室	専従	(n=106)	0.9	4.4	0.0
		専任(兼任)	(n=106)	6.4	5.8	4.8

(注) ・各許可病床を持つ施設を集計対象とした。
 ・数値は常勤換算人数である。

図表 44 救急医療に従事する専従・専任の医師数（10床あたり平均 0を除いた集計値）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
従事部署別	救命救急センター病棟	専従	(n=66)	4.1	4.0	3.1
		専任(兼任)	(n=127)	9.1	14.4	3.8
	特定集中治療室	専従	(n=92)	4.3	4.3	2.5
		専任(兼任)	(n=190)	21.6	51.3	11.6
	ハイケアユニット	専従	(n=16)	3.0	3.3	1.5
		専任(兼任)	(n=85)	23.5	30.5	16.0
	小児特定集中治療室	専従	(n=2)	5.8	5.9	5.8
		専任(兼任)	(n=3)	20.1	14.1	22.5
	新生児特定集中治療室	専従	(n=34)	5.0	4.8	3.3
		専任(兼任)	(n=111)	11.9	9.0	10.0
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=24)	5.2	3.6	4.2
		専任(兼任)	(n=62)	8.4	7.9	6.5
	新生児治療回復室	専従	(n=16)	5.9	10.3	2.8
		専任(兼任)	(n=93)	7.3	5.6	5.0

(注) ・各許可病床を持ち、かつ記入人数が0でない施設を集計対象とした。
 ・数値は常勤換算人数である。

2) 看護職員数

図表 45 救急医療に従事する専従・専任の看護職員数（1施設あたり平均）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
救急医療に従事する専従・専任の看護職員数		(n=337)	62.3	66.9	38.0	
従 事 部 署 別	救命救急センター外来	専従	(n=174)	12.8	14.8	9.8
		専任(兼任)	(n=174)	6.6	13.2	0.0
	救命救急センター病棟	専従	(n=174)	37.0	28.9	35.0
		専任(兼任)	(n=174)	9.2	18.3	0.0
	特定集中治療室	専従	(n=255)	27.0	22.2	24.7
		専任(兼任)	(n=255)	6.1	17.2	0.0
	ハイケアユニット	専従	(n=112)	15.4	13.3	14.0
		専任(兼任)	(n=112)	5.6	13.1	0.0
	小児特定集中治療室	専従	(n=5)	15.3	17.2	10.0
		専任(兼任)	(n=5)	3.4	7.6	0.0
	新生児特定集中治療室	専従	(n=133)	13.7	9.5	15.0
		専任(兼任)	(n=133)	3.7	8.9	0.0
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=74)	24.8	24.9	17.5
		専任(兼任)	(n=74)	8.8	19.5	0.0
	新生児治療回復室	専従	(n=110)	13.7	9.8	13.0
		専任(兼任)	(n=110)	3.6	9.3	0.0

(注) ・各許可病床を持つ施設を集計対象とした。

・数値は常勤換算人数である。

図表 46 救急医療に従事する専従・専任の看護職員数

（1施設あたり平均 0を除いた集計値）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
救急医療に従事する専従・専任の看護職員数		(n=285)	73.7	66.8	63.0	
従 事 部 署 別	救命救急センター外来	専従	(n=108)	20.6	13.8	19.1
		専任(兼任)	(n=62)	18.4	16.6	14.4
	救命救急センター病棟	専従	(n=139)	46.4	24.8	43.6
		専任(兼任)	(n=49)	32.6	20.7	32.0
	特定集中治療室	専従	(n=212)	32.5	20.4	29.0
		専任(兼任)	(n=57)	27.5	27.4	26.0
	ハイケアユニット	専従	(n=87)	19.8	11.8	18.0
		専任(兼任)	(n=33)	19.1	18.2	16.0
	小児特定集中治療室	専従	(n=3)	25.5	14.2	28.6
		専任(兼任)	(n=1)	17.0	0.0	17.0
	新生児特定集中治療室	専従	(n=108)	16.9	7.6	16.0
		専任(兼任)	(n=33)	15.0	12.3	13.0
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=59)	31.1	24.1	22.0
		専任(兼任)	(n=18)	36.2	24.1	31.0
	新生児治療回復室	専従	(n=92)	16.4	8.4	15.2
		専任(兼任)	(n=24)	16.5	13.6	15.5

(注) ・各許可病床を持ち、かつ記入人数が0でない施設を集計対象とした。

・数値は常勤換算人数である。

図表 47 救急医療に従事する専従・専任の看護職員数（10床あたり平均）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
従事部署別	救命救急センター病棟	専従	(n=174)	15.9	11.8	16.7
		専任(兼任)	(n=174)	4.6	9.4	0.0
	特定集中治療室	専従	(n=255)	27.6	15.2	31.7
		専任(兼任)	(n=255)	6.9	17.4	0.0
	ハイケアユニット	専従	(n=112)	15.2	10.6	17.1
		専任(兼任)	(n=112)	8.1	19.9	0.0
	小児特定集中治療室	専従	(n=5)	16.8	16.9	16.7
		専任(兼任)	(n=5)	5.7	12.7	0.0
	新生児特定集中治療室	専従	(n=133)	19.1	11.3	22.5
		専任(兼任)	(n=133)	5.8	14.3	0.0
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=74)	12.6	9.5	10.1
		専任(兼任)	(n=74)	6.6	19.6	0.0
	新生児治療回復室	専従	(n=110)	10.3	5.5	11.5
		専任(兼任)	(n=110)	3.3	9.9	0.0

(注) ・各許可病床を持つ施設を集計対象とした。
 ・数値は常勤換算人数である。

図表 48 救急医療に従事する専従・専任の看護職員数

（10床あたり平均 0を除いた集計値）

（単位：人）

		施設数	平均値	標準偏差	中央値	
従事部署別	救命救急センター病棟	専従	(n=139)	19.9	9.8	19.0
		専任(兼任)	(n=49)	16.4	11.1	15.0
	特定集中治療室	専従	(n=212)	33.2	9.5	33.3
		専任(兼任)	(n=57)	30.9	24.7	32.0
	ハイケアユニット	専従	(n=87)	19.5	7.7	18.8
		専任(兼任)	(n=33)	27.5	28.6	17.5
	小児特定集中治療室	専従	(n=3)	28.0	10.0	31.7
		専任(兼任)	(n=1)	28.3	0.0	28.3
	新生児特定集中治療室	専従	(n=108)	23.6	7.3	24.4
		専任(兼任)	(n=33)	23.3	20.6	20.0
	総合周産期特定集中治療室	専従	(n=59)	15.8	7.9	15.8
		専任(兼任)	(n=18)	27.2	32.6	20.7
	新生児治療回復室	専従	(n=92)	12.3	3.4	12.1
		専任(兼任)	(n=24)	15.2	16.8	9.7

(注) ・各許可病床を持ち、かつ記入人数が0でない施設を集計対象とした。
 ・数値は常勤換算人数である。

⑨施設に従事する医師数（平成 26 年 10 月末時点 常勤換算人数）

図表 49 施設に従事する医師数（n=544）

（単位：人）

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科の医師	2.9	5.0	1.0	0.7	1.9	0.0
(うち)精神保健指定医	1.9	3.3	0.0	0.2	0.7	0.0
(うち)上記以外の精神科医	0.9	2.2	0.0	0.3	1.4	0.0
小児科の医師	7.1	9.2	5.0	1.0	2.5	0.1
産科の医師	5.0	6.0	4.0	0.7	1.9	0.0
メディカルコントロールの業務に携わる医師	2.7	9.1	0.0	0.1	0.5	0.0

図表 50 施設に従事する医師数

（(高度)救命救急センターを有する医療機関、n=181）

（単位：人）

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科の医師	4.7	5.8	2.0	1.1	2.5	0.1
(うち)精神保健指定医	2.9	3.6	1.0	0.3	0.9	0.0
(うち)上記以外の精神科医	1.6	2.8	0.0	0.6	1.9	0.0
小児科の医師	11.4	9.9	9.0	1.6	3.2	0.3
産科の医師	8.4	6.0	7.0	1.1	2.5	0.2
メディカルコントロールの業務に携わる医師	5.1	10.9	1.0	0.1	0.5	0.0

図表 51 施設に従事する医師数（二次救急医療機関、n=313）

（単位：人）

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科の医師	1.6	4.0	0.0	0.4	1.2	0.0
(うち)精神保健指定医	1.1	2.7	0.0	0.1	0.4	0.0
(うち)上記以外の精神科医	0.5	1.7	0.0	0.1	0.7	0.0
小児科の医師	4.7	7.0	2.0	0.7	1.9	0.0
産科の医師	3.3	5.4	2.0	0.5	1.5	0.0
メディカルコントロールの業務に携わる医師	1.6	8.2	0.0	0.0	0.6	0.0

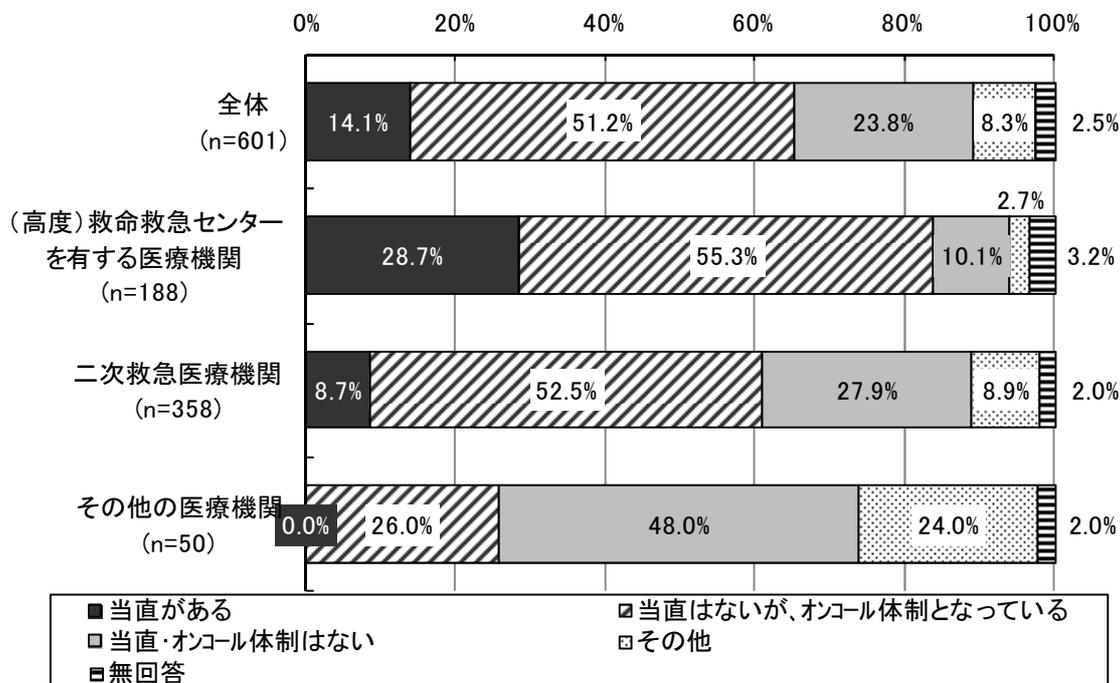
図表 52 施設に従事する医師数（その他の医療機関、n=45）

（単位：人）

	常勤			非常勤(常勤換算)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科の医師	5.0	5.3	3.0	1.6	2.7	0.4
(うち)精神保健指定医	3.7	4.1	2.0	0.5	0.8	0.2
(うち)上記以外の精神科医	1.2	1.8	0.0	0.8	2.1	0.0
小児科の医師	6.4	12.3	0.0	1.1	2.5	0.0
産科の医師	2.6	4.5	0.0	0.7	1.8	0.0
メディカルコントロールの業務に携わる医師	0.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0

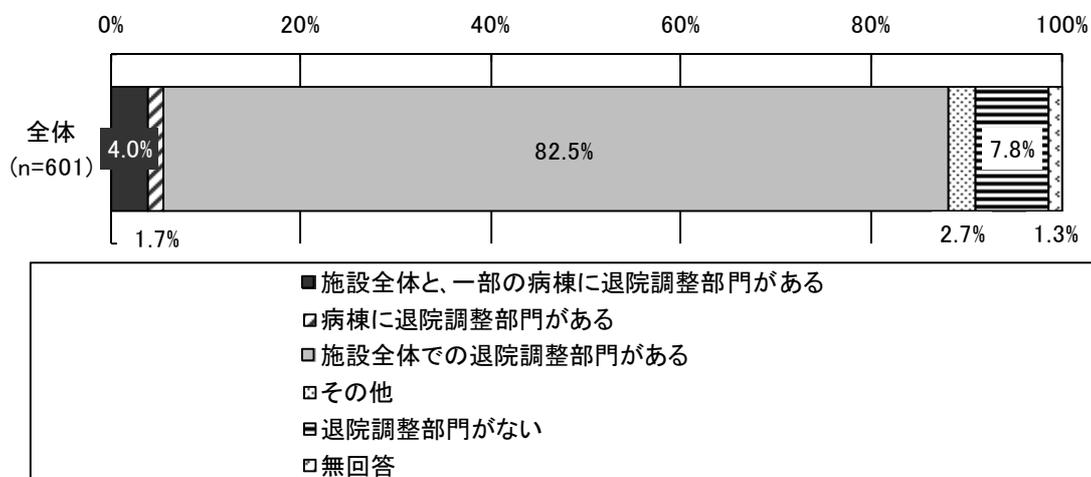
⑩臨床工学技士（外来透析担当を除く）の当直の有無

図表 53 臨床工学技士（外来透析担当を除く）の当直の有無



⑪退院調整を行う部門（部署）の有無

図表 54 退院調整を行う部門（部署）の有無



⑫退院調整の実施体制

1) 退院調整を行う部門（部署）の職員数

図表 55 退院調整を行う部門（部署）の職員数 (n=517)

(単位：人)

	専従			専任(兼任)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
医師	0.0	0.1	0.0	0.3	0.6	0.0
看護師(保健師、助産師を含む)	1.3	1.9	1.0	0.7	1.2	0.0
准看護師	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0
社会福祉士	1.8	2.4	1.0	1.3	2.1	0.0
精神保健福祉士	0.2	0.8	0.0	0.2	0.8	0.0
その他の相談員	0.1	0.4	0.0	0.1	0.4	0.0
事務職員	0.6	1.6	0.0	0.3	0.9	0.0
その他	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0
合計	4.1	5.0	2.0	3.0	3.5	2.0

(注) ・「施設全体での退院調整部門と、一部の病棟に退院調整部門がある」または「施設全体での退院調整部門がある」施設を集計対象とした。

・「専従」は退院調整担当者が、病棟内の患者に対し、退院調整業務のみに従事している場合を指す。

・「専任(兼任)」は、退院調整担当者が、受け持ち患者の看護等以外に、病棟内の患者に対する退院調整業務に従事している場合を指す。

2) 病棟に配置されている退院調整担当者数

図表 56 病棟に配置されている退院調整担当者数 (n=33)

(単位：人)

	専従			専任(兼任)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
医師	/	/	/	0.0	0.2	0.0
看護師(保健師、助産師を含む)	0.2	0.4	0.0	3.3	5.1	1.0
准看護師	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.0
社会福祉士	0.2	0.4	0.0	0.1	0.4	0.0
精神保健福祉士	0.2	0.6	0.0	0.1	0.3	0.0
その他の相談員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
事務職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	0.5	0.8	0.0	3.6	4.9	1.0

(注) ・「施設全体での退院調整部門と、一部の病棟に退院調整部門がある」または「病棟に退院調整部門がある」施設を集計対象とした。

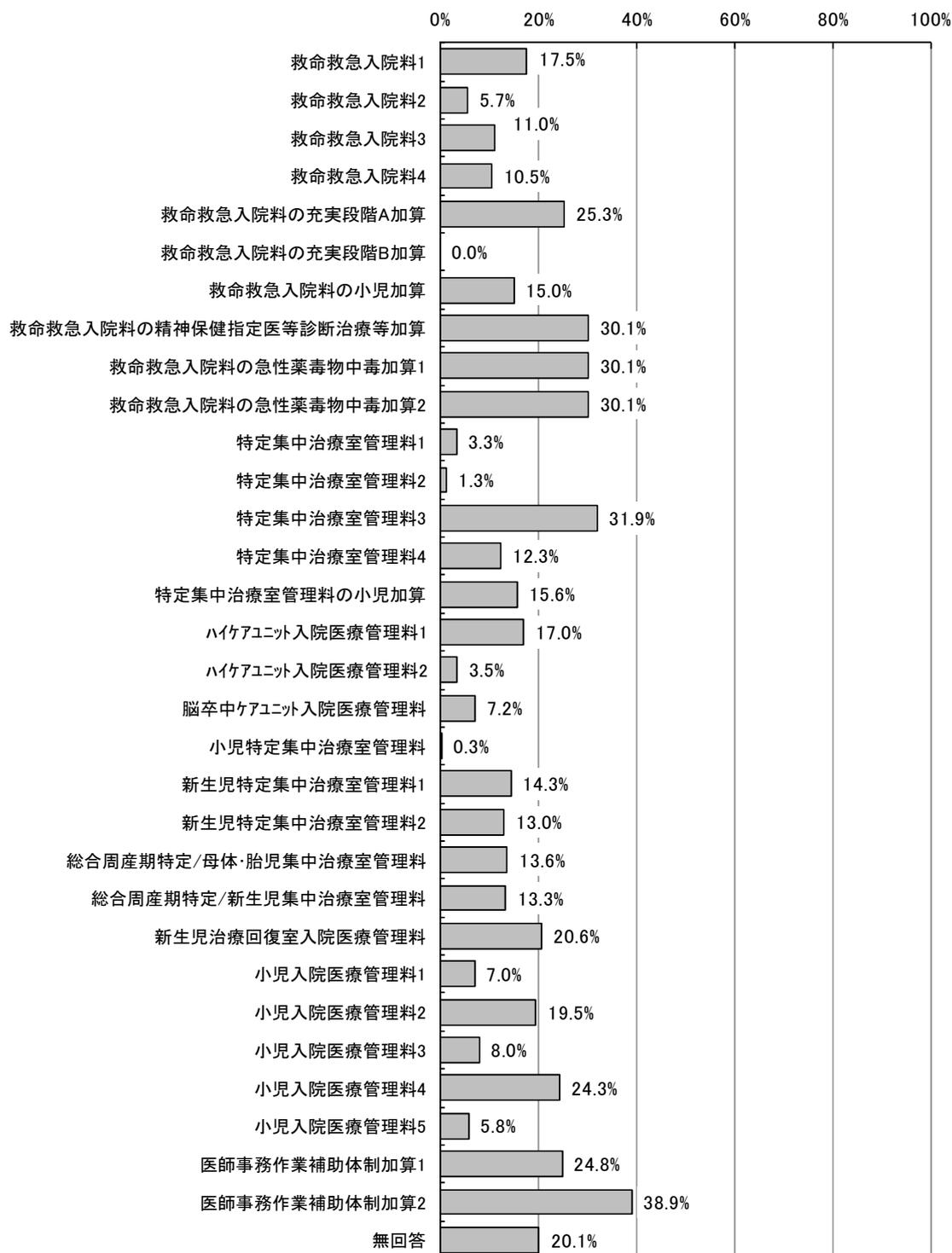
・「専従」は退院調整担当者が、病棟内の患者に対し、退院調整業務のみに従事している場合を指す。

・「専任(兼任)」は、退院調整担当者が、受け持ち患者の看護等以外に、病棟内の患者に対する退院調整業務に従事している場合を指す。

(3) 救急医療に関する施設基準及びその算定状況等

①各施設基準等の届出状況

図表 57 届出があるもの（複数回答、n=601）



②各施設基準等の届出時期

1) 救命救急入院料 1

図表 58 救命救急入院料 1 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	14	13.3%
平成14年4月～平成15年3月	7	6.7%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	1	1.0%
平成17年4月～平成18年3月	3	2.9%
平成18年4月～平成19年3月	5	4.8%
平成19年4月～平成20年3月	3	2.9%
平成20年4月～平成21年3月	3	2.9%
平成21年4月～平成22年3月	2	1.9%
平成22年4月～平成23年3月	17	16.2%
平成23年4月～平成24年3月	10	9.5%
平成24年4月～平成25年3月	11	10.5%
平成25年4月～平成26年3月	14	13.3%
平成26年4月～	10	9.5%
不明	5	4.8%
合計	105	100.0%

2) 救命救急入院料 2

図表 59 救命救急入院料 2 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	5	14.7%
平成14年4月～平成15年3月	2	5.9%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	1	2.9%
平成18年4月～平成19年3月	2	5.9%
平成19年4月～平成20年3月	1	2.9%
平成20年4月～平成21年3月	1	2.9%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	12	35.3%
平成23年4月～平成24年3月	2	5.9%
平成24年4月～平成25年3月	4	11.8%
平成25年4月～平成26年3月	0	0.0%
平成26年4月～	2	5.9%
不明	2	5.9%
合計	34	100.0%

3) 救命救急入院料 3

図表 60 救命救急入院料 3 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	3	4.5%
平成14年4月～平成15年3月	1	1.5%
平成15年4月～平成16年3月	1	1.5%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	0	0.0%
平成19年4月～平成20年3月	1	1.5%
平成20年4月～平成21年3月	2	3.0%
平成21年4月～平成22年3月	1	1.5%
平成22年4月～平成23年3月	30	45.5%
平成23年4月～平成24年3月	1	1.5%
平成24年4月～平成25年3月	12	18.2%
平成25年4月～平成26年3月	8	12.1%
平成26年4月～	3	4.5%
不明	3	4.5%
合計	66	100.0%

4) 救命救急入院料 4

図表 61 救命救急入院料 4 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	2	3.2%
平成14年4月～平成15年3月	1	1.6%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	2	3.2%
平成19年4月～平成20年3月	1	1.6%
平成20年4月～平成21年3月	1	1.6%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	38	60.3%
平成23年4月～平成24年3月	4	6.3%
平成24年4月～平成25年3月	2	3.2%
平成25年4月～平成26年3月	7	11.1%
平成26年4月～	2	3.2%
不明	3	4.8%
合計	63	100.0%

5) 救命救急入院料の充実段階 A 加算

図表 62 救命救急入院料の充実段階 A 加算の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	4	2.6%
平成14年4月～平成15年3月	6	4.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	2	1.3%
平成18年4月～平成19年3月	9	6.0%
平成19年4月～平成20年3月	6	4.0%
平成20年4月～平成21年3月	3	2.0%
平成21年4月～平成22年3月	4	2.6%
平成22年4月～平成23年3月	66	43.7%
平成23年4月～平成24年3月	10	6.6%
平成24年4月～平成25年3月	18	11.9%
平成25年4月～平成26年3月	11	7.3%
平成26年4月～	5	3.3%
不明	7	4.6%
合計	151	100.0%

6) 救命救急入院料の充実段階 B 加算

図表 63 救命救急入院料の充実段階 B 加算の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	-
平成14年4月～平成15年3月	0	-
平成15年4月～平成16年3月	0	-
平成16年4月～平成17年3月	0	-
平成17年4月～平成18年3月	0	-
平成18年4月～平成19年3月	0	-
平成19年4月～平成20年3月	0	-
平成20年4月～平成21年3月	0	-
平成21年4月～平成22年3月	0	-
平成22年4月～平成23年3月	0	-
平成23年4月～平成24年3月	0	-
平成24年4月～平成25年3月	0	-
平成25年4月～平成26年3月	0	-
平成26年4月～	0	-
不明	0	-
合計	0	-

7) 救命救急入院料の小児加算

図表 64 救命救急入院料の小児加算の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	1	1.1%
平成14年4月～平成15年3月	1	1.1%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	1	1.1%
平成18年4月～平成19年3月	0	0.0%
平成19年4月～平成20年3月	1	1.1%
平成20年4月～平成21年3月	1	1.1%
平成21年4月～平成22年3月	1	1.1%
平成22年4月～平成23年3月	57	63.3%
平成23年4月～平成24年3月	5	5.6%
平成24年4月～平成25年3月	6	6.7%
平成25年4月～平成26年3月	5	5.6%
平成26年4月～	5	5.6%
不明	6	6.7%
合計	90	100.0%

8) 救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算

図表 65 救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	1	3.4%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	2	6.9%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	8	27.6%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	8	27.6%
平成23年4月～平成24年3月	2	6.9%
平成24年4月～平成25年3月	3	10.3%
平成25年4月～平成26年3月	3	10.3%
平成26年4月～	2	6.9%
不明	0	0.0%
合計	29	100.0%

9) 特定集中治療室管理料 1

図表 66 特定集中治療室管理料 1 の届出時期

	施設数	割合
平成26年1月	0	0.0%
平成26年2月	0	0.0%
平成26年3月	0	0.0%
平成26年4月	5	25.0%
平成26年5月	4	20.0%
平成26年6月	2	10.0%
平成26年7月	5	25.0%
平成26年8月	0	0.0%
平成26年9月	2	10.0%
平成26年10月	2	10.0%
平成26年11月	0	0.0%
平成26年12月	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	20	100.0%

10) 特定集中治療室管理料 2

図表 67 特定集中治療室管理料 2 の届出時期

	施設数	割合
平成26年1月	0	0.0%
平成26年2月	0	0.0%
平成26年3月	0	0.0%
平成26年4月	1	12.5%
平成26年5月	2	25.0%
平成26年6月	2	25.0%
平成26年7月	1	12.5%
平成26年8月	0	0.0%
平成26年9月	1	12.5%
平成26年10月	1	12.5%
平成26年11月	0	0.0%
平成26年12月	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	8	100.0%

11) 特定集中治療室管理料 3

図表 68 特定集中治療室管理料 3 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	24	12.6%
平成14年4月～平成15年3月	6	3.1%
平成15年4月～平成16年3月	17	8.9%
平成16年4月～平成17年3月	4	2.1%
平成17年4月～平成18年3月	3	1.6%
平成18年4月～平成19年3月	22	11.5%
平成19年4月～平成20年3月	8	4.2%
平成20年4月～平成21年3月	6	3.1%
平成21年4月～平成22年3月	12	6.3%
平成22年4月～平成23年3月	36	18.8%
平成23年4月～平成24年3月	4	2.1%
平成24年4月～平成25年3月	11	5.8%
平成25年4月～平成26年3月	10	5.2%
平成26年4月～	18	9.4%
不明	10	5.2%
合計	191	100.0%

12) 特定集中治療室管理料 4

図表 69 特定集中治療室管理料 4

	施設数	割合
～平成14年3月	4	5.5%
平成14年4月～平成15年3月	1	1.4%
平成15年4月～平成16年3月	3	4.1%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	2	2.7%
平成18年4月～平成19年3月	2	2.7%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	0	0.0%
平成21年4月～平成22年3月	2	2.7%
平成22年4月～平成23年3月	28	38.4%
平成23年4月～平成24年3月	3	4.1%
平成24年4月～平成25年3月	8	11.0%
平成25年4月～平成26年3月	8	11.0%
平成26年4月～	6	8.2%
不明	6	8.2%
合計	73	100.0%

13) 特定集中治療室管理料の小児加算

図表 70 特定集中治療室管理料の小児加算の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	1	1.1%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	1	1.1%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	0	0.0%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	60	63.8%
平成23年4月～平成24年3月	5	5.3%
平成24年4月～平成25年3月	10	10.6%
平成25年4月～平成26年3月	5	5.3%
平成26年4月～	4	4.3%
不明	8	8.5%
合計	94	100.0%

14) ハイケアユニット入院医療管理料 1

図表 71 ハイケアユニット入院医療管理料 1 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	3	2.9%
平成17年4月～平成18年3月	1	1.0%
平成18年4月～平成19年3月	0	0.0%
平成19年4月～平成20年3月	3	2.9%
平成20年4月～平成21年3月	4	3.9%
平成21年4月～平成22年3月	2	2.0%
平成22年4月～平成23年3月	15	14.7%
平成23年4月～平成24年3月	7	6.9%
平成24年4月～平成25年3月	12	11.8%
平成25年4月～平成26年3月	6	5.9%
平成26年4月～	49	48.0%
不明	0	0.0%
合計	102	100.0%

15) ハイケアユニット入院医療管理料 2

図表 72 ハイケアユニット入院医療管理料 2 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	1	4.8%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	1	4.8%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	0	0.0%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	2	9.5%
平成23年4月～平成24年3月	3	14.3%
平成24年4月～平成25年3月	6	28.6%
平成25年4月～平成26年3月	2	9.5%
平成26年4月～	6	28.6%
不明	0	0.0%
合計	21	100.0%

16) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料

図表 73 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	5	11.6%
平成19年4月～平成20年3月	3	7.0%
平成20年4月～平成21年3月	5	11.6%
平成21年4月～平成22年3月	4	9.3%
平成22年4月～平成23年3月	4	9.3%
平成23年4月～平成24年3月	5	11.6%
平成24年4月～平成25年3月	7	16.3%
平成25年4月～平成26年3月	5	11.6%
平成26年4月～	4	9.3%
不明	1	2.3%
合計	43	100.0%

17) 小児特定集中治療室管理料

図表 74 小児特定集中治療室管理料の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	0	0.0%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	0	0.0%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	0	0.0%
平成23年4月～平成24年3月	0	0.0%
平成24年4月～平成25年3月	0	0.0%
平成25年4月～平成26年3月	0	0.0%
平成26年4月～	2	100.0%
不明	0	0.0%
合計	2	100.0%

18) 新生児特定集中治療室管理料 1

図表 75 新生児特定集中治療室管理料 1 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	17	19.8%
平成14年4月～平成15年3月	2	2.3%
平成15年4月～平成16年3月	5	5.8%
平成16年4月～平成17年3月	3	3.5%
平成17年4月～平成18年3月	5	5.8%
平成18年4月～平成19年3月	6	7.0%
平成19年4月～平成20年3月	7	8.1%
平成20年4月～平成21年3月	5	5.8%
平成21年4月～平成22年3月	7	8.1%
平成22年4月～平成23年3月	9	10.5%
平成23年4月～平成24年3月	2	2.3%
平成24年4月～平成25年3月	8	9.3%
平成25年4月～平成26年3月	3	3.5%
平成26年4月～	5	5.8%
不明	2	2.3%
合計	86	100.0%

19) 新生児特定集中治療室管理料 2

図表 76 新生児特定集中治療室管理料 2 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	2	2.6%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	0	0.0%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	0	0.0%
平成21年4月～平成22年3月	1	1.3%
平成22年4月～平成23年3月	15	19.2%
平成23年4月～平成24年3月	5	6.4%
平成24年4月～平成25年3月	8	10.3%
平成25年4月～平成26年3月	9	11.5%
平成26年4月～	36	46.2%
不明	2	2.6%
合計	78	100.0%

20) 総合周産期特定集中治療室管理料 母体・胎児集中治療室管理料

図表 77 総合周産期特定集中治療室管理料 母体・胎児集中治療室管理料の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	8	9.8%
平成14年4月～平成15年3月	1	1.2%
平成15年4月～平成16年3月	2	2.4%
平成16年4月～平成17年3月	5	6.1%
平成17年4月～平成18年3月	8	9.8%
平成18年4月～平成19年3月	4	4.9%
平成19年4月～平成20年3月	3	3.7%
平成20年4月～平成21年3月	3	3.7%
平成21年4月～平成22年3月	3	3.7%
平成22年4月～平成23年3月	9	11.0%
平成23年4月～平成24年3月	8	9.8%
平成24年4月～平成25年3月	13	15.9%
平成25年4月～平成26年3月	4	4.9%
平成26年4月～	5	6.1%
不明	6	7.3%
合計	82	100.0%

21) 総合周産期特定集中治療室管理料 新生児集中治療室管理料

図表 78 総合周産期特定集中治療室管理料 新生児集中治療室管理料の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	8	10.1%
平成14年4月～平成15年3月	1	1.3%
平成15年4月～平成16年3月	2	2.5%
平成16年4月～平成17年3月	5	6.3%
平成17年4月～平成18年3月	6	7.6%
平成18年4月～平成19年3月	3	3.8%
平成19年4月～平成20年3月	3	3.8%
平成20年4月～平成21年3月	2	2.5%
平成21年4月～平成22年3月	3	3.8%
平成22年4月～平成23年3月	8	10.1%
平成23年4月～平成24年3月	9	11.4%
平成24年4月～平成25年3月	15	19.0%
平成25年4月～平成26年3月	3	3.8%
平成26年4月～	4	5.1%
不明	7	8.9%
合計	79	100.0%

22) 新生児治療回復室入院医療管理料

図表 79 新生児治療回復室入院医療管理料の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	0	0.0%
平成17年4月～平成18年3月	1	0.8%
平成18年4月～平成19年3月	0	0.0%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	0	0.0%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	74	59.7%
平成23年4月～平成24年3月	15	12.1%
平成24年4月～平成25年3月	9	7.3%
平成25年4月～平成26年3月	9	7.3%
平成26年4月～	11	8.9%
不明	5	4.0%
合計	124	100.0%

23) 小児入院医療管理料 1

図表 80 小児入院医療管理料 1 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	2	4.8%
平成15年4月～平成16年3月	2	4.8%
平成16年4月～平成17年3月	1	2.4%
平成17年4月～平成18年3月	1	2.4%
平成18年4月～平成19年3月	2	4.8%
平成19年4月～平成20年3月	0	0.0%
平成20年4月～平成21年3月	5	11.9%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	14	33.3%
平成23年4月～平成24年3月	3	7.1%
平成24年4月～平成25年3月	5	11.9%
平成25年4月～平成26年3月	3	7.1%
平成26年4月～	3	7.1%
不明	1	2.4%
合計	42	100.0%

24) 小児入院医療管理料 2

図表 81 小児入院医療管理料 2 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	2	1.7%
平成15年4月～平成16年3月	1	0.9%
平成16年4月～平成17年3月	4	3.4%
平成17年4月～平成18年3月	0	0.0%
平成18年4月～平成19年3月	2	1.7%
平成19年4月～平成20年3月	4	3.4%
平成20年4月～平成21年3月	7	6.0%
平成21年4月～平成22年3月	1	0.9%
平成22年4月～平成23年3月	54	46.2%
平成23年4月～平成24年3月	12	10.3%
平成24年4月～平成25年3月	14	12.0%
平成25年4月～平成26年3月	8	6.8%
平成26年4月～	2	1.7%
不明	6	5.1%
合計	117	100.0%

25) 小児入院医療管理料 3

図表 82 小児入院医療管理料 3 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	0	0.0%
平成15年4月～平成16年3月	0	0.0%
平成16年4月～平成17年3月	2	4.2%
平成17年4月～平成18年3月	4	8.3%
平成18年4月～平成19年3月	2	4.2%
平成19年4月～平成20年3月	5	10.4%
平成20年4月～平成21年3月	0	0.0%
平成21年4月～平成22年3月	7	14.6%
平成22年4月～平成23年3月	6	12.5%
平成23年4月～平成24年3月	3	6.3%
平成24年4月～平成25年3月	4	8.3%
平成25年4月～平成26年3月	5	10.4%
平成26年4月～	6	12.5%
不明	4	8.3%
合計	48	100.0%

26) 小児入院医療管理料 4

図表 83 小児入院医療管理料 4 の届出時期

	施設数	割合
～平成14年3月	0	0.0%
平成14年4月～平成15年3月	10	6.8%
平成15年4月～平成16年3月	1	0.7%
平成16年4月～平成17年3月	1	0.7%
平成17年4月～平成18年3月	4	2.7%
平成18年4月～平成19年3月	20	13.7%
平成19年4月～平成20年3月	5	3.4%
平成20年4月～平成21年3月	18	12.3%
平成21年4月～平成22年3月	10	6.8%
平成22年4月～平成23年3月	27	18.5%
平成23年4月～平成24年3月	14	9.6%
平成24年4月～平成25年3月	11	7.5%
平成25年4月～平成26年3月	17	11.6%
平成26年4月～	4	2.7%
不明	4	2.7%
合計	146	100.0%

③各施設基準等の算定件数

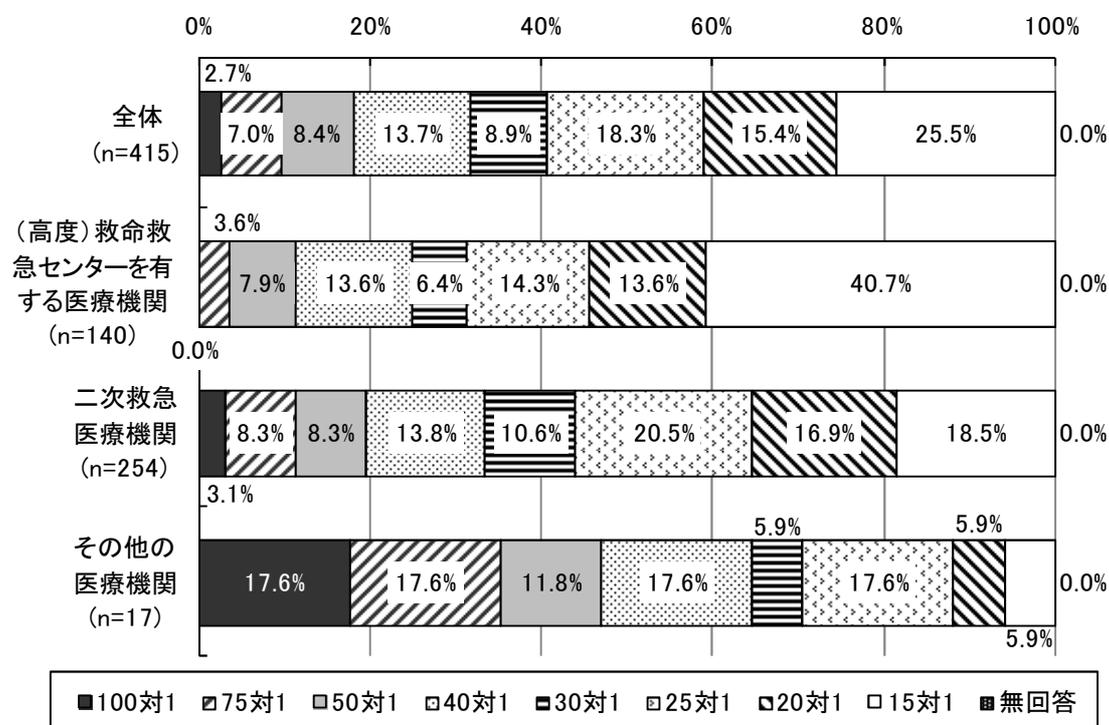
図表 84 各施設基準等の算定件数

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
救命救急入院料1	(n=94)	143.1	128.1	104.0	(n=94)	160.5	129.6	113.0
救命救急入院料2	(n=31)	89.9	85.1	62.0	(n=31)	82.3	73.5	57.0
救命救急入院料3	(n=65)	127.5	92.3	101.0	(n=65)	114.9	90.5	90.0
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料	(n=30)	0.5	1.4	0.0	(n=30)	0.2	0.8	0.0
救命救急入院料4	(n=62)	89.1	111.0	59.0	(n=62)	92.8	113.4	66.5
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料	(n=33)	1.4	6.4	0.0	(n=33)	2.6	12.1	0.0
救命救急入院料の充実段階A加算	(n=147)	171.7	165.9	126.0	(n=147)	174.8	161.6	117.0
救命救急入院料の充実段階B加算	(n=0)	-	-	-	(n=0)	-	-	-
救命救急入院料の小児加算	(n=83)	2.5	5.3	1.0	(n=83)	2.3	5.6	1.0
救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算	(n=61)	2.5	3.7	1.0	(n=61)	2.8	3.8	1.0
救命救急入院料の急性薬物中毒加算1	(n=47)	0.2	0.7	0.0	(n=47)	0.3	1.0	0.0
救命救急入院料の急性薬物中毒加算2					(n=59)	1.2	1.8	0.0
特定集中治療室管理料1					(n=20)	116.4	95.6	83.0
特定集中治療室管理料2					(n=8)	73.9	44.7	70.0
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料					(n=5)	0.4	0.9	0.0
特定集中治療室管理料3	(n=183)	100.4	128.2	72.0	(n=183)	103.6	112.2	78.0
特定集中治療室管理料4	(n=70)	107.2	111.9	84.0	(n=70)	107.6	105.2	84.0
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料	(n=39)	0.2	0.9	0.0	(n=39)	0.4	1.6	0.0
特定集中治療室管理料の小児加算	(n=89)	10.4	24.9	2.0	(n=89)	10.0	24.5	2.0
ハイケアユニット入院医療管理料1	(n=91)	104.2	107.6	64.0	(n=91)	108.5	89.2	78.0
ハイケアユニット入院医療管理料2	(n=16)	103.4	153.2	41.5	(n=16)	144.2	183.7	83.5
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	(n=40)	84.6	86.6	45.5	(n=40)	90.4	84.5	46.0
小児特定集中治療室管理料	(n=2)	0.0	0.0	0.0	(n=2)	77.5	33.2	77.5
新生児特定集中治療室管理料1	(n=78)	77.9	101.1	24.5	(n=78)	77.4	116.1	22.0
新生児特定集中治療室管理料2	(n=62)	36.7	55.8	11.0	(n=62)	56.0	65.2	21.0
総合周産期特定/母体・胎児集中治療室管理料	(n=77)	47.3	63.6	22.0	(n=77)	53.2	72.0	23.0
総合周産期特定/新生児集中治療室管理料	(n=76)	109.5	170.2	31.5	(n=76)	113.6	182.2	34.5
新生児治療回復室入院医療管理料	(n=116)	77.9	111.2	27.0	(n=116)	85.3	151.4	29.5
小児入院医療管理料1	(n=39)	767.2	1091.4	303.0	(n=39)	763.7	1090.4	302.0
小児入院医療管理料2	(n=110)	339.4	423.9	132.0	(n=110)	334.1	407.8	127.0
小児入院医療管理料3	(n=43)	325.3	334.6	142.0	(n=43)	338.8	349.2	139.0
小児入院医療管理料4	(n=133)	220.1	307.7	78.0	(n=133)	197.1	272.3	82.0
小児入院医療管理料5	(n=35)	20.6	39.7	0.0	(n=35)	20.0	40.0	0.0

(注) 「救命救急入院料の急性薬物中毒加算2」「特定集中治療室管理料1」「特定集中治療室管理料2」「【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料」以外の施設基準等については、平成25年10月、平成26年10月ともに記載のあった施設を集計対象とした。

④ 医師事務作業補助体制加算の現在の届出の種類

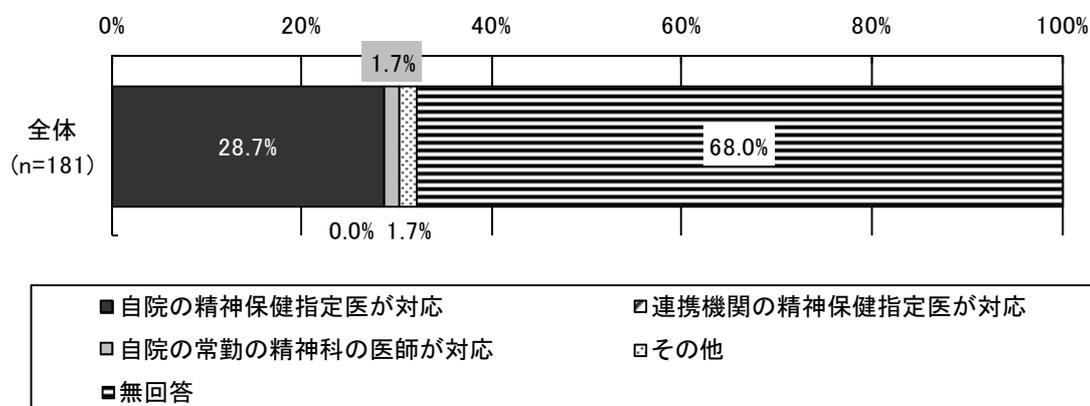
図表 85 医師事務作業補助体制加算の現在の届出の種類



(注) ・「医師事務作業補助体制加算 1」または「医師事務作業補助体制加算 2」の届出があった施設を集計対象とした。
 ・「全体」には「救急医療体制」で無回答だった 4 施設を含む。

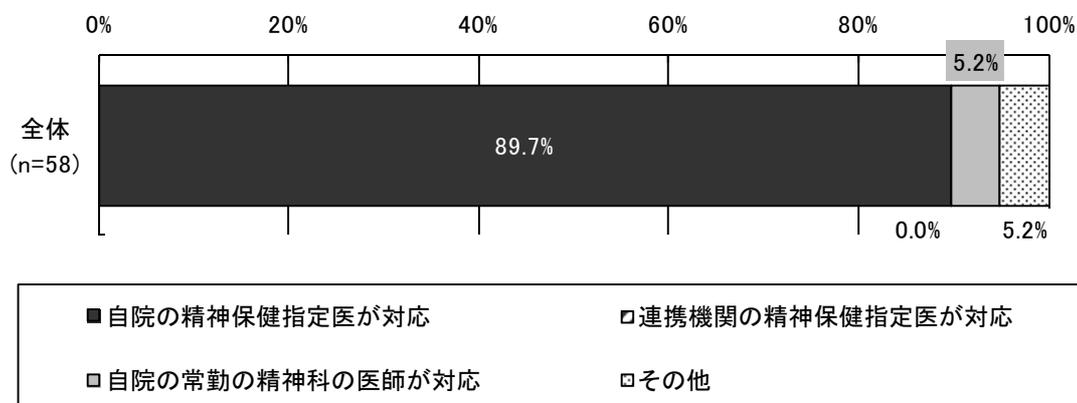
⑤ 「救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算」における精神科医の確保方法

図表 86 「救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算」における精神科医の確保方法 (加算の届出施設)



(注) 「救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算」の届出があった施設を集計対象とした。

(参考：無回答を除外した集計結果)

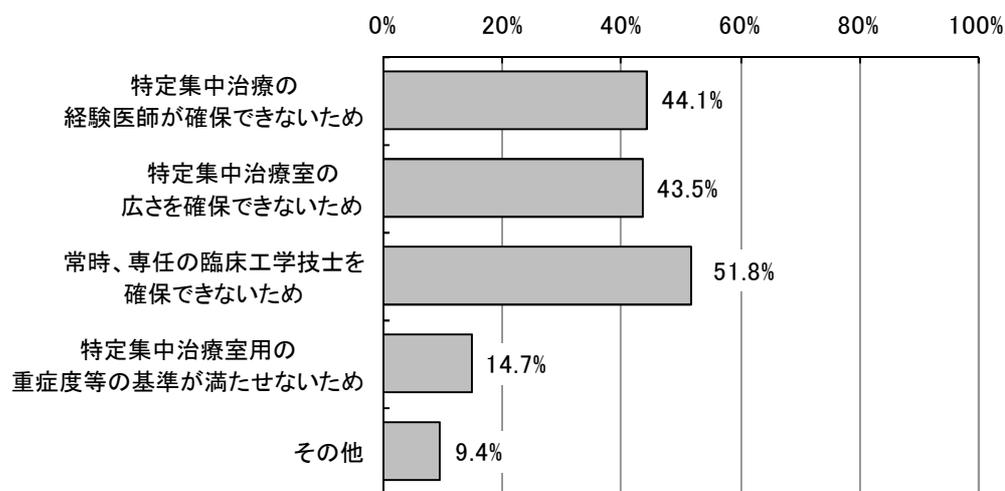


(注)「救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算」の届出があり、かつ有効回答のあった施設を集計対象とした。

⑥「特定集中治療室管理料 1・2」の届出をしていない理由

図表 87 「特定集中治療室管理料 1・2」の届出をしていない理由

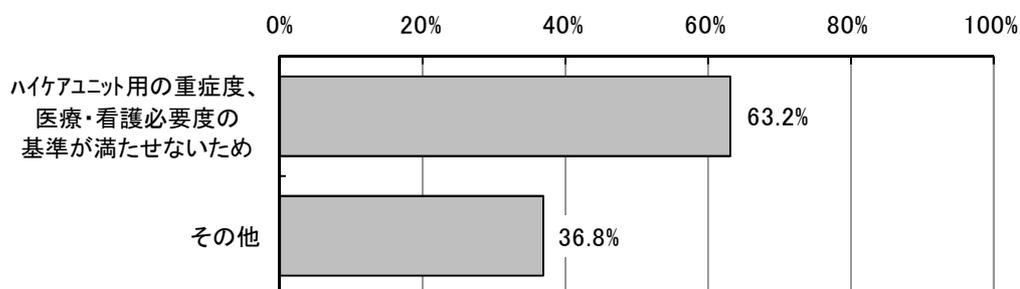
(複数回答 届出をしていない施設 n=170)



(注) 平成 25 年度以前に「特定集中治療室管理料 1・2」の届出があり、現在は届出をしていない施設に尋ねた。

⑦ 「ハイケアユニット入院医療管理料1」の届出をしていない理由

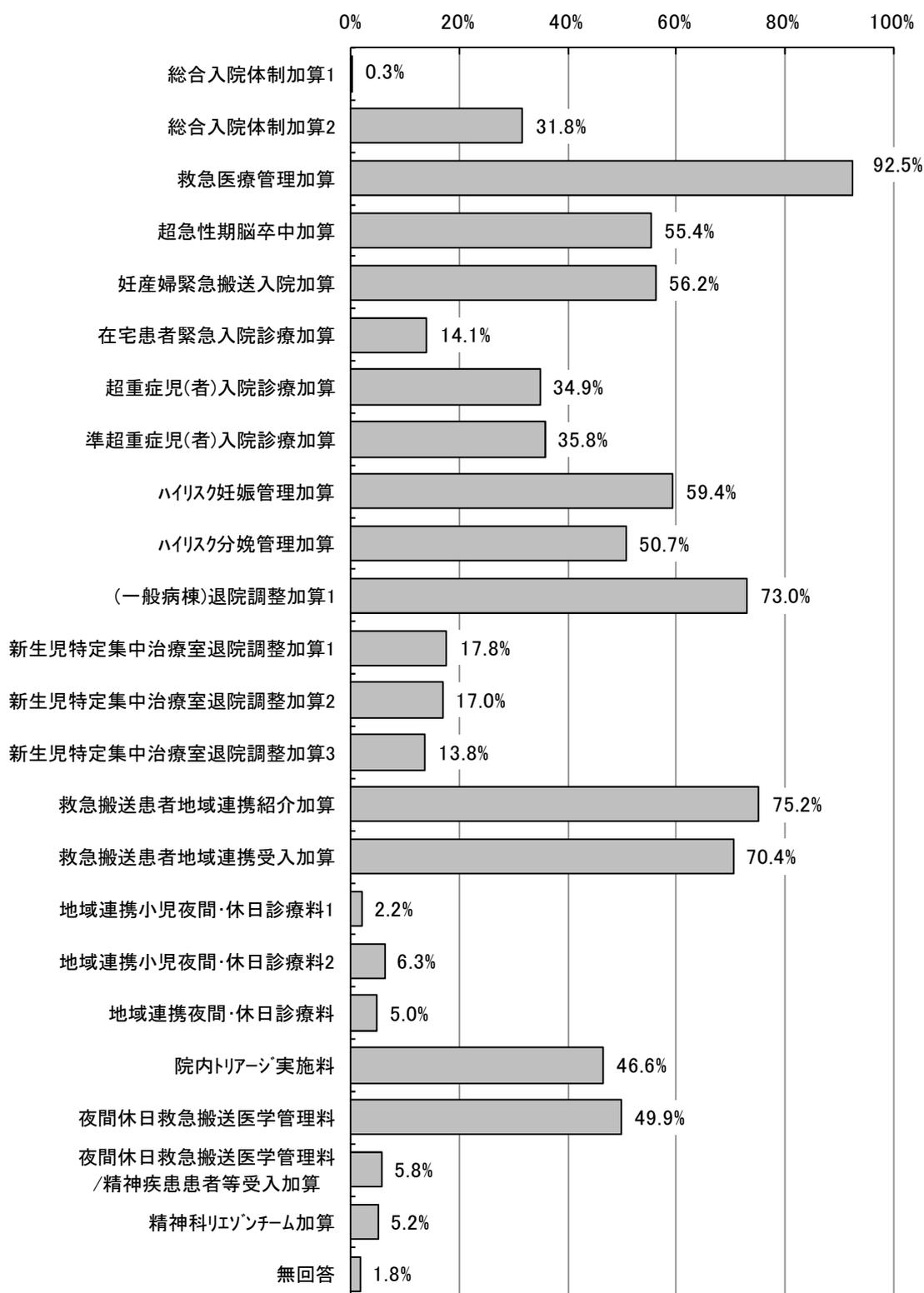
図表 88 「ハイケアユニット入院医療管理料1」の届出をしていない理由
(複数回答 届出をしていない施設 n=19)



(注) 平成 25 年度以前に「ハイケアユニット入院医療管理料」の届出があり、現在は「ハイケアユニット入院医療管理料1」の届出をしていない施設に尋ねた。

⑧各施設基準等の届出状況

図表 89 届出があるもの（複数回答、n=601）



⑨各施設基準等の届出時期

1) 総合入院体制加算 1

図表 90 総合入院体制加算 1 の届出時期

	施設数	割合
平成26年4月	2	100.0%
合計	2	100.0%

2) 総合入院体制加算 2

図表 91 総合入院体制加算 2 の届出時期

	施設数	割合
平成21年3月以前	32	36.4%
平成21年4月～平成22年3月	11	12.5%
平成22年4月～平成23年3月	13	14.8%
平成23年4月～平成24年3月	8	9.1%
平成24年4月～平成25年3月	7	8.0%
平成25年4月～平成26年3月	3	3.4%
平成26年4月～	12	13.6%
不明	2	2.3%
合計	88	100.0%

3) 救急医療管理加算

図表 92 救急医療管理加算の届出時期

	施設数	割合
平成19年3月以前	79	14.2%
平成19年4月～平成20年3月	10	1.8%
平成20年4月～平成21年3月	3	0.5%
平成21年4月～平成22年3月	1	0.2%
平成22年4月～平成23年3月	378	68.0%
平成23年4月～平成24年3月	13	2.3%
平成24年4月～平成25年3月	21	3.8%
平成25年4月～平成26年3月	11	2.0%
平成26年4月～	6	1.1%
不明	34	6.1%
合計	556	100.0%

4) 超急性期脳卒中加算

図表 93 超急性期脳卒中加算の届出時期

	施設数	割合
平成21年3月以前	254	76.3%
平成21年4月～平成22年3月	8	2.4%
平成22年4月～平成23年3月	21	6.3%
平成23年4月～平成24年3月	9	2.7%
平成24年4月～平成25年3月	13	3.9%
平成25年4月～平成26年3月	12	3.6%
平成26年4月～	9	2.7%
不明	7	2.1%
合計	333	100.0%

5) 妊産婦緊急搬送入院加算

図表 94 妊産婦緊急搬送入院加算の届出時期

	施設数	割合
平成21年3月以前	293	86.7%
平成21年4月～平成22年3月	3	0.9%
平成22年4月～平成23年3月	13	3.8%
平成23年4月～平成24年3月	5	1.5%
平成24年4月～平成25年3月	10	3.0%
平成25年4月～平成26年3月	3	0.9%
平成26年4月～	2	0.6%
不明	9	2.7%
合計	338	100.0%

6) ハイリスク妊娠管理加算

図表 95 ハイリスク妊娠管理加算の届出時期

	施設数	割合
平成21年3月以前	245	68.6%
平成21年4月～平成22年3月	74	20.7%
平成22年4月～平成23年3月	9	2.5%
平成23年4月～平成24年3月	3	0.8%
平成24年4月～平成25年3月	10	2.8%
平成25年4月～平成26年3月	4	1.1%
平成26年4月～	5	1.4%
不明	7	2.0%
合計	357	100.0%

7) ハイリスク分娩管理加算

図表 96 ハイリスク分娩管理加算の届出時期

	施設数	割合
平成19年3月以前	89	29.2%
平成19年4月～平成20年3月	3	1.0%
平成20年4月～平成21年3月	89	29.2%
平成21年4月～平成22年3月	58	19.0%
平成22年4月～平成23年3月	27	8.9%
平成23年4月～平成24年3月	10	3.3%
平成24年4月～平成25年3月	14	4.6%
平成25年4月～平成26年3月	6	2.0%
平成26年4月～	4	1.3%
不明	5	1.6%
合計	305	100.0%

8) (一般病棟)退院調整加算 1

図表 97 (一般病棟)退院調整加算 1 の届出時期

	施設数	割合
平成21年3月以前	65	14.8%
平成21年4月～平成22年3月	5	1.1%
平成22年4月～平成23年3月	106	24.1%
平成23年4月～平成24年3月	8	1.8%
平成24年4月～平成25年3月	215	49.0%
平成25年4月～平成26年3月	17	3.9%
平成26年4月～	15	3.4%
不明	8	1.8%
合計	439	100.0%

9) 新生児特定集中治療室退院調整加算 1

図表 98 新生児特定集中治療室退院調整加算 1 の届出時期

	施設数	割合
平成23年3月以前	42	39.3%
平成23年4月～平成24年3月	4	3.7%
平成24年4月～平成25年3月	41	38.3%
平成25年4月～平成26年3月	5	4.7%
平成26年4月～	10	9.3%
不明	5	4.7%
合計	107	100.0%

10) 新生児特定集中治療室退院調整加算 2

図表 99 新生児特定集中治療室退院調整加算 2 の届出時期

	施設数	割合
平成23年3月以前	33	32.4%
平成23年4月～平成24年3月	3	2.9%
平成24年4月～平成25年3月	42	41.2%
平成25年4月～平成26年3月	5	4.9%
平成26年4月～	14	13.7%
不明	5	4.9%
合計	102	100.0%

11) 新生児特定集中治療室退院調整加算 3

図表 100 新生児特定集中治療室退院調整加算 3 の届出時期

	施設数	割合
平成26年4月	71	85.5%
平成26年5月	3	3.6%
平成26年6月	2	2.4%
平成26年7月	2	2.4%
平成26年8月	2	2.4%
平成26年9月	3	3.6%
平成26年10月	0	0.0%
平成26年11月	0	0.0%
平成26年12月	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	83	100.0%

12) 救急搬送患者地域連携紹介加算

図表 101 救急搬送患者地域連携紹介加算の届出時期

	施設数	割合
平成23年3月以前	155	34.3%
平成23年4月～平成24年3月	10	2.2%
平成24年4月～平成25年3月	246	54.4%
平成25年4月～平成26年3月	19	4.2%
平成26年4月～	11	2.4%
不明	11	2.4%
合計	452	100.0%

13) 救急搬送患者地域連携受入加算

図表 102 救急搬送患者地域連携受入加算の届出時期

	施設数	割合
平成23年3月以前	80	18.9%
平成23年4月～平成24年3月	9	2.1%
平成24年4月～平成25年3月	305	72.1%
平成25年4月～平成26年3月	13	3.1%
平成26年4月～	8	1.9%
不明	8	1.9%
合計	423	100.0%

14) 地域連携小児夜間・休日診療料 1

図表 103 地域連携小児夜間・休日診療料 1 の届出時期

	施設数	割合
平成21年3月以前	7	53.8%
平成21年4月～平成22年3月	1	7.7%
平成22年4月～平成23年3月	3	23.1%
平成23年4月～平成24年3月	1	7.7%
平成24年4月～平成25年3月	1	7.7%
平成25年4月～平成26年3月	0	0.0%
平成26年4月～	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	13	100.0%

15) 地域連携小児夜間・休日診療料 2

図表 104 地域連携小児夜間・休日診療料 2 の届出時期

	施設数	割合
平成21年3月以前	16	42.1%
平成21年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成23年3月	9	23.7%
平成23年4月～平成24年3月	1	2.6%
平成24年4月～平成25年3月	4	10.5%
平成25年4月～平成26年3月	5	13.2%
平成26年4月～	1	2.6%
不明	2	5.3%
合計	38	100.0%

16) 地域連携夜間・休日診療料

図表 105 地域連携夜間・休日診療料の届出時期

	施設数	割合
平成23年3月以前	22	73.3%
平成23年4月～平成24年3月	2	6.7%
平成24年4月～平成25年3月	4	13.3%
平成25年4月～平成26年3月	1	3.3%
平成26年4月～	1	3.3%
不明	0	0.0%
合計	30	100.0%

17) 院内トリアージ実施料

図表 106 院内トリアージ実施料の届出時期

	施設数	割合
平成25年3月以前	233	83.2%
平成25年4月～平成26年3月	29	10.4%
平成26年4月～	14	5.0%
不明	4	1.4%
合計	280	100.0%

18) 夜間休日救急搬送医学管理料

図表 107 夜間休日救急搬送医学管理料の届出時期

	施設数	割合
平成25年3月以前	277	92.3%
平成25年4月～平成26年3月	8	2.7%
平成26年4月～	5	1.7%
不明	10	3.3%
合計	300	100.0%

19) 夜間休日救急搬送医学管理料/精神疾患患者等受入加算

図表 108 夜間休日救急搬送医学管理料/精神疾患患者等受入加算の届出時期

	施設数	割合
平成26年4月	26	96.3%
平成26年5月	0	0.0%
平成26年6月	0	0.0%
平成26年7月	1	3.7%
平成26年8月	0	0.0%
平成26年9月	0	0.0%
平成26年10月	0	0.0%
平成26年11月	0	0.0%
平成26年12月	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	27	100.0%

20) 精神科リエゾンチーム加算

図表 109 精神科リエゾンチーム加算の届出時期

	施設数	割合
平成25年3月以前	20	64.5%
平成25年4月～平成26年3月	4	12.9%
平成26年4月～	5	16.1%
不明	2	6.5%
合計	31	100.0%

⑩各施設基準等の算定件数

図表 110 各施設基準等の算定件数

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
救急医療管理加算1(800点)	(n=475)	381.4	518.3	183.0	(n=475)	284.0	397.6	142.0
【再掲】乳幼児加算	(n=475)	9.7	41.7	0.0	(n=475)	8.0	34.5	0.0
【再掲】小児加算	(n=475)	4.7	16.1	0.0	(n=475)	4.3	16.2	0.0
救急医療管理加算2(400点)					(n=413)	95.1	180.2	27.0
【再掲】乳幼児加算					(n=415)	1.0	4.5	0.0
【再掲】小児加算					(n=416)	0.8	4.2	0.0
超急性期脳卒中加算	(n=316)	0.9	1.3	0.0	(n=316)	1.1	1.3	1.0
妊産婦緊急搬送入院加算	(n=328)	4.4	5.1	3.0	(n=328)	4.5	5.2	3.0
在宅患者緊急入院診療加算	(n=80)	0.7	1.4	0.0	(n=80)	1.0	2.1	0.0
超重症児(者)入院診療加算								
【再掲】6歳未満の場合	(n=203)	10.8	36.7	0.0	(n=203)	9.9	32.3	0.0
【再掲】6歳以上の場合	(n=203)	26.8	118.9	1.0	(n=203)	28.0	128.7	1.0
【再掲】救急・在宅重症児(者)受入加算	(n=203)	0.5	2.4	0.0	(n=203)	0.6	3.3	0.0
準超重症児(者)入院診療加算								
【再掲】6歳未満の場合	(n=207)	10.0	38.1	0.0	(n=207)	7.5	38.1	0.0
【再掲】6歳以上の場合	(n=207)	32.1	113.4	1.0	(n=207)	40.8	153.3	1.0
【再掲】救急・在宅重症児(者)受入加算	(n=207)	0.6	2.7	0.0	(n=207)	0.6	2.9	0.0
ハイスク妊娠管理加算	(n=350)	23.8	40.8	9.0	(n=350)	24.4	44.6	9.0
ハイスク分娩管理加算	(n=300)	19.9	29.1	9.0	(n=300)	21.3	34.2	9.0
(一般病棟)退院調整加算1	(n=414)	64.8	102.1	30.5	(n=414)	81.6	119.7	44.5
【再掲】14日以内の期間(340点)					(n=369)	32.9	70.5	9.0
【再掲】15日以上30日以内の期間(150点)					(n=369)	26.6	34.1	16.0
【再掲】31日以上(50点)					(n=369)	20.9	20.8	16.0
新生児特定集中治療室退院調整加算1	(n=102)	8.5	28.3	2.5	(n=102)	10.3	39.4	3.0
新生児特定集中治療室退院調整加算2								
【再掲】退院支援計画作成加算	(n=77)	1.9	2.8	1.0	(n=77)	2.2	3.3	1.0
【再掲】退院加算	(n=77)	1.5	2.2	0.0	(n=77)	1.7	2.3	1.0
新生児特定集中治療室退院調整加算3								
【再掲】退院支援計画作成加算					(n=54)	0.0	0.2	0.0
【再掲】退院加算					(n=55)	0.2	1.2	0.0

(注) 平成25年から存在する施設基準等については、平成25年10月、平成26年10月ともに記載のあった施設を集計対象とした。

図表 111 各施設基準等の算定件数（つづき）

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
救急搬送患者地域連携紹介加算	(n=429)	1.2	3.5	0.0	(n=429)	1.2	3.3	0.0
救急搬送患者地域連携受入加算	(n=402)	0.4	1.0	0.0	(n=402)	0.3	1.8	0.0
地域連携小児夜間・休日診療料1	(n=13)	44.0	43.4	27.0	(n=13)	44.5	45.5	27.0
地域連携小児夜間・休日診療料2	(n=35)	466.6	311.6	435.0	(n=35)	446.6	268.3	426.0
地域連携夜間・休日診療料	(n=29)	540.4	509.3	466.0	(n=29)	508.6	405.8	386.0
院内トリアージ実施料	(n=268)	230.2	322.6	126.0	(n=268)	214.5	302.4	104.0
夜間休日救急搬送医学管理料	(n=289)	41.5	48.6	27.0	(n=289)	43.8	47.8	30.0
夜間休日救急搬送医学管理料 /精神疾患患者等受入加算					(n=34)	1.1	1.7	0.0
救急搬送診療料	(n=258)	6.7	15.6	1.0	(n=258)	7.7	18.0	1.0
救急搬送診療料 新生児加算	(n=161)	1.2	3.4	0.0	(n=161)	1.2	3.5	0.0
救急搬送診療料 乳幼児加算	(n=159)	0.2	1.2	0.0	(n=159)	0.3	1.0	0.0
救急搬送診療料 長時間加算	(n=158)	1.3	4.2	0.0	(n=158)	1.3	3.8	0.0
精神科リエゾンチーム加算	(n=29)	22.8	24.9	16.0	(n=29)	32.8	30.8	24.0
小児科外来診療料	(n=169)	113.9	257.3	0.0	(n=169)	122.3	261.7	0.0

(注) 平成 25 年から存在する施設基準等については、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記載のあった施設を集計対象とした。

⑪パリビズマブを用い薬剤費等を出来高で算定した患者数

図表 112 パリビズマブを用い薬剤費等を出来高で算定した患者数（平成 26 年 10 月 1 か月）

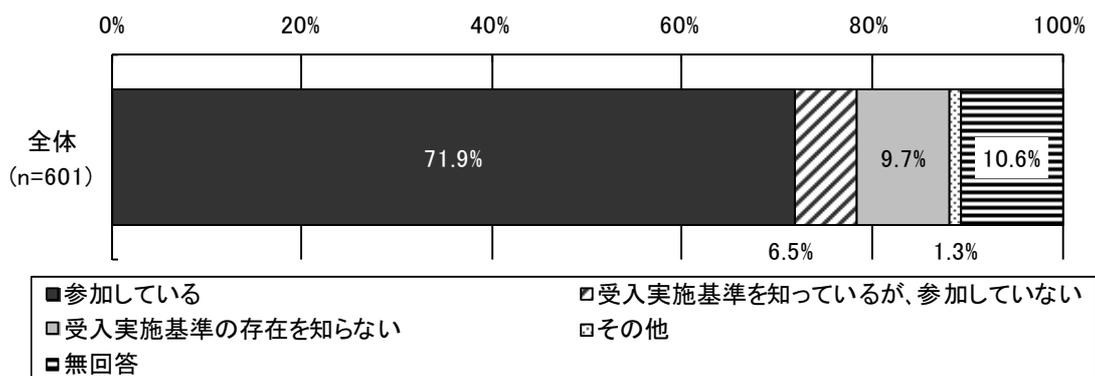
	施設数	平均値	標準偏差	中央値
パリビズマブを用い、薬剤費等を出来高で算定した患者数	(n=272)	10.8	26.0	0.0

(注) 小児科を標榜している施設に尋ねた。

(4) 救急医療の取組状況等

① 消防法に基づいて都道府県が定める受入実施基準に対する参加状況

図表 113 消防法に基づいて都道府県が定める受入実施基準に対する参加状況



② 1 か月間の外来延べ患者数、救急用の自動車等により搬送された延べ患者数

図表 114 1 か月間の外来延べ患者数、救急用の自動車等により搬送された延べ患者数

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数	(n=553)	15245.7	14761.5	11615.0	(n=553)	15230.7	14605.0	11610.0
救急搬送受入患者数	(n=559)	231.0	210.9	182.0	(n=559)	238.3	215.5	186.0
上記のうち夜間休日救急搬送医学管理料を算定した患者数	(n=504)	25.9	48.0	1.0	(n=512)	26.8	48.0	3.0
上記のうち急性薬毒物中毒の患者数					(n=471)	2.1	8.0	0.0
上記のうち精神疾患患者等受入加算を算定した患者数					(n=466)	0.2	1.1	0.0
上記のうち認知症の患者数					(n=407)	5.7	16.5	0.0
時間外・休日・深夜に上記以外の方法で来院した患者数	(n=559)	500.5	551.7	312.0	(n=559)	482.2	539.5	310.0

(注) うち数を除き、各患者数について平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 115 1 か月間の外来延べ患者数、救急用の自動車等により搬送された延べ患者数
 ((高度) 救命救急センターを有する医療機関)

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数	(n=179)	22299.1	17539.5	21220.0	(n=179)	22164.2	17192.9	21549.0
救急搬送受入患者数	(n=181)	377.7	200.4	359.0	(n=181)	388.9	200.2	360.0
上記のうち夜間休日救急搬送医学管理料を算定した患者数	(n=155)	6.1	24.3	0.0	(n=155)	4.3	19.3	0.0
上記のうち急性薬毒物中毒の患者数	/	/	/	/	(n=158)	4.7	13.2	3.0
上記のうち精神疾患患者等受入加算を算定した患者数	/	/	/	/	(n=150)	0.1	0.7	0.0
上記のうち認知症の患者数	/	/	/	/	(n=126)	8.4	18.3	1.0
時間外・休日・深夜に上記以外の方法で来院した患者数	(n=181)	883.1	648.3	710.0	(n=181)	847.2	624.0	660.0

図表 116 1 か月間の外来延べ患者数、救急用の自動車等により搬送された延べ患者数
 (二次救急医療機関)

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数	(n=327)	12472.1	11995.6	9428.0	(n=327)	12507.4	11996.1	9587.0
救急搬送受入患者数	(n=330)	177.1	179.6	127.0	(n=330)	183.1	185.3	134.0
上記のうち夜間休日救急搬送医学管理料を算定した患者数	(n=309)	38.7	54.9	20.0	(n=315)	41.0	55.1	23.0
上記のうち急性薬毒物中毒の患者数	/	/	/	/	(n=272)	0.8	2.0	0.0
上記のうち精神疾患患者等受入加算を算定した患者数	/	/	/	/	(n=275)	0.2	1.3	0.0
上記のうち認知症の患者数	/	/	/	/	(n=239)	5.1	16.7	0.0
時間外・休日・深夜に上記以外の方法で来院した患者数	(n=330)	340.1	377.3	233.5	(n=330)	326.9	370.3	213.5

(注) うち数を除き、各患者数について平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 117 1 か月間の外来延べ患者数、救急用の自動車等により搬送された延べ患者数
(その他の医療機関)

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数	(n=44)	7450.1	9887.1	3442.5	(n=44)	7582.2	10002.8	3404.5
救急搬送受入患者数	(n=45)	36.5	53.9	19.0	(n=45)	38.0	59.3	15.0
上記のうち夜間休日救急搬送医学管理料を算定した患者数	(n=37)	3.8	13.9	0.0	(n=39)	3.4	9.9	0.0
上記のうち急性薬毒物中毒の患者数					(n=40)	0.2	0.8	0.0
上記のうち精神疾患患者等受入加算を算定した患者数					(n=40)	0.0	0.2	0.0
上記のうち認知症の患者数					(n=41)	0.6	2.1	0.0
時間外・休日・深夜に上記以外の方法で来院した患者数	(n=45)	152.7	382.1	38.0	(n=45)	168.7	482.1	29.0

(注) うち数を除き、各患者数について平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

③ 1 か月間の救急対応患者数

図表 118 1 か月間の救急対応患者数

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
軽症の患者数	(n=442)	537.9	589.5	338.5	(n=442)	520.8	572.2	330.0
緊急入院となった患者数	(n=442)	172.1	149.1	141.0	(n=442)	176.7	154.2	149.0
うち、生命の危険の可能性のある患者数					(n=386)	39.3	52.7	16.0
うち、精神疾患を有する患者数					(n=374)	7.1	16.3	1.0
うち、一般病床の病棟に入院した、精神疾患を有する患者数					(n=371)	6.2	15.9	0.0
うち、精神病床の病棟に入院した、精神疾患を有する患者数					(n=374)	0.8	2.9	0.0
うち、認知症を有する患者数					(n=350)	7.1	17.0	1.0
貴施設では対応できず、転送した患者数	(n=442)	3.4	8.9	1.0	(n=442)	3.5	8.7	1.0
うち、高度救命救急センター・救命救急センターに転送した患者数	(n=432)	0.8	1.8	0.0	(n=428)	0.8	1.6	0.0
うち、精神科救急医療を担う医療機関に転送した患者数	(n=432)	0.1	0.6	0.0	(n=428)	0.1	0.5	0.0
その他の理由により転送した患者数	(n=432)	2.3	8.6	0.0	(n=428)	2.5	8.3	0.0
初診時死亡が確認された患者数	(n=442)	4.9	6.6	3.0	(n=442)	5.0	7.0	3.0

(注) うち数を除き、各患者数について平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 119 1か月間の救急対応患者数
 ((高度)救命救急センターを有する医療機関)

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
軽症の患者数	(n=143)	962.8	719.8	763.0	(n=143)	930.9	695.3	763.0
緊急入院となった患者数	(n=143)	299.0	145.6	286.0	(n=143)	308.9	150.0	291.0
うち、生命の危険の可能性 がある患者数					(n=127)	76.9	55.0	67.0
うち、精神疾患を有する患 者数					(n=117)	14.4	24.1	6.0
うち、一般病床の病棟 に入院した、精神疾患 を有する患者数					(n=117)	11.8	22.7	2.0
うち、精神病床の病棟 に入院した、精神疾患 を有する患者数					(n=117)	1.4	3.9	0.0
うち、認知症を有する患者 数					(n=110)	10.6	19.8	2.0
貴施設では対応できず、転 送した患者数	(n=143)	5.3	14.0	2.0	(n=143)	5.7	13.7	2.0
うち、高度救命救急センター・ 救命救急センターに転送し た患者数	(n=139)	0.8	1.9	0.0	(n=136)	0.8	1.5	0.0
うち、精神科救急医療を担 う医療機関に転送した患 者数	(n=139)	0.2	1.0	0.0	(n=136)	0.2	0.7	0.0
その他の理由により転送 した患者数	(n=139)	4.1	13.7	1.0	(n=136)	4.4	13.6	1.0
初診時死亡が確認された患 者数	(n=143)	10.4	8.4	8.0	(n=143)	10.5	9.1	8.0

(注) うち数を除き、各患者数について平成25年10月、平成26年10月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 120 1か月間の救急対応患者数
(二次救急医療機関)

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
軽症の患者数	(n=264)	364.0	378.8	257.0	(n=264)	352.8	372.8	247.0
緊急入院となった患者数	(n=264)	119.1	107.1	95.0	(n=264)	121.5	110.9	94.0
うち、生命の危険の可能性のある患者数					(n=224)	23.2	42.7	7.0
うち、精神疾患を有する患者数					(n=223)	3.8	9.4	0.0
うち、一般病床の病棟に入院した、精神疾患を有する患者数					(n=220)	3.9	10.7	0.0
うち、精神病床の病棟に入院した、精神疾患を有する患者数					(n=223)	0.3	1.1	0.0
うち、認知症を有する患者数					(n=206)	6.3	16.3	1.0
貴施設では対応できず、転送した患者数	(n=264)	2.7	5.0	1.0	(n=264)	2.8	4.5	1.0
うち、高度救命救急センター・救命救急センターに転送した患者数	(n=258)	0.9	1.8	0.0	(n=257)	0.9	1.7	0.0
うち、精神科救急医療を担う医療機関に転送した患者数	(n=258)	0.0	0.2	0.0	(n=257)	0.1	0.3	0.0
その他の理由により転送した患者数	(n=258)	1.7	4.6	0.0	(n=257)	1.7	3.9	0.0
初診時死亡が確認された患者数	(n=264)	2.4	2.8	2.0	(n=264)	2.5	3.3	1.0

(注) うち数を除き、各患者数について平成25年10月、平成26年10月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 121 1か月間の救急対応患者数
(その他の医療機関)

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
軽症の患者数	(n=33)	87.8	178.1	29.0	(n=33)	87.1	173.9	25.0
緊急入院となった患者数	(n=33)	43.9	58.3	15.0	(n=33)	44.5	56.9	19.0
うち、生命の危険の可能性 がある患者数					(n=33)	4.7	9.6	0.0
うち、精神疾患を有する患 者数					(n=32)	2.1	5.6	0.0
うち、一般病床の病棟 に入院した、精神疾患 を有する患者数					(n=32)	0.0	0.2	0.0
うち、精神病床の病棟 に入院した、精神疾患 を有する患者数					(n=32)	2.1	5.6	0.0
うち、認知症を有する患者 数					(n=32)	0.7	2.5	0.0
貴施設では対応できず、転 送した患者数	(n=33)	0.6	1.1	0.0	(n=33)	0.6	0.9	0.0
うち、高度救命救急センター・ 救命救急センターに転送し た患者数	(n=33)	0.2	0.6	0.0	(n=33)	0.2	0.6	0.0
うち、精神科救急医療を担 う医療機関に転送した患 者数	(n=33)	0.0	0.2	0.0	(n=33)	0.0	0.0	0.0
その他の理由により転送 した患者数	(n=33)	0.4	0.9	0.0	(n=33)	0.4	0.8	0.0
初診時死亡が確認された患 者数	(n=33)	0.5	1.2	0.0	(n=33)	0.5	1.3	0.0

(注) うち数を除き、各患者数について平成25年10月、平成26年10月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 122 救急対応患者の概要

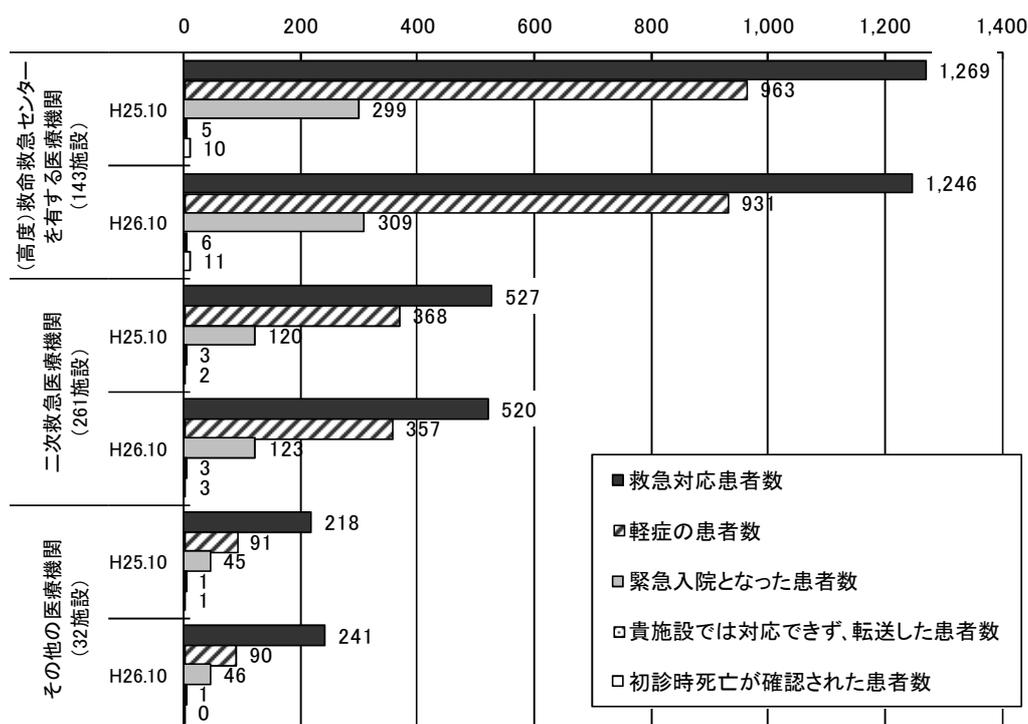
	1施設あたり患者数(人)			内訳比率			
	(高度)救命救急センターを有する医療機関(143施設)	二次救急医療機関(261施設)	その他の医療機関(32施設)	(高度)救命救急センターを有する医療機関(143施設)	二次救急医療機関(261施設)	その他の医療機関(32施設)	
H25.10	救急対応患者数	1269.1	526.7	217.8	100.0%	100.0%	100.0%
	軽症の患者数	962.8	368.2	90.6	75.9%	69.9%	41.6%
	緊急入院となった患者数	299.0	120.4	45.3	23.6%	22.9%	20.8%
	貴施設では対応できず転送した患者数	5.3	2.8	0.7	0.4%	0.5%	0.3%
	初診時死亡が確認された患者数	10.4	2.4	0.5	0.8%	0.5%	0.2%
H26.10	救急対応患者数	1246.4	519.9	241.3	100.0%	100.0%	100.0%
	軽症の患者数	930.9	356.9	89.8	74.7%	68.6%	37.2%
	緊急入院となった患者数	308.9	122.8	45.9	24.8%	23.6%	19.0%
	貴施設では対応できず転送した患者数	5.7	2.8	0.6	0.5%	0.5%	0.2%
	初診時死亡が確認された患者数	10.5	2.6	0.5	0.8%	0.5%	0.2%

(注)・救急対応患者数=救急搬送受入患者数+それ以外の方法で時間外・休日・夜間に来院した患者(以下、同様)。

・平成25年10月、平成26年10月ともにすべての人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 123 救急対応患者の概要(1施設あたり患者数)

(単位:人)



図表 124 対応できず転送した患者の概要

		1施設あたり患者数(人)			内訳比率		
		(高度)救命救急センターを有する医療機関(136施設)	二次救急医療機関(254施設)	その他の医療機関(32施設)	(高度)救命救急センターを有する医療機関(136施設)	二次救急医療機関(254施設)	その他の医療機関(32施設)
H 2 5 ・ 1 0	貴施設では対応できず転送した患者数	5.1	2.7	0.7	100.0%	100.0%	100.0%
	うち、高度救命救急センター・救命救急センターに転送した患者数	0.8	0.9	0.2	15.7%	35.2%	28.6%
	うち、精神科救急医療を担う医療機関に転送した患者数	0.2	0.0	0.0	4.2%	1.8%	4.8%
	その他の理由により転送した患者数	4.1	1.7	0.4	80.1%	63.0%	66.7%
H 2 6 ・ 1 0	貴施設では対応できず転送した患者数	5.4	2.7	0.6	100.0%	100.0%	100.0%
	うち、高度救命救急センター・救命救急センターに転送した患者数	0.8	0.9	0.2	14.3%	33.1%	26.3%
	うち、精神科救急医療を担う医療機関に転送した患者数	0.2	0.1	0.0	3.7%	3.2%	0.0%
	その他の理由により転送した患者数	4.4	1.7	0.4	82.0%	63.7%	73.7%

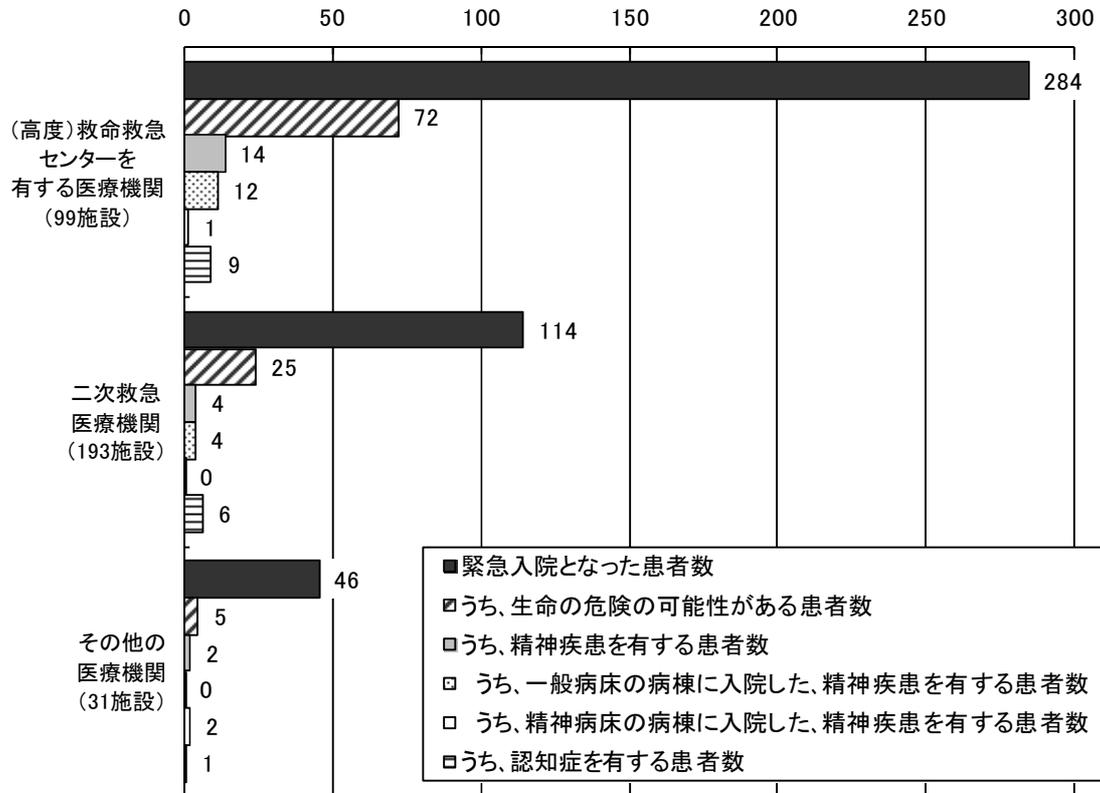
(注) 平成25年10月、平成26年10月ともにすべての人数の記載のあった施設を集計対象とした。

図表 125 緊急入院患者の概要(平成26年10月)

		1施設あたり患者数(人)			内訳比率		
		(高度)救命救急センターを有する医療機関(99施設)	二次救急医療機関(193施設)	その他の医療機関(31施設)	(高度)救命救急センターを有する医療機関(99施設)	二次救急医療機関(193施設)	その他の医療機関(31施設)
緊急入院となった患者数		284.5	114.4	45.6	100.0%	100.0%	100.0%
	うち、生命の危険の可能性がある患者数	72.4	24.6	4.9	25.4%	21.5%	10.8%
	うち、精神疾患を有する患者数	14.1	4.0	2.2	4.9%	3.5%	4.8%
	うち、一般病床の病棟に入院した精神疾患を有する患者数	11.7	3.8	0.0	4.1%	3.3%	0.1%
	うち、精神病床の病棟に入院した精神疾患を有する患者数	1.4	0.2	2.2	0.5%	0.2%	4.7%
	うち、認知症を有する患者数	9.5	6.4	0.7	3.3%	5.6%	1.5%

(注) 平成25年10月、平成26年10月ともにすべての人数の記載のあった施設を集計対象とした。

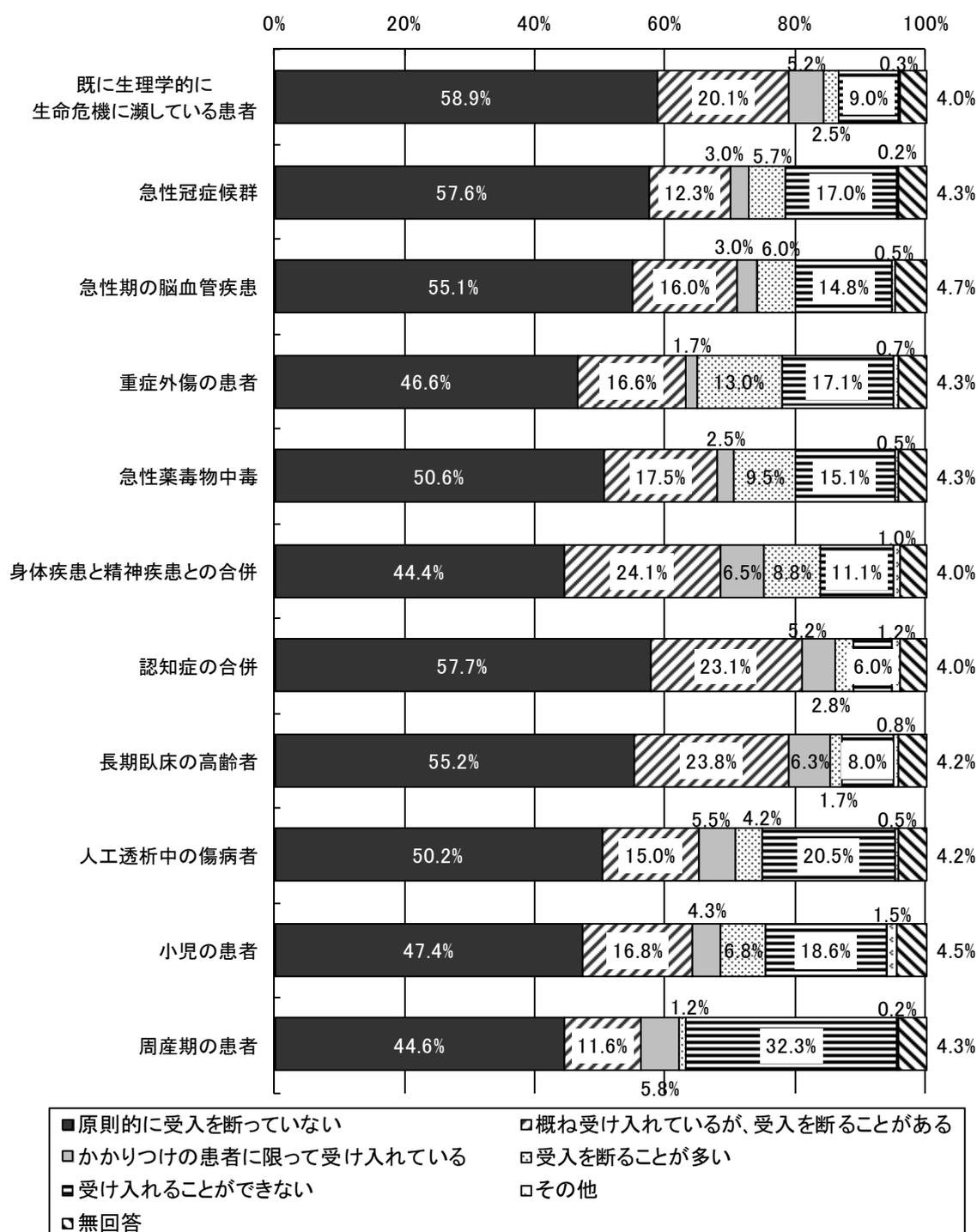
図表 126 緊急入院患者の概要（平成 26 年 10 月）



(注) 平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともにすべての人数の記載のあった施設を集計対象とした。

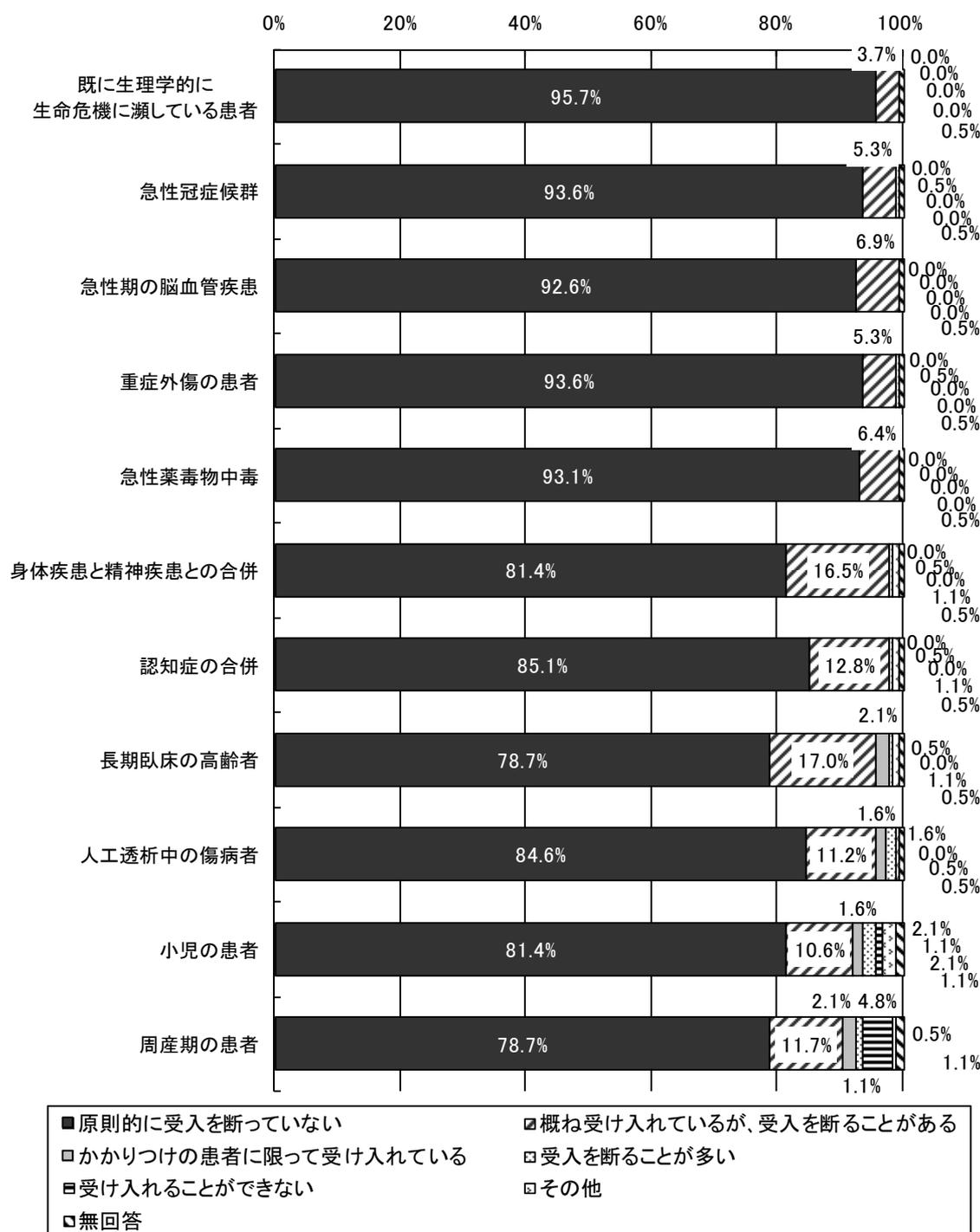
④救急患者の受入対応方針

図表 127 救急患者の受入対応方針 (n=601)



(注) ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1」または院内トリアージ(JTAS)の重症(青)に準じる。
 ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1、2」またはJPTECにおける「ロードアンドゴー」に準じる。

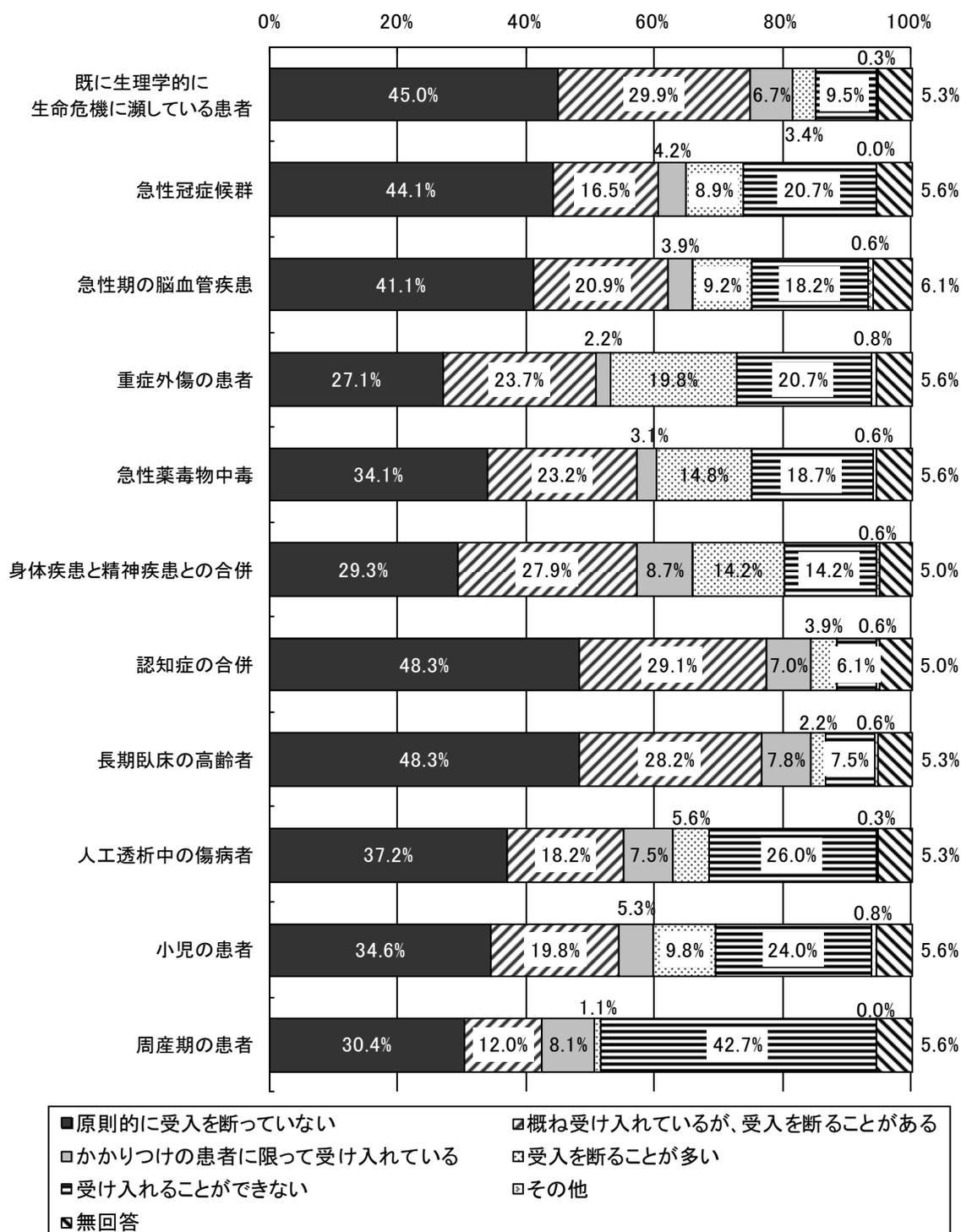
図表 128 救急患者の受入対応方針
 ((高度)救命救急センターを有する医療機関、n=188)



(注) ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1」または院内トリアージ(JTAS)の重症(青)に準じる。
 ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1、2」またはJPTECにおける「ロードアンドゴー」に準じる。

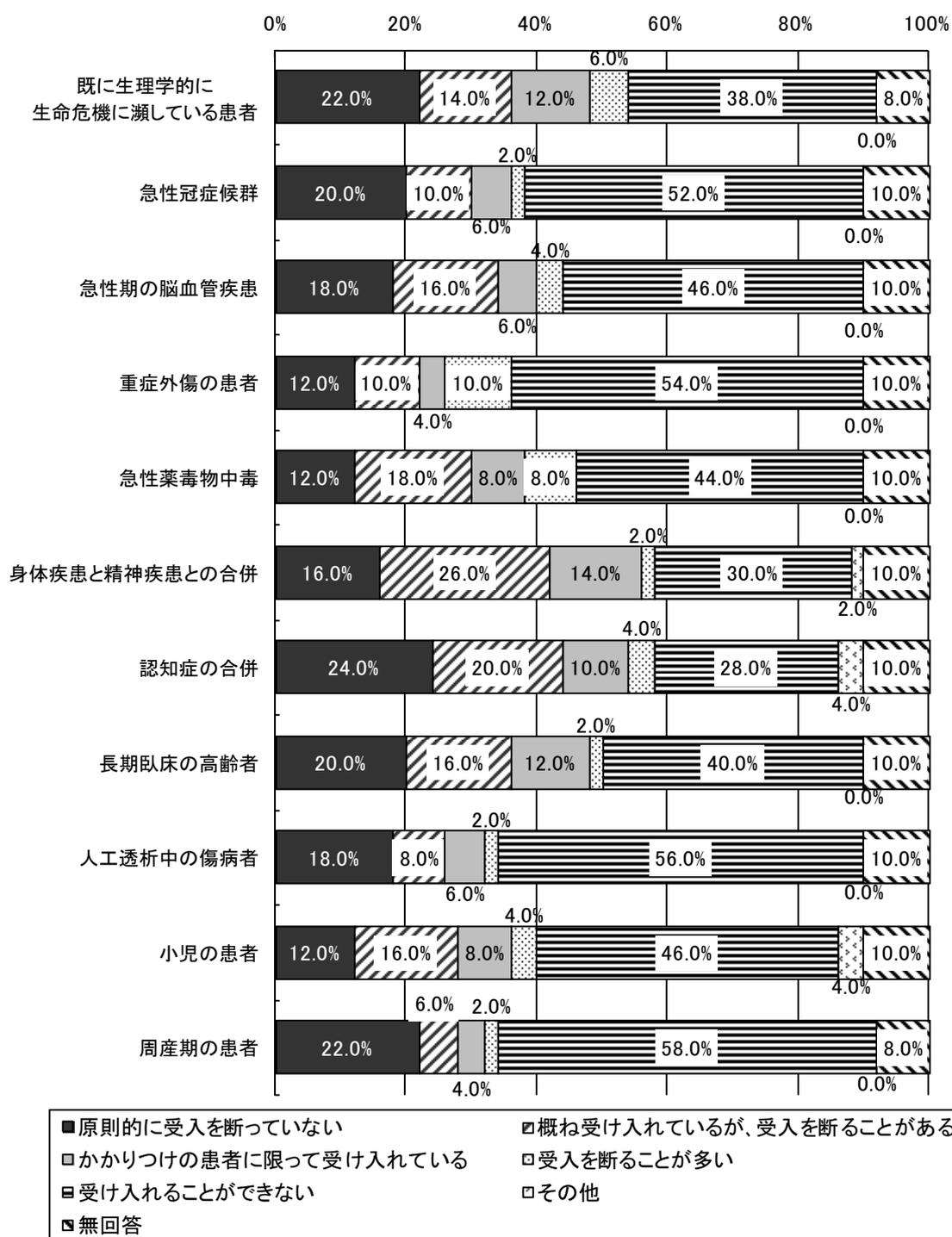
図表 129 救急患者の受入対応方針

(二次救急医療機関、n=358)



(注) ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤 1」または院内トリアージ(JTAS)の重症(青)に準じる。
 ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤 1、2」または JPTEC における「ロードアンドゴー」に準じる。

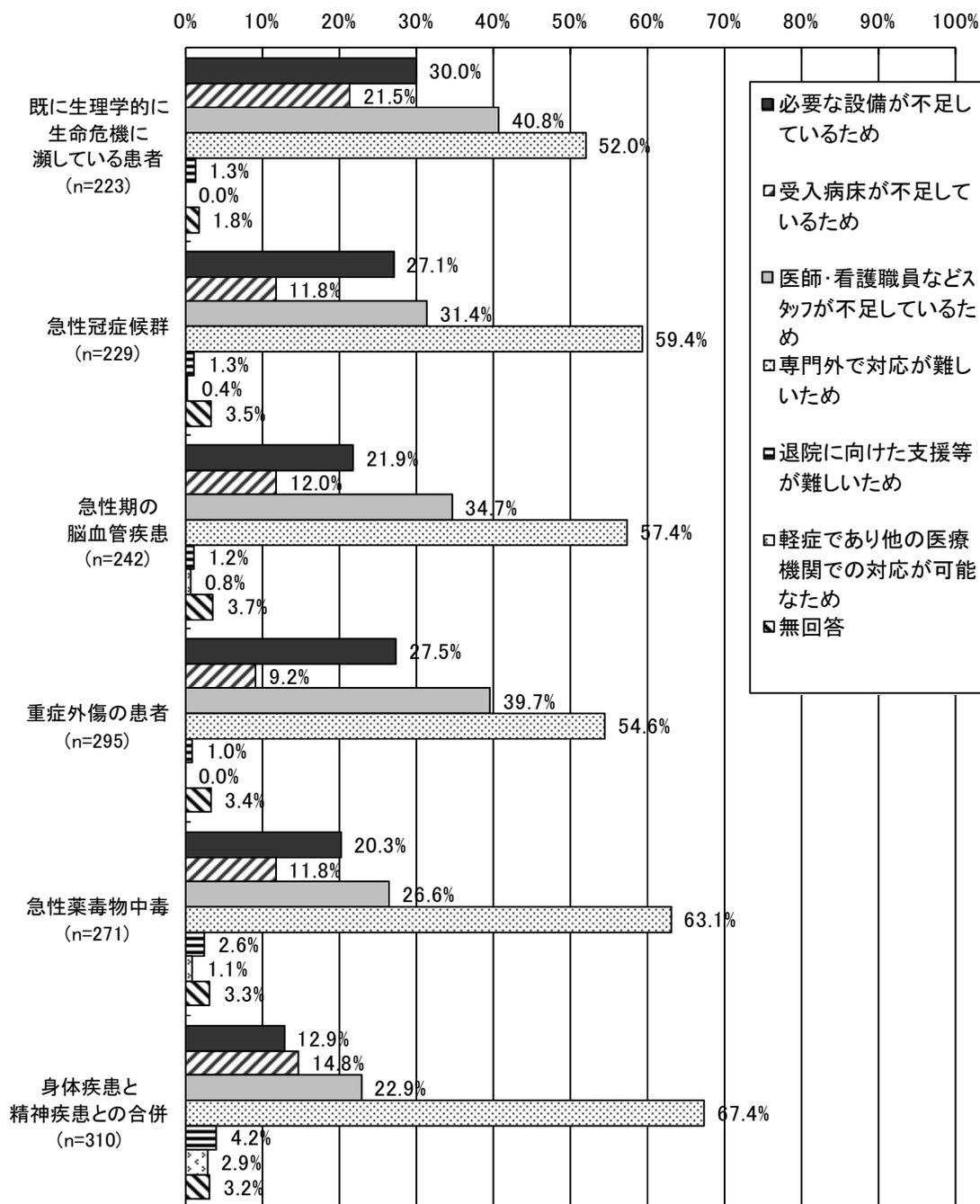
図表 130 救急患者の受入対応方針
(その他の医療機関、n=58)



(注) ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1」または院内トリアージ(JTAS)の重症(青)に準じる。
 ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1、2」またはJPTECにおける「ロードアンドゴー」に準じる。

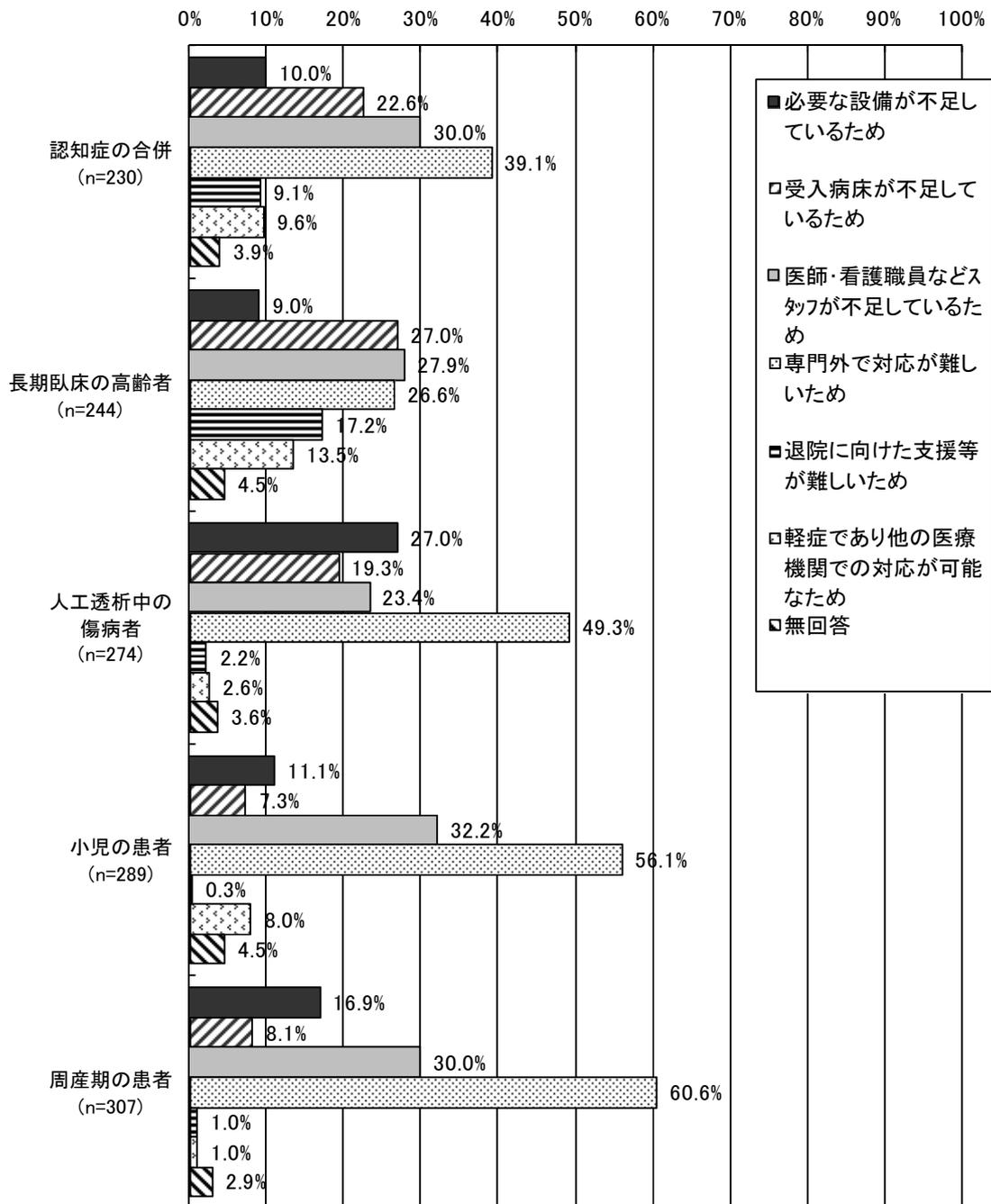
⑤受入を断る理由（「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設）

図表 131 受入を断る理由（複数回答）



- (注)
- ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。
 - ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」（消防庁）の「赤 1」または院内トリアージ（JTAS）の重症（青）に準じる。
 - ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」（消防庁）の「赤 1、2」または JPTEC における「ロードアンドゴー」に準じる。

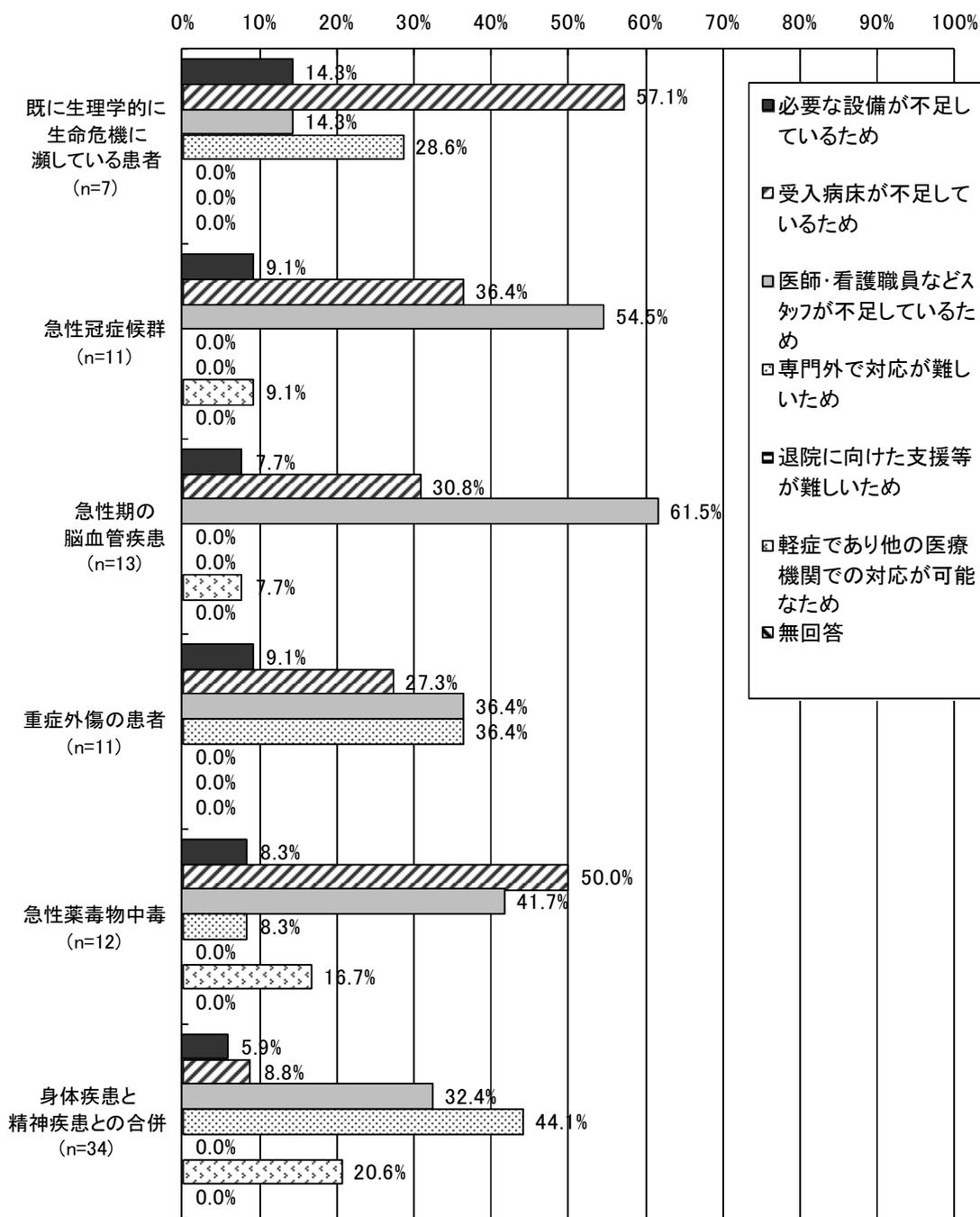
図表 132 受入を断る理由（つづき、複数回答）



(注) ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。

図表 133 受入を断る理由

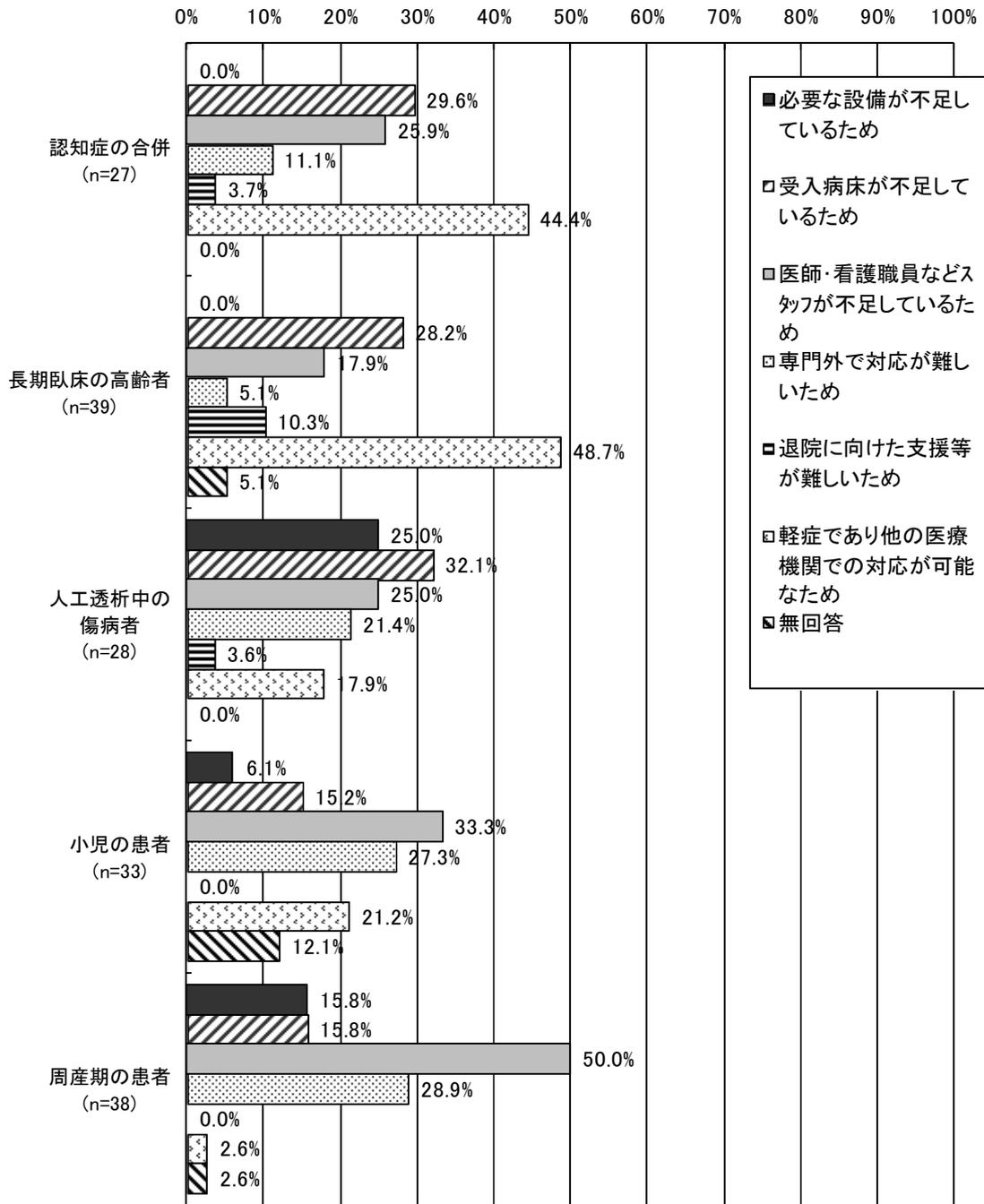
((高度)救命救急センターを有する医療機関、複数回答)



(注) ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。
 ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1」または院内トリアージ(JTAS)の重症(青)に準じる。
 ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1、2」またはJPTECにおける「ロードアンドゴー」に準じる。

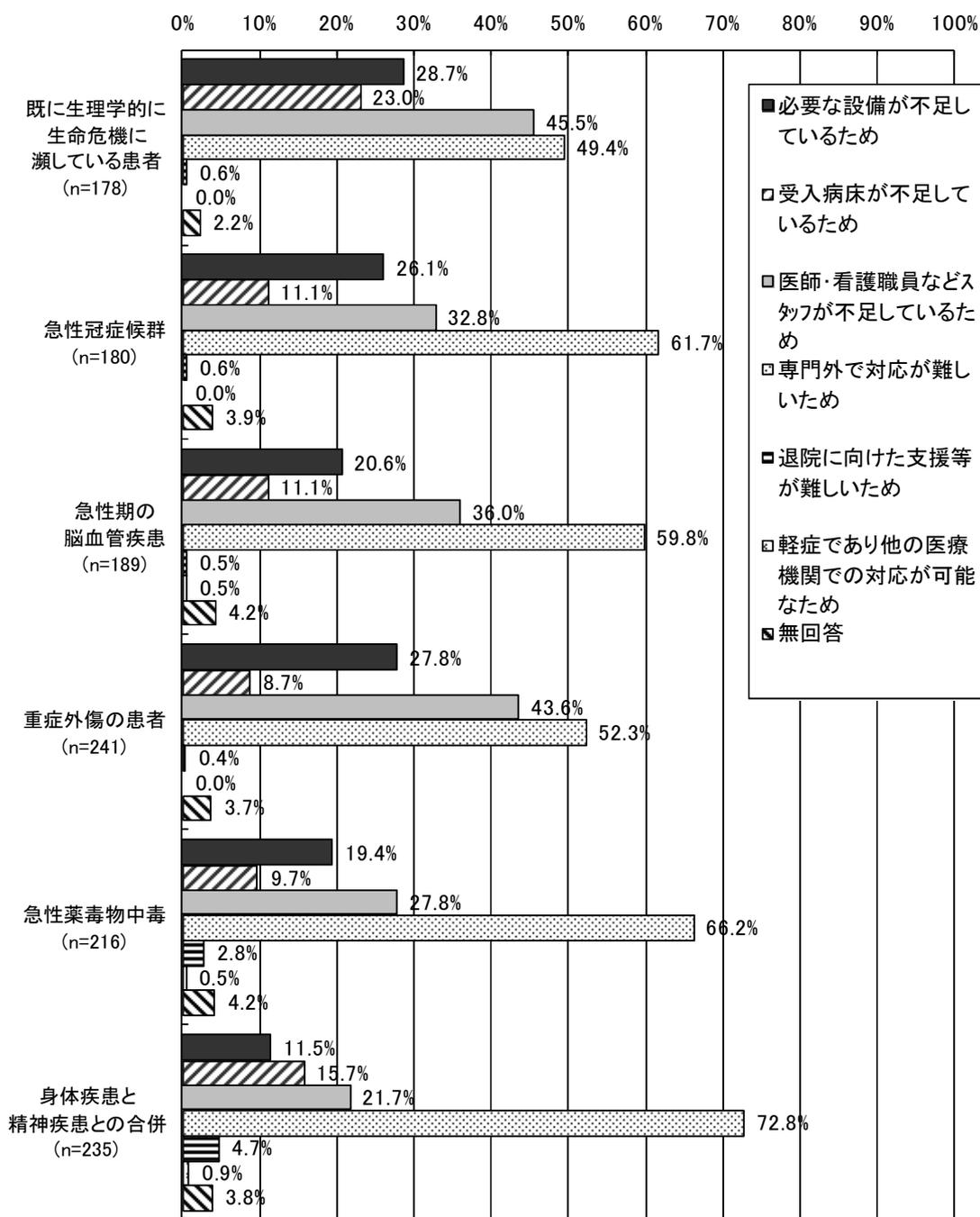
図表 134 受入を断る理由（つづき）

((高度)救命救急センターを有する医療機関、複数回答)



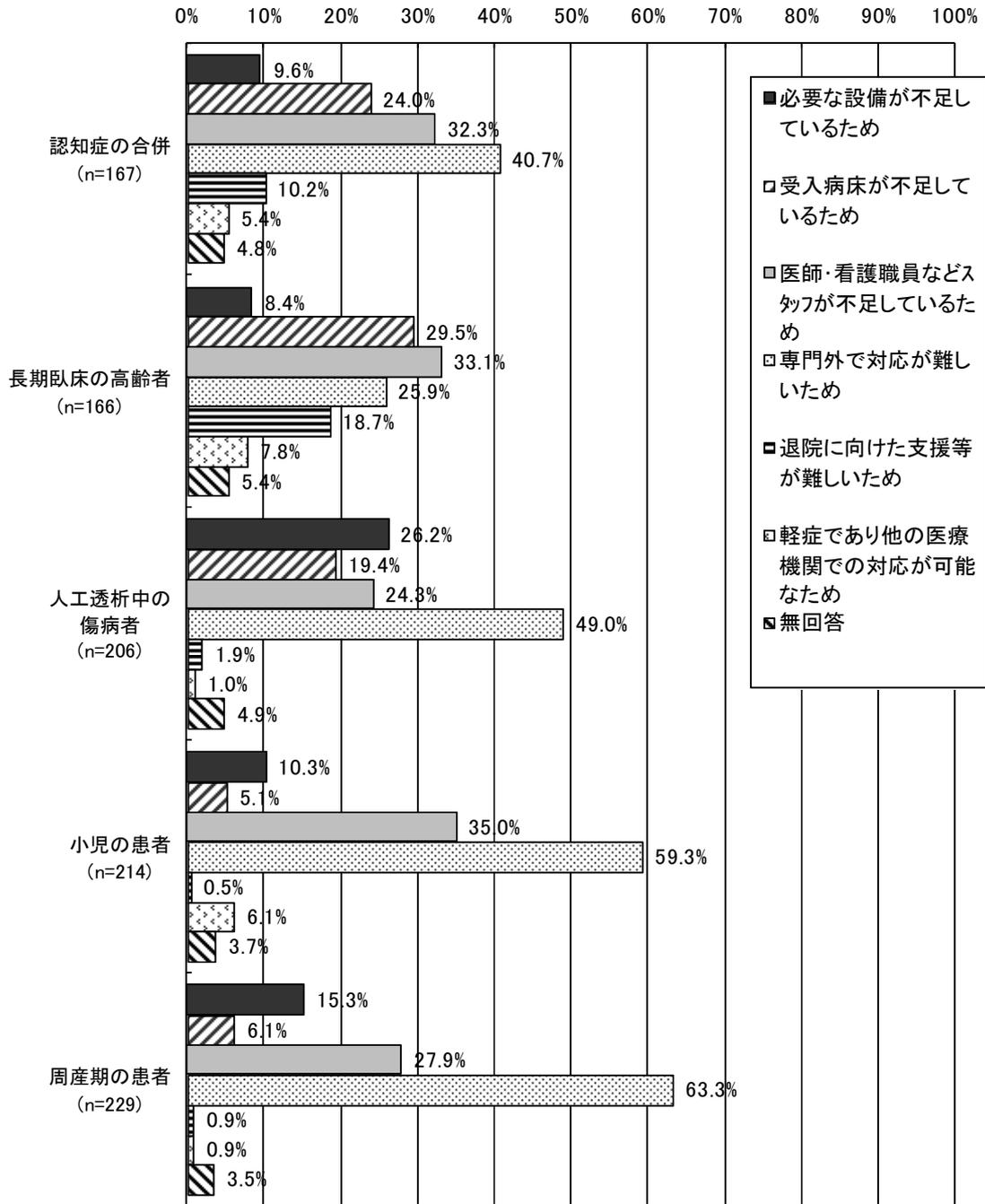
(注) ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。

図表 135 受入を断る理由
(二次救急医療機関、複数回答)



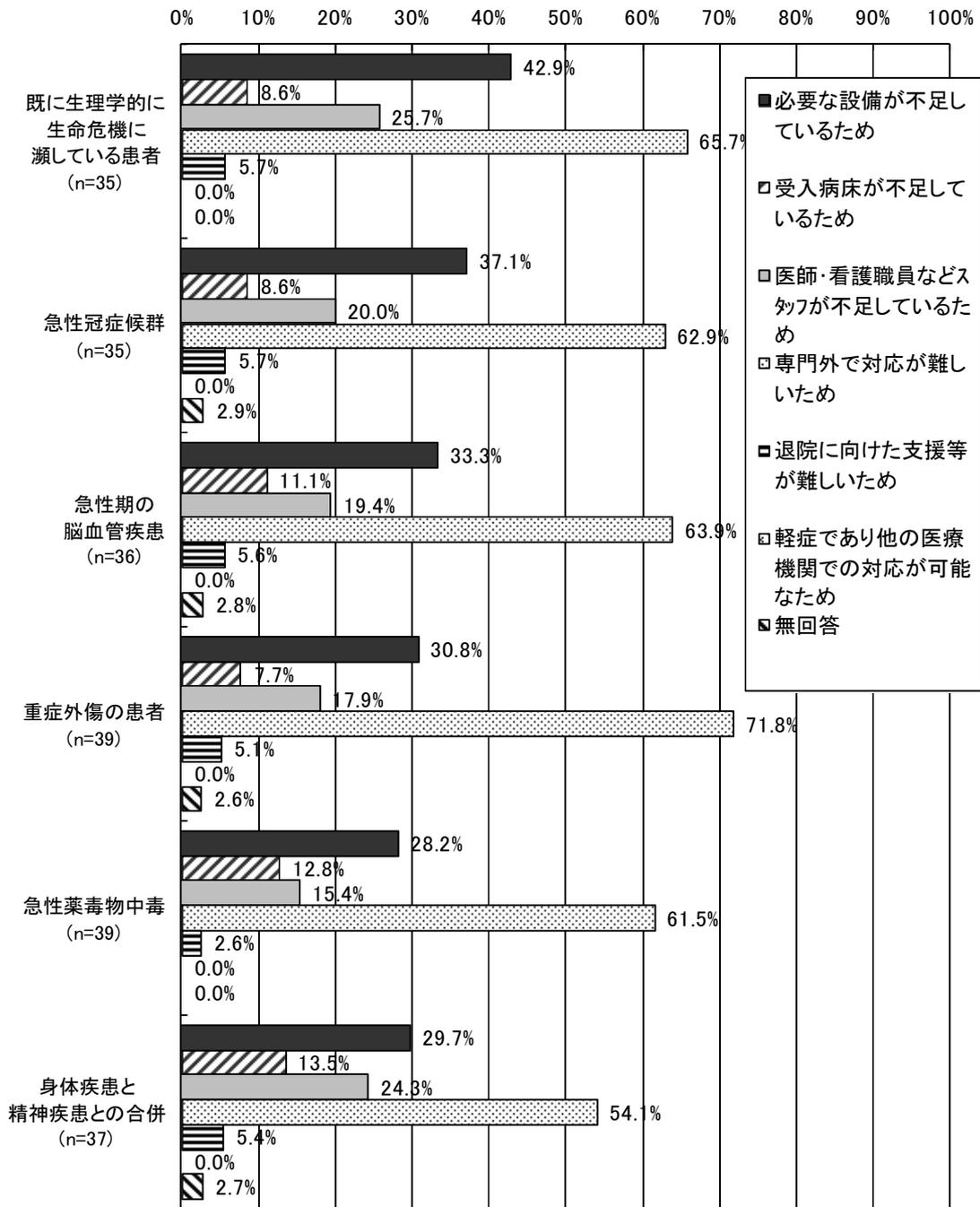
(注) ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。
 ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤 1」または院内トリアージ (JTAS) の重症 (青) に準じる。
 ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤 1、2」または JPTEC における「ロードアンドゴー」に準じる。

図表 136 受入を断る理由（つづき）
（二次救急医療機関、複数回答）



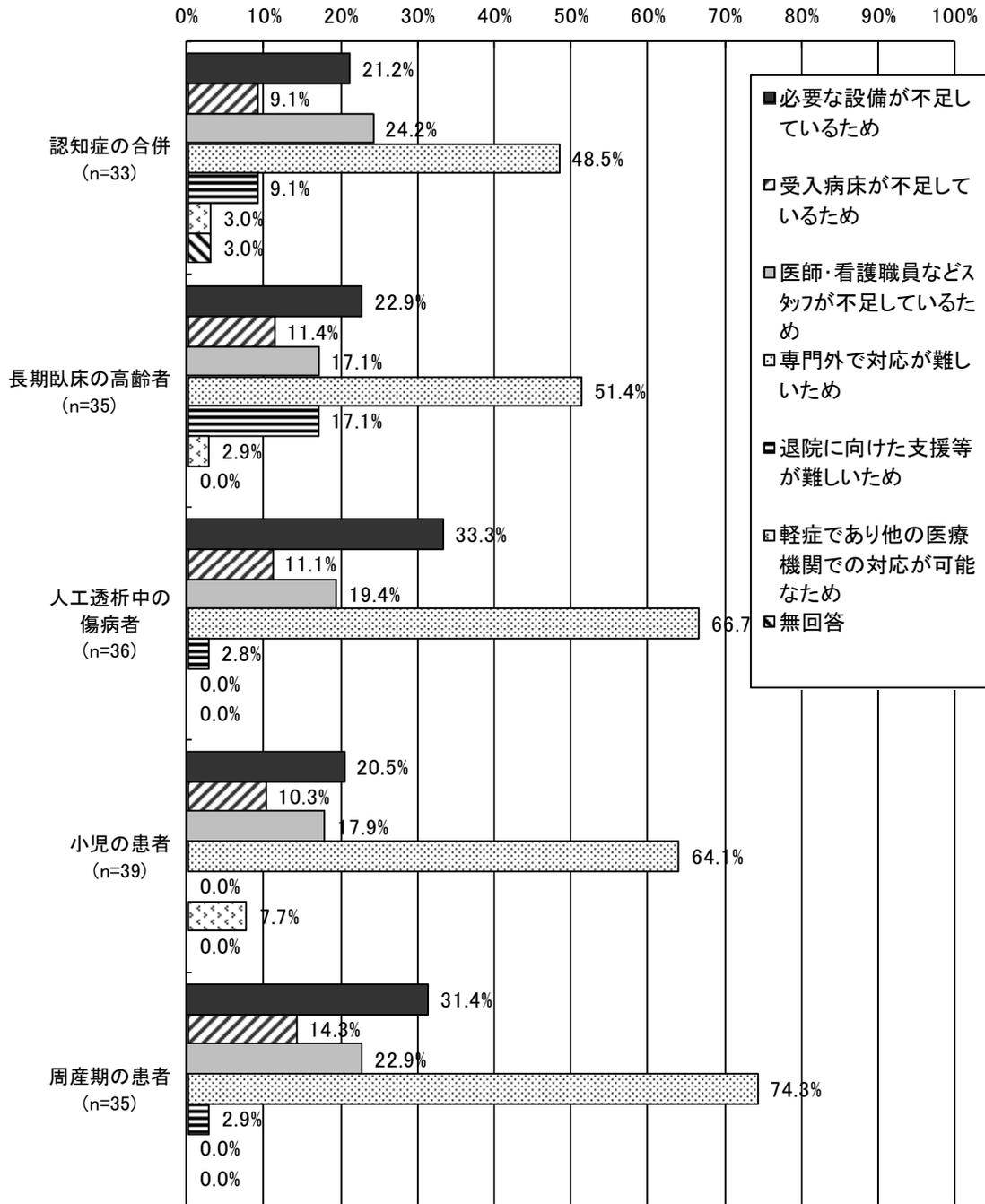
(注) ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。

図表 137 受入を断る理由
(その他の医療機関、複数回答)



(注) ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。
 ・「既に生理学的に生命危機に瀕している患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1」または院内トリアージ(JTAS)の重症(青)に準じる。
 ・「重症外傷の患者」は、「緊急度判定プロトコル ver1」(消防庁)の「赤1、2」またはJPTECにおける「ロードアンドゴー」に準じる。

図表 138 受入を断る理由（つづき）
（その他の医療機関、複数回答）



(注) ・各状態の患者の受入対応方針として、「原則的に受入を断っていない」以外の回答を行った施設に尋ねている。

⑥新生児特定集中治療室・新生児集中治療室の患者数

図表 139 新生児特定集中治療室・新生児集中治療室の患者数

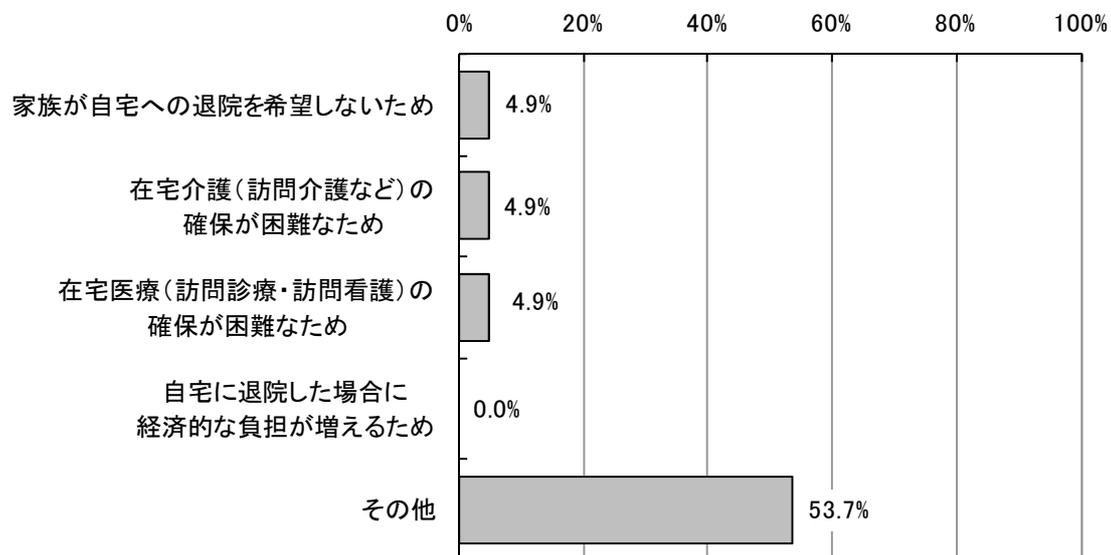
(単位：人)

	平成25年10月				平成26年10月			
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値
1か月間に当該治療室に入室した患者数	(n=175)	17.4	11.4	15.0	(n=175)	18.4	12.8	15.0
うち、他院から転入した患者数	(n=175)	2.9	3.2	2.0	(n=175)	3.4	3.7	2.0
うち、受入後、退院支援計画を策定した患者数	/	/	/	/	(n=175)	1.2	2.9	0.0
うち、「退院支援計画策定加算」(600点)を算定した患者数	(n=175)	0.8	2.0	0.0	(n=175)	0.2	0.8	0.0
1か月間に当該治療室から退室した患者数	(n=167)	16.6	10.5	15.0	(n=167)	16.8	10.5	15.0
うち、自宅(直接退院)の患者数	(n=167)	3.6	6.2	1.0	(n=167)	3.6	5.7	1.0
うち、訪問看護利用者	(n=167)	0.0	0.2	0.0	(n=167)	0.0	0.2	0.0
うち、自院の他病棟に転棟した患者数	(n=167)	11.9	10.1	10.0	(n=167)	12.1	10.1	10.0
うち、他院に転院した患者数	(n=167)	0.8	1.2	0.0	(n=167)	0.8	1.3	0.0
うち、重症化したために転院した患者数	/	/	/	/	(n=165)	0.2	0.5	0.0
うち、容体が安定したために転院した患者数	/	/	/	/	(n=165)	0.5	1.1	0.0
うち、障害者施設に入所した患者数	(n=167)	0.0	0.0	0.0	(n=167)	0.0	0.0	0.0
うち、死亡した患者数	(n=167)	0.3	0.5	0.0	(n=167)	0.2	0.6	0.0
うち、その他の転帰の患者数	(n=167)	0.1	0.7	0.0	(n=167)	0.1	0.6	0.0
うち、新生児特定集中治療室退院調整加算1を算定した患者数	(n=148)	1.8	5.4	0.0	(n=148)	2.1	5.7	0.0
うち、新生児特定集中治療室退院調整加算2を算定した患者数	(n=148)	0.8	2.2	0.0	(n=148)	1.0	2.4	0.0
上記の患者の平均在室日数	(n=157)	20.5	14.6	16.8	(n=157)	17.9	10.7	15.5

(注)・各患者数、及び平均在室日数について、平成25年10月、平成26年10月ともに数値の記載のあった施設を集計対象とした。

⑦ 自宅退院患者が少ない理由

図表 140 自宅退院患者が少ない理由（複数回答、n=41）



（注）平成 26 年 10 月において、自宅退院患者数が退院転院患者数よりも少ない施設に尋ねている。

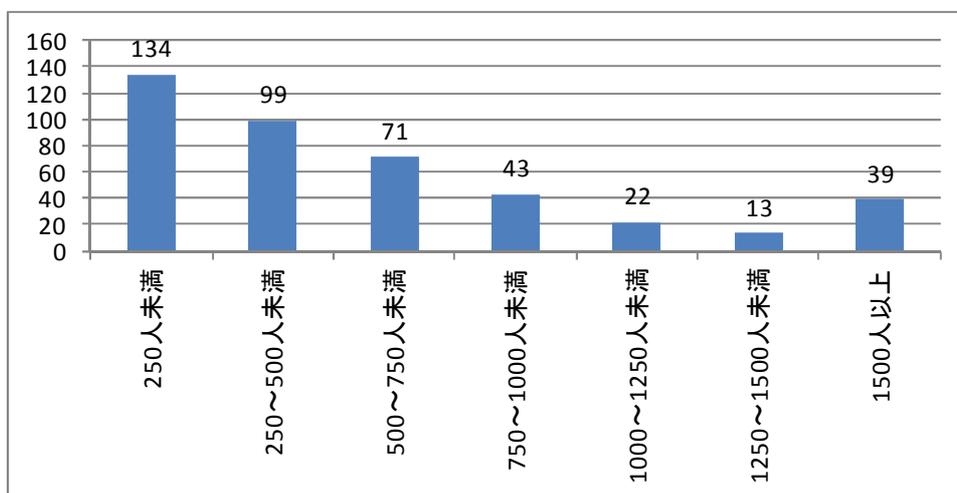
(5) 救急医療管理加算2の算定状況

①算定患者数等

図表 141 算定患者数等 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日、n=421)

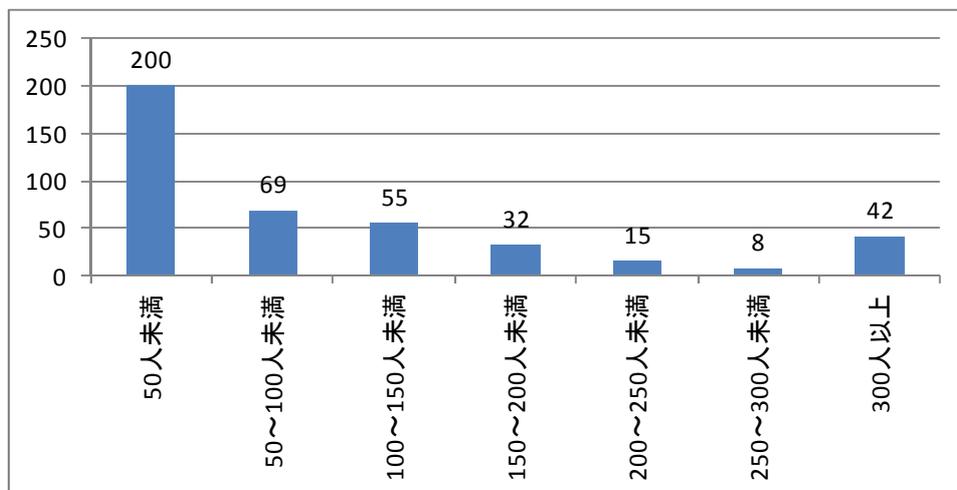
	平均値	標準偏差	中央値
① 対象期間の救急医療管理加算1・2の合計算定患者数(人)	703.1	1123.1	435.0
② 上記①のうち、救急医療管理加算2の算定患者数(人)	123.2	221.8	54.0
③ 救急医療管理加算2の割合:②/①(%)	20.8	19.9	15.7

図表 142 救急医療管理加算 1・2 の合計算定患者数別 施設数



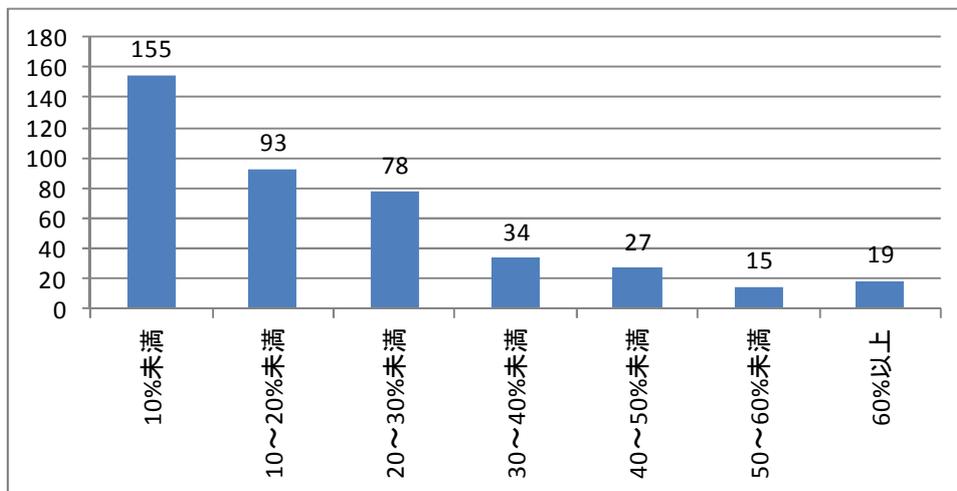
(注) 平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日の算定患者数

図表 143 救急医療管理加算 2 の算定患者数別 施設数



(注) 平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日の算定患者数

図表 144 救急医療管理加算 2 の割合別 施設数



(注) 「救急医療管理加算 2 の割合」 =
「救急医療管理加算 2 の算定患者数 ÷ 救急医療管理加算 1・2 の合計算定患者数」
(いずれも平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日における患者数)

②疾病別算定患者数

図表 145 疾病別算定患者数（上位 100 位）

患者数 順位	疾病 コード	名称	施設数	1施設 あたり 平均患 者数	各施設 患者数 の標準 偏差	各施設 患者数 の中央 値	全施設 の患者 数合計	全疾患・ 全施設 患者数 合計に 占める 割合
1	010060	脳梗塞	282	17.3	27.3	10.0	4881	9.5%
2	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	236	11.3	23.6	5.0	2678	5.2%
3	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	239	8.7	14.1	5.0	2071	4.0%
4	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	215	6.7	8.9	4.0	1451	2.8%
5	110310	腎臓または尿路の感染症	221	6.2	10.3	3.0	1377	2.7%
6	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	181	6.6	13.5	3.0	1199	2.3%
7	120170	早産、切迫早産	111	9.8	12.3	6.0	1083	2.1%
8	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	203	4.9	6.3	3.0	994	1.9%
9	060102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	185	5.1	6.4	3.0	947	1.8%
10	040081	誤嚥性肺炎	153	5.6	13.0	2.0	851	1.7%
11	080011	急性膿皮症	173	4.8	8.4	3.0	826	1.6%
12	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	189	4.1	5.3	2.0	768	1.5%
13	160800	股関節大腿近位骨折	100	7.6	14.9	3.0	763	1.5%
14	060150	虫垂炎	151	5.0	9.0	3.0	759	1.5%
15	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	170	4.4	5.8	3.0	752	1.5%
16	150010	ウイルス性腸炎	146	5.0	8.8	2.0	727	1.4%
17	060350	急性膀胱炎	172	3.8	4.1	2.0	650	1.3%
18	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	117	5.3	5.7	3.0	620	1.2%
19	040200	気胸	136	4.2	5.1	2.0	566	1.1%
20	040100	喘息	83	6.5	17.1	2.0	537	1.0%
21	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	144	3.7	5.3	2.0	537	1.0%
22	130090	貧血(その他)	179	2.8	3.6	2.0	506	1.0%
23	030400	前庭機能障害	117	4.3	4.5	3.0	505	1.0%
24	040040	肺の悪性腫瘍	118	4.1	5.1	2.0	484	0.9%
25	180010	敗血症	165	2.9	3.6	2.0	480	0.9%
26	060020	胃の悪性腫瘍	140	3.3	4.4	2.0	463	0.9%
27	060190	虚血性腸炎	132	3.4	4.3	2.0	446	0.9%
28	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	41	10.3	23.9	3.0	424	0.8%
29	060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性生殖器を除く。)	147	2.8	4.3	2.0	417	0.8%
30	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	133	3.1	3.7	2.0	413	0.8%
31	050210	徐脈性不整脈	120	3.4	5.8	2.0	407	0.8%
32	080020	帯状疱疹	85	4.8	11.5	2.0	406	0.8%
33	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの)	127	2.9	3.6	2.0	365	0.7%
34	050161	解離性大動脈瘤	125	2.8	3.1	2.0	351	0.7%
35	050070	頻脈性不整脈	129	2.7	2.6	2.0	345	0.7%
36	180040	手術・処置等の合併症	123	2.8	3.3	1.0	340	0.7%
37	06007X	脾臓、脾臓の腫瘍	91	3.5	3.6	2.0	318	0.6%
38	130070	白血球疾患(その他)	107	3.0	6.6	1.0	317	0.6%
39	010061	一過性脳虚血発作	100	3.1	3.2	2.0	311	0.6%
40	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)	101	3.0	3.3	2.0	304	0.6%
41	060040	直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	107	2.7	3.7	1.0	284	0.6%
42	120180	胎児及び胎児付属物の異常	77	3.6	3.3	3.0	280	0.5%
43	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	106	2.6	3.0	2.0	275	0.5%
44	010230	てんかん	113	2.4	2.3	1.0	270	0.5%
45	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	115	2.3	2.4	1.0	261	0.5%
46	050030	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	107	2.3	2.1	2.0	248	0.5%
47	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	92	2.6	3.6	1.0	242	0.5%
48	010010	脳腫瘍	100	2.4	2.8	1.0	239	0.5%
49	070560	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	95	2.5	2.5	1.0	236	0.5%
50	030270	上気道炎	75	3.1	4.5	2.0	234	0.5%

(注)・様式2の回答を得られた421施設について、疾病コード別の救急医療管理加算2の算定患者数合計の多い順に上位100位までを掲載した(いずれも平成26年4月1日～平成26年6月30日における患者数)。

- ・「平均」「標準偏差」「中央値」は該当患者があった施設の1施設あたりの算定患者数である。
- ・「患者数に占める割合」は救急医療管理加算2を算定した患者総数(回答施設の算定患者数の総合計)に占める当該疾病コードに該当する患者の割合。

図表 146 疾病別算定患者数（上位 100 位、つづき）

患者数 順位	疾病 コード	名称	施設数	1施設 あたり 平均患 者数	各施設 患者数 の標準 偏差	各施設 患者数 の中央 値	全施設 の患者 数合計	全疾患・ 全施設 患者数 合計に 占める 割合
51	130030	非ホジキンリンパ腫	92	2.5	3.3	1.0	232	0.5%
52	150020	細菌性腸炎	76	2.9	5.5	1.0	219	0.4%
53	070040	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)	82	2.6	3.6	1.0	217	0.4%
54	050130	心不全	97	2.2	2.5	1.0	212	0.4%
55	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	95	2.2	1.9	1.0	206	0.4%
56	150070	川崎病	38	5.4	6.3	3.5	205	0.4%
57	180030	その他の感染症(真菌を除く)	89	2.2	2.8	1.0	198	0.4%
58	11012X	上部尿路疾患	81	2.4	3.0	1.0	197	0.4%
59	130010	急性白血病	76	2.6	2.0	2.0	197	0.4%
60	120110	子宮・子宮付属器の炎症性疾患	88	2.2	1.7	1.5	196	0.4%
61	120150	妊娠早期の出血	65	3.0	3.1	2.0	193	0.4%
62	110050	後腹膜疾患	73	2.6	2.9	2.0	189	0.4%
63	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	66	2.8	3.5	1.5	185	0.4%
64	030428	突発性難聴	49	3.5	3.4	2.0	171	0.3%
65	060570	その他の消化管の障害	80	2.1	2.0	1.0	166	0.3%
66	020160	網膜剥離	18	9.2	20.0	1.0	165	0.3%
67	11022X	男性生殖器疾患	61	2.6	2.6	2.0	161	0.3%
68	130110	出血性疾患(その他)	85	1.9	1.9	1.0	161	0.3%
69	040110	間質性肺炎	63	2.5	3.0	2.0	158	0.3%
70	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	74	2.1	2.2	1.0	154	0.3%
71	050170	閉塞性動脈疾患	81	1.9	1.5	1.0	153	0.3%
72	110080	前立腺の悪性腫瘍	64	2.3	2.3	1.0	146	0.3%
73	060300	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	79	1.8	1.8	1.0	145	0.3%
74	070350	椎間板変性、ヘルニア	61	2.3	2.1	2.0	142	0.3%
75	120260	分娩の異常	56	2.5	2.4	2.0	142	0.3%
76	080100	薬疹、中毒疹	54	2.6	5.2	1.0	140	0.3%
77	170030	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	25	5.6	5.5	4.0	140	0.3%
78	110070	膀胱腫瘍	63	2.2	3.1	1.0	138	0.3%
79	12002X	子宮頸・体部の悪性腫瘍	60	2.3	2.2	1.0	137	0.3%
80	060185	潰瘍性大腸炎	60	2.2	2.0	1.0	133	0.3%
81	050180	静脈・リンパ管疾患	81	1.6	1.7	1.0	131	0.3%
82	050190	肺塞栓症	65	2.0	2.1	1.0	131	0.3%
83	040190	胸水、胸膜の疾患(その他)	72	1.8	1.9	1.0	130	0.3%
84	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	37	3.5	8.4	1.0	129	0.3%
85	100380	体液量減少症	56	2.3	3.5	1.0	126	0.2%
86	071030	その他の筋骨格系・結合組織の疾患	65	1.9	1.4	1.0	123	0.2%
87	060010	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)	50	2.4	2.6	1.0	122	0.2%
88	161060	詳細不明の損傷等	67	1.8	1.6	1.0	122	0.2%
89	120010	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍	53	2.3	2.0	1.0	121	0.2%
90	160980	骨盤損傷	51	2.3	2.7	1.0	119	0.2%
91	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	58	2.0	3.2	1.0	117	0.2%
92	130100	播種性血管内凝固症候群	56	2.0	2.4	1.0	111	0.2%
93	170040	気分[感情]障害	29	3.8	4.3	2.0	110	0.2%
94	060270	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎	61	1.8	1.4	1.0	108	0.2%
95	060310	肝膿瘍(細菌性・寄生虫性疾患を含む。)	62	1.7	1.3	1.0	108	0.2%
96	120165	妊娠合併症等	46	2.3	3.1	1.0	107	0.2%
97	150040	熱性けいれん	28	3.8	4.8	2.0	106	0.2%
98	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)	56	1.9	1.6	1.0	105	0.2%
99	070330	脊椎感染(感染を含む。)	43	2.4	2.9	1.0	104	0.2%
100	090010	乳房の悪性腫瘍	52	1.9	1.5	1.0	101	0.2%

(注)・様式 2 の回答を得られた 421 施設について、疾病コード別の救急医療管理加算 2 の算定患者数合計の多い順に上位 100 位までを掲載した (いずれも平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日における患者数)。

- ・「平均」「標準偏差」「中央値」は該当患者があった施設の 1 施設あたりの算定患者数である。
- ・「患者数に占める割合」は救急医療管理加算 2 を算定した患者総数 (回答施設の算定患者数の総合計) に占める当該疾病コードに該当する患者の割合。

図表 147 疾病別算定患者数

((高度)救命救急センターを有する医療機関 施設数：156 患者数合計：25,106人)

	疾病 コード	名称	施設数	1施設あ たり平均 患者数 (人)	全疾患・ 全施設患 者数合計 に占める 割合
1	010060	脳梗塞	117	22.5	10.5%
2	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	91	12.5	4.5%
3	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	100	10.6	4.2%
4	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	96	8.1	3.1%
5	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	90	7.6	2.7%
6	110310	腎臓または尿路の感染症	86	6.9	2.4%
7	120170	早産、切迫早産	46	10.9	2.0%
8	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	92	5.3	2.0%
9	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	91	5.0	1.8%
10	060102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	84	5.0	1.7%
11	040081	誤嚥性肺炎	59	7.1	1.7%
12	080011	急性膿皮症	74	5.4	1.6%
13	060150	虫垂炎	62	6.0	1.5%
14	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	73	4.9	1.4%
15	040200	気胸	62	5.2	1.3%
16	060350	急性膀胱炎	73	4.4	1.3%
17	150010	ウイルス性腸炎	57	5.6	1.3%
18	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	56	5.6	1.2%
19	160800	股関節大腿近位骨折	43	6.9	1.2%
20	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	23	12.7	1.2%
21	040040	肺の悪性腫瘍	61	4.4	1.1%
22	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	63	4.2	1.1%
23	040100	喘息	28	9.1	1.0%
24	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	69	3.7	1.0%
25	130090	貧血(その他)	72	3.4	1.0%
26	060020	胃の悪性腫瘍	63	3.6	0.9%
27	180010	敗血症	69	3.3	0.9%
28	050161	解離性大動脈瘤	75	3.0	0.9%
29	060190	虚血性腸炎	55	4.0	0.9%
30	030400	前庭機能障害	47	4.7	0.9%
31	060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性器臓器を除く。)	63	3.4	0.8%
32	050070	頻脈性不整脈	66	3.2	0.8%
33	050210	徐脈性不整脈	61	3.3	0.8%
34	180040	手術・処置等の合併症	60	3.0	0.7%
35	060040	直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	54	3.0	0.7%
36	010061	一過性脳虚血発作	52	3.0	0.6%
37	06007X	膵臓、脾臓の腫瘍	37	4.2	0.6%
38	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの)	49	3.2	0.6%
39	010230	てんかん	57	2.5	0.6%
40	010010	脳腫瘍	52	2.6	0.5%
41	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	52	2.5	0.5%
42	130070	白血球疾患(その他)	49	2.7	0.5%
43	020160	網膜剥離	9	13.7	0.5%
44	120180	胎児及び胎児付属物の異常	38	3.2	0.5%
45	050030	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	49	2.4	0.5%
46	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	39	3.1	0.5%
47	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	54	2.2	0.5%
48	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	47	2.5	0.5%
49	130030	非ホジキンリンパ腫	43	2.7	0.5%
50	080020	帯状疱疹	36	3.2	0.5%

図表 148 疾病別算定患者数

(二次救急医療機関 施設数：237 患者数合計：24,595)

	疾病コード	名称	施設数	1施設あたり平均患者数(人)	全疾患・全施設患者数合計に占める割合
1	010060	脳梗塞	158	13.6	8.7%
2	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	136	11.1	6.2%
3	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	129	7.5	3.9%
4	110310	腎臓または尿路の感染症	129	5.7	3.0%
5	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	111	5.6	2.5%
6	060102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	97	5.3	2.1%
7	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	89	5.7	2.1%
8	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	105	4.7	2.0%
9	120170	早産、切迫早産	60	7.8	1.9%
10	160800	股関節大腿近位骨折	56	8.3	1.9%
11	040081	誤嚥性肺炎	93	4.7	1.8%
12	080011	急性膿皮症	93	4.3	1.6%
13	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	95	4.1	1.6%
14	150010	ウイルス性腸炎	83	4.7	1.6%
15	060150	虫垂炎	83	4.4	1.5%
16	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	93	3.3	1.3%
17	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	58	5.1	1.2%
18	060350	急性膀胱炎	92	3.2	1.2%
19	080020	带状疱疹	47	6.2	1.2%
20	040100	喘息	53	5.3	1.1%
21	030400	前庭機能障害	65	4.2	1.1%
22	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	78	3.4	1.1%
23	130090	貧血(その他)	100	2.5	1.0%
24	040200	気胸	72	3.2	0.9%
25	180010	敗血症	90	2.5	0.9%
26	060020	胃の悪性腫瘍	75	3.0	0.9%
27	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰椎損傷を含む。)	62	3.6	0.9%
28	060190	虚血性腸炎	74	2.9	0.9%
29	040040	肺の悪性腫瘍	55	3.8	0.8%
30	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの)	75	2.7	0.8%
31	060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性器臓器を除く。)	82	2.4	0.8%
32	050210	徐脈性不整脈	58	3.4	0.8%
33	130070	白血球疾患(その他)	57	3.2	0.7%
34	06007X	膵臓、脾臓の腫瘍	53	2.9	0.6%
35	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	57	2.7	0.6%
36	010061	一過性脳虚血発作	47	3.3	0.6%
37	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	60	2.5	0.6%
38	150020	細菌性腸炎	46	3.1	0.6%
39	180040	手術・処置等の合併症	58	2.4	0.6%
40	050070	頻脈性不整脈	61	2.2	0.5%
41	030270	上気道炎	38	3.4	0.5%
42	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	17	7.7	0.5%
43	070560	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	46	2.7	0.5%
44	050030	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	55	2.2	0.5%
45	120180	胎児及び胎児付属物の異常	33	3.7	0.5%
46	010230	てんかん	55	2.2	0.5%
47	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	59	2.1	0.5%
48	060040	直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	53	2.3	0.5%
49	050130	心不全	50	2.4	0.5%
50	050161	解離性大動脈瘤	49	2.4	0.5%

図表 149 疾病別算定患者数

(その他の医療機関 施設数：18 患者数合計：1,277人)

	疾病 コード	名称	施設数	1施設あ たり平均 患者数 (人)	全疾患・ 全施設患 者数合計 に占める 割合
1	010060	脳梗塞	5	18.6	7.3%
2	120170	早産、切迫早産	4	20.5	6.4%
3	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	6	8.0	3.8%
4	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	8	5.1	3.2%
5	110310	腎臓または尿路の感染症	5	7.8	3.1%
6	070040	骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。）	3	11.0	2.6%
7	120180	胎児及び胎児付属物の異常	5	6.0	2.3%
8	060350	急性膵炎	6	4.8	2.3%
9	080011	急性膿皮症	4	7.0	2.2%
10	11001X	腎腫瘍	2	14.0	2.2%
11	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	7	3.7	2.0%
12	020160	網膜剥離	1	24.0	1.9%
13	180010	敗血症	6	4.0	1.9%
14	010010	脳腫瘍	4	5.5	1.7%
15	180040	手術・処置等の合併症	4	5.0	1.6%
16	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	4	4.5	1.4%
17	170030	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	5	3.6	1.4%
18	150010	ウイルス性腸炎	5	3.0	1.2%
19	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	2	7.0	1.1%
20	020150	斜視（外傷性・癒着性を除く。）	1	14.0	1.1%
21	020280	角膜の障害	2	6.5	1.0%
22	020350	脈絡膜の疾患	2	6.5	1.0%
23	060150	虫垂炎	5	2.6	1.0%
24	010090	多発性硬化症	1	12.0	0.9%
25	130090	貧血（その他）	4	3.0	0.9%
26	12002X	子宮頸・体部の悪性腫瘍	2	5.5	0.9%
27	150070	川崎病	1	11.0	0.9%
28	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	3	3.7	0.9%
29	030400	前庭機能障害	4	2.5	0.8%
30	100100	糖尿病足病変	1	10.0	0.8%
31	110070	膀胱腫瘍	3	3.3	0.8%
32	130110	出血性疾患（その他）	3	3.3	0.8%
33	040200	気胸	2	4.5	0.7%
34	050161	解離性大動脈瘤	1	9.0	0.7%
35	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	3	3.0	0.7%
36	110080	前立腺の悪性腫瘍	3	3.0	0.7%
37	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	3	3.0	0.7%
38	170060	その他の精神及び行動の障害	6	1.5	0.7%
39	010130	重症筋無力症、その他の神経筋障害	2	4.0	0.6%
40	050190	肺塞栓症	2	4.0	0.6%
41	050210	徐脈性不整脈	1	8.0	0.6%
42	060035	大腸（上行結腸からS状結腸）の悪性腫瘍	2	4.0	0.6%
43	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）	2	4.0	0.6%
44	060185	潰瘍性大腸炎	2	4.0	0.6%
45	060190	虚血性腸炎	2	4.0	0.6%
46	060200	腸重積	1	8.0	0.6%
47	120182	前置胎盤および低置胎盤	2	4.0	0.6%
48	010160	パーキンソン病	1	7.0	0.5%
49	020130	原田病	1	7.0	0.5%
50	040050	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	1	7.0	0.5%

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成26年度調査)

救急医療の実施状況調査 調査票

※ 以下のラベルに、電話番号とご回答者名をご記入ください。また、施設名と施設の所在地をご確認の上、記載内容に不備等がございましたら、赤書きで修正してください。

※この調査票は、医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設における救急医療に係る診療体制や取組状況、今後の課題等についてお伺いするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

※特に断りのない質問については、平成26年10月31日時点の状況についてご記入ください。

※「平成25年10月」と記載の質問については平成25年10月31日時点または平成25年10月1か月間の状況を、「平成26年10月」と記載の質問については平成26年10月31日時点または平成26年10月1か月間の状況をご記入ください。

1. 貴施設の概況についてお伺いします。

①開設者 ※○は1つだけ	1. 国 5. 医療法人	2. 公立 6. 個人	3. 公的 7. 学校法人	4. 社会保険関係団体 8. その他の法人
②貴施設の救急医療体制についてお答えください。				
1) 救急告示の有無 ※○は1つだけ	1. あり		2. なし	
2) 救急医療体制 ※○は1つだけ	1. 高度救命救急センター 3. 二次救急医療機関	2. 救命救急センター 4. いずれも該当しない		
③承認等の状況 ※あてはまる番号すべてに○	1. 特定機能病院 3. 災害拠点病院 5. 小児救急医療拠点病院 7. 地域周産期母子医療センター 9. 上記以外の専門病院（主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生（支）局長に届け出たもの） 10. 病院群輪番制参加病院（輪番ではなく固定制の場合も含む） 11. 在宅療養支援病院	2. 地域医療支援病院 4. 小児救命救急センター 6. 総合周産期母子医療センター 8. 小児専門病院 12. 上記のいずれも該当しない		
④DPC対応 ※○は1つだけ	1. DPC対象病院Ⅰ群 3. DPC対象病院Ⅲ群 5. 対応していない	2. DPC対象病院Ⅱ群 4. DPC準備病院		
⑤以下の診療科について標榜していますか。				
1) 小児科	1. 標榜している	2. 標榜していない		
2) 産科	1. 標榜している	2. 標榜していない		
3) 精神科	1. 標榜している	2. 標榜していない		
⑥貴施設では、軽症患者等を対象とした時間外選定療養費を導入していますか。※○は1つだけ				
1. 導入している→導入時期：平成（ ）年（ ）月		2. 導入していない→質問⑦へ		

⑥-1 時間外選定療養費の金額	() 円 ※価格が複数の場合は初診時の最高額
⑥-2 時間外選定療養費を徴収した件数	() 件 ※平成 26 年 10 月

⑦平成 25 年 10 月及び平成 26 年 10 月の各 1 か月間の 1) 許可病床数 (各 10 月末時点)、2) 新規入院患者数、3) 病床利用率、4) 平均在院日数 (一般病床の内訳の算定病床については、当該病室における平均在室期間) をお答えください。該当の病床がない場合は「1) 許可病床数」欄に必ず「0」とお書きください (この場合、2) ~4) の回答欄の記入は結構です)。2) ~4) は該当の特定入院料等の算定対象とならなかった患者数も含めた数値をご記入ください。

平成 25 年 10 月				
	1) 許可病床数	2) 新規入院患者数	3) 病床利用率	4) 平均在院日数
一般病床	床	人	%	日
(うち) 救命救急入院料	床	人	%	日
(うち) 特定集中治療室管理料	床	人	%	日
上記のうち、小児専用病床	床	人	%	日
(うち) ハイケアユニット入院医療管理料	床	人	%	日
(うち) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	床	人	%	日
(うち) 小児特定集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 新生児特定集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 総合周産期特定集中治療室管理料 母体・胎児集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 総合周産期特定集中治療室管理料 新生児集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 新生児治療回復室入院医療管理料	床	人	%	日
(うち) 小児入院医療管理料	床	人	%	日
療養病床	床	人	%	日
精神病床	床	人	%	
結核病床	床	人	%	
感染症病床	床			
病院全体	床	人	%	日
平成 26 年 10 月				
	1) 許可病床数	2) 新規入院患者数	3) 病床利用率	4) 平均在院日数
一般病床	床	人	%	日
(うち) 救命救急入院料	床	人	%	日
(うち) 特定集中治療室管理料	床	人	%	日
上記のうち、小児専用病床	床	人	%	日
(うち) ハイケアユニット入院医療管理料	床	人	%	日
(うち) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	床	人	%	日
(うち) 小児特定集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 新生児特定集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 総合周産期特定集中治療室管理料 母体・胎児集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 総合周産期特定集中治療室管理料 新生児集中治療室管理料	床	人	%	日
(うち) 新生児治療回復室入院医療管理料	床	人	%	日
(うち) 小児入院医療管理料	床	人	%	日
療養病床	床	人	%	日
精神病床	床	人	%	
結核病床	床	人	%	
感染症病床	床			
病院全体	床	人	%	日

⑧平成 26 年 10 月末時点に届出を行っている一般病床の入院基本料について○をつけてください。

1) 一般病棟入院基本料	1. 7 対 1 2. 1 0 対 1 3. 1 3 対 1 4. 1 5 対 1 5. 特別
2) 特定機能病院入院基本料	1. 7 対 1 2. 1 0 対 1 3. 届出なし
3) 専門病院入院基本料	1. 7 対 1 2. 1 0 対 1 3. 1 3 対 1 4. 届出なし
4) 障害者施設等入院基本料	1. 7 対 1 2. 1 0 対 1 3. 1 3 対 1 4. 1 5 対 1 5. 届出なし

⑦夜間（準夜・深夜・早朝）の救急外来の初期対応について、貴施設ではどのように対応していますか。※○は1つだけ

1. 救急部門の専従・専任医師と救急部門以外の診療科の当直医師が同時に対応
2. 救急部門の専従・専任医師が対応
3. 診療科に関係なく当直医師が対応
4. その他（具体的に _____）

⑧平成26年10月末時点の救急医療に従事する医師・看護職員の常勤換算人数（専従・専任別）をお答えください。

		医師	看護職員
1) 救急医療に従事する専従・専任の医師数・看護職員数（常勤換算）		人	人
従事部署別	2) 救命救急センター外来	専 従	人
		専任（兼任）	人
	3) 救命救急センター病棟	専 従	人
		専任（兼任）	人
	4) 特定集中治療室	専 従	人
		専任（兼任）	人
	5) ハイケアユニット	専 従	人
		専任（兼任）	人
	6) 小児特定集中治療室	専 従	人
		専任（兼任）	人
	7) 新生児特定集中治療室	専 従	人
		専任（兼任）	人
	8) 総合周産期特定集中治療室	専 従	人
		専任（兼任）	人
	9) 新生児治療回復室	専 従	人
		専任（兼任）	人

⑨貴施設の医師数（常勤換算）をお書きください。※平成26年10月末時点

	常勤	非常勤（常勤換算）
1) 精神科の医師	人	人
2) （うち）精神保健指定医	人	人
3) （うち）上記以外の精神科医	人	人
4) 小児科の医師	人	人
5) 産科の医師	人	人
6) メディカルコントロールの業務に携わる医師	人	人

⑩貴施設では、臨床工学技士（外来透析担当を除く）の当直がありますか。※○は1つだけ

1. 当直がある
2. 当直はないが、オンコール体制となっている
3. 当直・オンコール体制はない
4. その他（具体的に _____）

⑪貴施設には、退院調整を行う部門（部署）がありますか。※○は1つだけ

1. 施設全体での退院調整部門と、一部の病棟に退院調整部門がある
2. 病棟に退院調整部門がある
3. 施設全体での退院調整部門がある
4. その他（具体的に _____）
5. 退院調整部門がない→5ページの質問3. ①へ

【退院調整部門（部署）がある施設の方にお伺いします】

⑫貴施設では、退院調整をどのような体制で実施していますか。平成26年10月末における、退院調整を行う部門（部署）と病棟に配置されている退院調整担当者の職員数（従事している人数）を専従^{※1}・専任（兼任）^{※2}別にお書きください。

	退院調整を行う部門（部署）		病棟	
	専 従	専任（兼任）	専 従	専任（兼任）
1) 医師	人	人		人
2) 看護師（保健師、助産師を含む）	人	人	人	人
3) 准看護師	人	人	人	人
4) 社会福祉士	人	人	人	人
5) 精神保健福祉士	人	人	人	人
6) その他の相談員	人	人	人	人
7) 事務職員	人	人	人	人
8) その他（ ）	人	人	人	人
9) 合計	人	人	人	人

※1：退院調整担当者が病棟内の患者に対し、退院調整業務のみに従事している場合を指します。

※2：退院調整担当者（退院調整リンクナース等の病棟において退院調整役として位置づけられている者）が、受け持ち患者の看護等以外に、病棟内の患者に対する退院調整業務に従事している場合を指します。

3. 貴施設における救急医療に関する施設基準及びその算定状況等についてお伺いします。

①次の施設基準等について「届出があるもの」の該当数字を○で囲んでください。届出がある場合、「届出時期」（初回の届出）、平成25年10月及び平成26年10月の各1か月間の算定件数をお答えください。算定件数は患者1人につき1件と数えてください。

施設基準等	届出の状況		算定件数	
	届出があるもの	届出時期 (初回の届出)	平成25年 10月	平成26年 10月
1) 救命救急入院料1	1	平成()年()月	件	件
2) 救命救急入院料2	2	平成()年()月	件	件
3) 救命救急入院料3	3	平成()年()月	件	件
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料			件	件
4) 救命救急入院料4	4	平成()年()月	件	件
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料			件	件
5) 救命救急入院料の充実段階A加算	5	平成()年()月	件	件
6) 救命救急入院料の充実段階B加算	6	平成()年()月	件	件
7) 救命救急入院料の小児加算	7	平成()年()月	件	件
8) 救命救急入院料の精神保健指定医等診断治療等加算	8	平成()年()月	件	件
9) 救命救急入院料の急性薬毒物中毒加算1 (機器分析)			件	件
10) 救命救急入院料の急性薬毒物中毒加算2 (その他)				件
11) 特定集中治療室管理料1	11	平成26年()月		件
12) 特定集中治療室管理料2	12	平成26年()月		件
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料				件
13) 特定集中治療室管理料3 ※平成25年10月は特定集中治療室管理料1	13	平成()年()月	件	件
14) 特定集中治療室管理料4 ※平成25年10月は特定集中治療室管理料2	14	平成()年()月	件	件
【再掲】広範囲熱傷特定集中治療管理料			件	件
15) 特定集中治療室管理料の小児加算	15	平成()年()月	件	件

②次の施設基準等について「届出があるもの」の該当数字を○で囲んでください。届出がある場合、「届出時期」（初回の届出）、平成25年10月及び平成26年10月の各1か月間の算定件数をお答えください。算定件数は患者1人につき1件と数えてください。

施設基準等	届出の状況		算定件数	
	届出があるもの	届出時期 (初回の届出)	平成25年 10月	平成26年 10月
1) 総合入院体制加算 1	1	平成26年()月		
2) 総合入院体制加算 2	2	平成()年()月		
3) 救急医療管理加算	3	平成()年()月		
救急医療管理加算 1 (800点)			件	件
【再掲】乳幼児加算			件	件
【再掲】小児加算			件	件
救急医療管理加算 2 (400点)				件
【再掲】乳幼児加算				件
【再掲】小児加算				件
4) 超急性期脳卒中加算	4	平成()年()月	件	件
5) 妊産婦緊急搬送入院加算	5	平成()年()月	件	件
6) 在宅患者緊急入院診療加算	6		件	件
7) 超重症児(者)入院診療加算	7	平成()年()月		
【再掲】6歳未満の場合			件	件
【再掲】6歳以上の場合			件	件
【再掲】救急・在宅重症児(者)受入加算			件	件
8) 準超重症児(者)入院診療加算	8	平成()年()月		
【再掲】6歳未満の場合			件	件
【再掲】6歳以上の場合			件	件
【再掲】救急・在宅重症児(者)受入加算			件	件
9) ハイリスク妊娠管理加算	9	平成()年()月	件	件
10) ハイリスク分娩管理加算	10	平成()年()月	件	件
11) (一般病棟) 退院調整加算 1	11	平成()年()月	件	件
【再掲】14日以内の期間(340点)				件
【再掲】15日以上30日以内の期間(150点)				件
【再掲】31日以上30日以内の期間(50点)				件
12) 新生児特定集中治療室退院調整加算 1	12	平成()年()月	件	件
13) 新生児特定集中治療室退院調整加算 2	13	平成()年()月		
【再掲】退院支援計画作成加算			件	件
【再掲】退院加算			件	件
14) 新生児特定集中治療室退院調整加算 3	14	平成26年()月		
【再掲】退院支援計画作成加算				件
【再掲】退院加算				件
15) 救急搬送患者地域連携紹介加算	15	平成()年()月	件	件
16) 救急搬送患者地域連携受入加算	16	平成()年()月	件	件
17) 地域連携小児夜間・休日診療料 1	17	平成()年()月	件	件
18) 地域連携小児夜間・休日診療料 2	18	平成()年()月	件	件
19) 地域連携夜間・休日診療料	19	平成()年()月	件	件
20) 院内トリアージ実施料	20	平成()年()月	件	件
21) 夜間休日救急搬送医学管理料	21	平成()年()月	件	件
22) 夜間休日救急搬送医学管理料 精神疾患患者等受入加算	22	平成26年()月		件
23) 救急搬送診療料			件	件

施設基準等	届出の状況		算定件数	
	届出があるもの	届出時期 (初回の届出)	平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
24) 救急搬送診療料 新生児加算			件	件
25) 救急搬送診療料 乳幼児加算			件	件
26) 救急搬送診療料 長時間加算			件	件
27) 精神科リエゾンチーム加算	27	平成 () 年 () 月	件	件
28) 小児科外来診療料			件	件

【小児科を標榜している施設の方】

②-1 小児科外来診療料についてバリビズマブを用い、薬剤費等を出来高で算定した患者数は何人いましたか。

() 人 ※平成 26 年 10 月 1 か月間

4. 救急医療の取組状況等についてお伺いします。

①消防法に基づいて都道府県が定める受入実施基準に対する参加状況等はどうなっていますか。※○は1つだけ

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 参加している | 2. 受入実施基準を知っているが、参加していない |
| 3. 受入実施基準の存在を知らない | 4. その他 (具体的に) |

②平成 25 年 10 月及び平成 26 年 10 月のそれぞれ 1 か月間の**外来延べ患者数**、救急用の自動車等により搬送された**延べ患者数**をご記入ください。

	平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
1) 外来延べ患者数 (初診+再診)	人	人
2) 救急搬送受入患者数 (時間内・時間外)	人	人
3) 上記 2) のうち夜間休日救急搬送医学管理料を算定した患者数	人	人
4) 上記 2) のうち急性薬毒物中毒の患者数		人
5) 上記 2) のうち精神疾患患者等受入加算を算定した患者数		人
6) 上記 2) のうち認知症の患者数		人
7) 時間外・休日・深夜に上記 2) 以外の方法で来院した患者数 (いわゆる「ウォークイン」患者数)	人	人

②-1 平成 25 年 10 月及び平成 26 年 10 月のそれぞれ 1 か月間に救急対応 (救急搬送受入、自身で救急外来に来院含む) した患者数 (上記②の 2) +7) の延べ患者数) について、以下の延べ患者数をご記入ください。

	平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
1) 軽症 (入院を要しないもの) の患者数 (延べ患者数)	人	人
2) 緊急入院となった患者数	人	人
3) 上記 2) のうち、生命の危険の可能性がある患者数		人
4) 上記 2) のうち、精神疾患を有する患者数 (認知症のみを除く)		人
5) 上記 4) のうち、一般病床の病棟に入院した、精神疾患を有する患者数		人
6) 上記 4) のうち、精神病床の病棟に入院した、精神疾患を有する患者数		人
7) 上記 2) のうち、認知症を有する患者数		人
8) 貴施設では対応できず、転送した患者数	人	人
9) 上記 8) のうち、高度救命救急センター・救命救急センターに転送した患者数	人	人
10) 上記 8) のうち、精神科救急医療を担う医療機関に転送した患者数	人	人
11) その他の理由により転送した患者数	人	人
12) 初診時死亡が確認された患者数	人	人

③下記に該当する救急患者について、貴施設の受入対応方針（原則）としてあてはまる番号を1~6の中から1つだけ選び、○で囲んでください。※それぞれ○は1つだけ

患者の状態	い入原 ないを則 断的 つて受	こ受 と入 が断 る	概ね受 入 が 入	れつ ての 受 入 に 限	かか りつ け	こ受 と入 を断 る こ と が 多 い	な受 いこ が 入 れ る こ と が 入 れ る	そ の 他
緊急度の高い傷病者								
1) 既に生理学的に生命危機に瀕している患者（バイタルサインの異常、ひどい痛み、病態の増悪傾向等を総合的に判断）※1	1	2	3	4	5	6		
緊急度の高い特定病態								
2) 急性冠症候群	1	2	3	4	5	6		
3) 急性期の脳血管疾患	1	2	3	4	5	6		
4) 重症外傷の患者※2	1	2	3	4	5	6		
5) 急性薬毒物中毒	1	2	3	4	5	6		
特定の合併症を有する傷病者								
6) 身体疾患と精神疾患との合併	1	2	3	4	5	6		
7) 認知症の合併	1	2	3	4	5	6		
8) 長期臥床の高齢者	1	2	3	4	5	6		
9) 人工透析中の傷病者	1	2	3	4	5	6		
その他								
10) 小児の患者	1	2	3	4	5	6		
11) 周産期の患者	1	2	3	4	5	6		

※1：「緊急度判定プロトコル ver1」（消防庁）の「赤1」または院内トリアージ（JTAS）の重症（青）に準じる。概ね次の基準による。SpO₂90%以下、ショック、JCS30以上（GCS8以下）。

※2：「緊急度判定プロトコル ver1」（消防庁）の「赤1、2」または、JPTECにおける「ロードアンドゴー」。

2~6.に○がついたものがある場合

③-1 上記質問③で「1.原則的に受入を断っていない」以外を回答した場合、その理由として、あてはまるものをそれぞれお選びください。※あてはまる番号すべてに○

患者の状態	た不 め要 な 設 備 が	め足受 して入 病床 がた不	るが た め 不 足 し て い フ	医 師 ・ 看 護 職 員 が 不 足 し て い フ	が専 門 外 で 対 応 が 難 し い た め	いた支 援 院 等 に 向 け た 難 し い	な た め の 対 応 が 可 能 で な い	の 軽 症 で あ り 他 の 機 関 が 関 与 し て い る
緊急度の高い傷病者								
1) 既に生理学的に生命危機に瀕している患者（バイタルサインの異常、ひどい痛み、病態の増悪傾向等を総合的に判断）※1	1	2	3	4	5	6		
緊急度の高い特定病態								
2) 急性冠症候群	1	2	3	4	5	6		
3) 急性期の脳血管疾患	1	2	3	4	5	6		
4) 重症外傷の患者※2	1	2	3	4	5	6		
5) 急性薬毒物中毒	1	2	3	4	5	6		
特定の合併症を有する傷病者								
6) 身体疾患と精神疾患との合併	1	2	3	4	5	6		
7) 認知症の合併	1	2	3	4	5	6		
8) 長期臥床の高齢者	1	2	3	4	5	6		
9) 人工透析中の傷病者	1	2	3	4	5	6		
その他								
10) 小児の患者	1	2	3	4	5	6		
11) 周産期の患者	1	2	3	4	5	6		

④新生児特定集中治療室・新生児集中治療室の患者数についてご記入ください。当該治療室のない施設の方はご回答いただく必要はございません。

	平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
1) 1 か月間に当該治療室に入室した患者数	人	人
2) 上記 1) のうち、他院から転入した患者数	人	人
3) 上記 2) のうち、受入後、退院支援計画を策定した患者数	人	人
4) 上記 3) のうち、「退院支援計画策定加算」(600 点) を算定した患者数		人
5) 1 か月間に当該治療室から退室した患者数	人	人
6) 上記 5) のうち、自宅(直接退院)の患者数	人	人
7) 上記 6) のうち、訪問看護利用者	人	人
8) 上記 5) のうち、自院の他病棟に転棟した患者数	人	人
9) 上記 5) のうち、他院に転院した患者数	人	人
10) 上記 9) のうち、重症化したために転院した患者数		人
11) 上記 9) のうち、容体が安定したために転院した患者数		人
12) 上記 5) のうち、障害者施設に入所した患者数	人	人
13) 上記 5) のうち、死亡した患者数	人	人
14) 上記 5) のうち、その他の転帰の患者数	人	人
15) 上記 5) のうち、新生児特定集中治療室退院調整加算 1 を算定した患者数	人	人
16) 上記 5) のうち、新生児特定集中治療室退院調整加算 2 を算定した患者数	人	人
17) 上記 5) の患者の平均在室日数 ※小数点以下第 1 位まで	. 日	. 日

【平成 26 年 10 月において、上記④の「6) 自宅退院患者数」が「9) 他院転院患者数」よりも少ない施設の方】

④-1 自宅退院患者が少ないのはなぜですか。※あてはまる番号すべてに○

1. 家族が自宅への退院を希望しないため
2. 在宅介護(訪問介護など)の確保が困難なため
3. 在宅医療(訪問診療・訪問看護)の確保が困難なため
4. 自宅に退院した場合に経済的な負担が増えるため
5. その他(具体的に)

④-2 新生児の退院を進める上でどのような取組・サービスが必要ですか。

5. 高齢者の救急医療に関する課題等についてご意見がございましたら具体的にお書きください。

様式 1 は以上です。引き続き、様式 2 につきましてもご協力の程お願い申し上げます。

様式 2

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成26年度調査)

救急医療の実施状況調査 調査票

- 「救急医療管理加算 2」を算定した患者数等をご記入ください。
- 今年（平成 26 年 7 月）、地方厚生（支）局に提出した「救急医療管理加算 2 に係る報告書（7 月報告、様式 14 の 3）」の内容から転記してご記入ください。様式のコピーの提出でも結構です。

集計対象期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日

- 「救急医療管理加算 2 の算定患者の内訳」については、上記集計対象期間に「救急医療管理加算 2」を算定したすべての患者についてご記入ください。
- 「疾病コード」欄については、診断群分類点数表を参考にして、入院の契機となった病名を D P C コードで分類し、当該 D P C コードの上 6 桁をご記入ください。
- 「名称」欄については、疾病コードごとに当該 D P C コード上 6 桁の名称をご記入ください。

①対象期間の救急医療管理加算 1・2 の合計算定患者数			人
②上記①のうち、救急医療管理加算 2 の算定患者数			人
③救急医療管理加算 2 の割合：②／①			%
④救急医療管理加算 2 の算定患者の内訳			
NO.	疾病コード (※D P C コードの上 6 桁を用いる)	名称	患者数
1			人
2			人
3			人
4			人
5			人
6			人
7			人
8			人
9			人
10			人
11			人
12			人
13			人
14			人
15			人
16			人
17			人
18			人
19			人
20			人

※回答用紙が足りない場合には、大変恐縮ですが、裏面用紙をコピーしてお使いください。

回答用紙		枚中		枚
------	--	----	--	---

※記入例(全 3 枚のうち 1 枚目の場合)

回答用紙	3	枚中	1	枚
------	---	----	---	---

NO.	疾病コード (※DPCコードの上6桁を用いる)	名称	患者数
21			人
22			人
23			人
24			人
25			人
26			人
27			人
28			人
29			人
30			人
31			人
32			人
33			人
34			人
35			人
36			人
37			人
38			人
39			人
40			人
41			人
42			人
43			人
44			人
45			人
46			人
47			人
48			人
49			人
50			人
51			人
52			人
53			人
54			人
55			人
56			人
57			人
58			人
59			人
60			人

※回答用紙が足りない場合には、大変恐縮ですが、本用紙をコピーしてお使いください。

回答用紙		枚中		枚
------	--	----	--	---

※記入例(全3枚のうち1枚目の場合)

回答用紙	3	枚中	1	枚
------	---	----	---	---